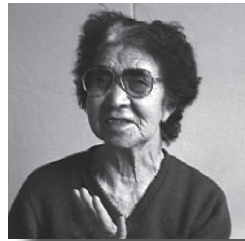


アイヌ民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2



アイヌ民族博物館

目 次

はじめに	v
語り手と録音について	v
凡例	vi
第1話 散文の物語	1
フクロウを養ったイクレスイェ	
添付 CD3-1 (22分22秒)	
第2話 散文の物語	33
ふたりの父	
添付 CD3-2 (30分41秒)	
第3話 散文の物語	77
トドをだまして肉をとる	
添付 CD3-3 (4分25秒)	
第4話 散文の物語	87
ウサギの穂摘み	
添付 CD3-4 (8分09秒)	
第5話 散文の物語	101
カツラの舟とハリギリの舟のけんか	
添付 CD4-1 (22分04秒)	
第6話 散文の物語	131
河童神の恋	
添付 CD4-2 (7分32秒)	
第7話 散文の物語	145
へび神のツノ	
添付 CD4-3 (12分00秒)	
第8話 散文の物語	167
ヤナギとミズナラの会話	
添付 CD4-4 (21分41秒)	

はじめに

「アイヌ民話ライブラリ」は、アイヌ民族博物館が採録し所蔵する音声資料のうち、物語をまとめたシリーズである。

添付CDには、アイヌ語沙流方言の話者上田トシ氏が語った物語8編が収録されている。これらはアイヌ民族博物館が所蔵する音声資料の一部である。その内容の活字化と対訳が印刷物に収められている。活字化と対訳は安田千夏が行い、編集は安田益穂が行った。

なお、本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。

上田トシさんのご遺族をはじめ、ご指導ご協力下さった方々に厚くお礼申し上げます。

語り手と録音について

上田トシさんは、1912年10月3日、沙流郡平取村字ペナコリ生まれ。幼いころには全くアイヌ語を話さなかったというが、周囲のアイヌ口承文芸の語り手が次々亡くなる中、1987年、12歳年上の姉木村キミさんにウエペケレ（散文の物語）を習ったのを皮切りに、川上まつ子さんら沙流方言の語り手の録音資料を聞くなどして独学し、沙流川筋の伝承活動を支える第一人者として活躍した。

1996年、北海道文化財保護功労者賞、1998年、アイヌ文化振興・研究推進機構のアイヌ文化賞を受賞。2005年7月24日死去。享年92歳。

アイヌ民族博物館では1993年から2001年にかけて、聞き取り調査や公開講座での口演等の協力を受けた。その際の録音資料約40時間分を所蔵しており、これまで順次整理・公開を行ってきた。1997年には『アイヌ民族博物館伝承記録3 上田トシのウエペケレ』を刊行し、その一部を公開した。本書はそれに続くものである。

凡例

1. 添付CDには、1～8話の音声をオーディオCD2枚に収録した。なお、一部録音状態が良くない資料がある。
2. アイヌ語の表記は、原則として奥田統己（編）（1999）『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集（CD-ROMつき）』札幌学院大学、にならった。
3. 母音字は a,e,i,o,u の5つ、子音字は p,t,c,k,s,r,m,n,w,y,h,'（声門破裂音）の12である。語頭と母音間の'は予測可能なので省略した。
4. 人称接辞は=で区切って示した。言いさして止めていると判断される箇所には…を付した。
5. 音素交替がある箇所はローマ字表記に _（アンダーバー）で示した。
6. 参考文献は以下の通りである。（〔 〕のゴシック体は本書注釈内での略号）
 - ・[奥] 奥田統己（編）『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集（CD-ROMつき）』（札幌学院大学、1999年）
 - ・[田] 田村すず子『アイヌ語沙流方言辞典』（草風館、1996年）
 - ・[中] 中川裕『アイヌ語千歳方言辞典』（草風館、1996年）
 - ・[萱] 萱野茂『萱野茂のアイヌ語辞典』（三省堂、1996年）
 - ・[久] 久保寺逸彦（編）『アイヌ語・日本語辞典稿—久保寺逸彦 アイヌ語収録ノート調査報告書—』（北海道教育委員会／北海道文化財保護協会、1992年）
 - ・[早] 田村すず子『アイヌ語音声資料2—ワテケさんの昔話—』（早稲田大学語学教育研究所、1985年）
 - ・[集大成] 萱野茂『ウエペケレ集大成』（アルドオ、1974年）
 - ・萱野茂『炎の馬』（すずさわ書店、1977年）
 - ・知里真志保『地名アイヌ語小辞典』（北海道出版企画センター、1988年、復刻3刷）
 - ・『北海道立アイヌ民族文化研究センター紀要第4号』（北海道立民族文化研究センター、1998年）
 - ・『北海道立アイヌ民族文化研究センター紀要第8号』（北海道立民族文化研究センター、2002年）
 - ・『平成7年度 アイヌ民俗文化財調査報告書（アイヌ民俗調査XV）』（北海道教育委員会、1995年）
 - ・『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』資料番号 CC800085（北海道アイヌ民族文化研究センター）
 - ・『アイヌ民族博物館伝承記録3・昔話 上田トシのウエペケレ』（アイヌ民族博物館、1997年）
 - ・『アイヌ民族博物館開館30周年記念誌』（アイヌ民族博物館、2014年）

第1話 散文の物語

フクロウを養った イクレスイエ

収録日：1995年10月26日

資料番号：35228A

添付CD：3-1（22分22秒）

第1話 散文の物語「フクロウを養ったイクレスイエ」¹⁾

(イクレスイエが語る)

ユペトウン²⁾ イクレスイエ ニシパ³⁾
 Yupet un Ikuresuye nispa
 ユペツ の イクレスイエ さん

私はユペツに住むイクレスイエ

アネ ヒネ アナン ペ ネ イケ
 a=ne hine an=an pe ne_hike
 (私)であって 暮らす(私)もの だ が

です。

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ。
 nep ka a=esirkirap ka somo ki.
 何 も (私)苦労し も しない

何も苦労することなく暮らしていました。

ニシパ アネ プ ネ クス
 nispa a=ne p ne kusu
 長者 (私)であるもの だ から

私は長者なので

- 5 アエシリキラプ カ ソモ キ プ ネ コロカ
 a=esirkirap ka somo ki p ne korka
 (私)苦労し も しないもの だ けれど

苦労することもなかったのですが

パテク アエシリキラッ ペ
 patek a=esirkirap pe
 それだけ (私)苦労するもの

ただひとつ困ったことは

ウコポサカン ペ ネ ワ
 ukoposak=an pe ne wa
 互いに子供がない(私達)もの だ から

妻との間に子供がなく

エアラキンネ ポ エイコイトウパアン コロ
 earkinne po eykoitupa=an kor
 本当に 子 をうらやましく思う(私) ながら

本当に子供が欲しいと思いながら

オカアン ペ ネ…ネ ヒケ
 oka=an pe ne...ne hike
 暮らす(私)もの だ が

暮らしていたのでした。

- 10 オラ ポ カ アサケ ペ ネ クス
 ora po ka a=sak pe ne kusu
 こんど 子 も (私)ないもの だ から

子供がいないので

イナウチパ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
 inawcipa ne yakka nep ne yakka
 祭壇 だ も 何 だ も

祭壇でも何でも

1 1995年10月26日、鍋沢キリ氏宅にて収録。この日の調査は北海道立アイヌ民族文化研究センターの大谷洋一氏、アイヌ民族博物館の安田千夏の共同調査として実施された。鍋沢キリ氏も同席している。上田トシさんはこの物語を語った後に「姉(木村キミさん)から聞いた」と語っている。

2 トシさんの口承文芸によく出てくる物語上の地名。良い人たちが住む村というイメージで語られている。

3 これも物語中によく出て来る人名。常に良い行いをし、神を助けまた神に助けられる徳の高い人物として描かれている。ニシパ nispa は「旦那さん」「長者」という意味であるが、「～さん」という尊称で使われることもある。

	アピリカトムテ。 a=pirkatomte. ⁴ (私)きれいにピカピカにする	きれいにして
	ヌサ オツ タ ネ ヤツカ nusa or ta ne yakka 祭壇 の所 に で も	祭壇や
	ヌサ パラポク ネ ヤツカ nusa parpok ne yakka 祭壇 のすぐそば で も	その近くを
15	アケレケリ アチャシヌレ コロ a=kerkeri a=casnure kor (私)掃く (私)きれいに掃除して	掃除して
	アナン ペ ネ ア プ an=an pe ne a p ⁵ いる(私) もの だった が	いました。
	アコロ ヌサ パラポク タ a=kor nusa parpok ta (私)の 祭壇 のすぐそば に	祭壇の近くに
	ピリカ ワ オケレ ポン スンク pirka wa okere pon sunku それはそれは美しい 小さい エゾマツ	それはそれは美しい小さいエゾマツ ⁶ が
	ヘトウク ワ アン ワ オラノ ネ ポン スンク hetuk wa an wa orano ne pon sunku 生え て い て こんど その 小さい エゾマツ	生えていて、その小さいエゾマツを
20	アエヤン マ… ペ ネ クス a=eyam wa... pe ne kusu (私)大切に して もの だ から	大切にして…
	ピシカニケ アケレケリ アチャシヌレ コロ piskanike a=kerkeri a=casnure kor まわりを (私)掃く (私)掃除し て	あたりを掃除して
	アナン ヒ クス… ネ ヤ an=an hi kusu... ne ya いる(私) だから で も	いました。
	エアラキンネ ネ スンク ヘトウク トウナシ ワ earkinne ne sunku hetuk tunas wa 本当に その エゾマツ 成長 早く て	そのエゾマツは成長が早く

4 ピリカトムテ pirka-tom-te (きれいに・光る・させる)で、漆器などを「みがいてつやを出す」という意味でも使われるが、ここでは「祭壇をきれいに掃除する」に近い意味で使われている。

5 日頃から神に対して常に敬意をはらうことで願いが叶うとされる、人としての模範的な心がけを示している。

6 マツ科の常緑樹。かなりの巨木に成長することがあり、口承文芸では空想上の大きな鳥やフクロウ神が営巣する木として描かれたものがある。

- アエイコプンテク コロ アラライパ コロ
a=eyaykopuntek kor a=raraypa kor
(私)喜び ながら (私)なで ながら
それがうれしくて、なでさずって
- 25 アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
暮らす(私) もの だった が
いたのです。
- オラ サケ アコロ コロ
ora sake a=kor kor
こんど 酒 (私)持つ と
酒が手に入ると
- ネ スンク サム タ シンナ ソカラン⁷
ne sunku sam ta sinna sokar=an
その エゾマツ のそば に 別に 座を作る(私)
そのエゾマツの近くと
- ヌサ オツ タ シンナ ソカラン ヒネ
nusa or_ ta sinna sokar=an hine
祭壇 の所 に 別に 座を作る(私) して
祭壇のところに別に座を作って
- ネ ヌサ オツ タ ネ ヤツカ
ne nusa or_ ta ne yakka
その 祭壇 の所 に で も
そこにも
- 30 トウキ パッチ アウエウンテ⁸ ワ アアヌ。
tuki patci a=ueunte wa a=anu.
酒椀 鉢 (私)そろえ て (私)置く
酒椀や鉢を置いておきました。
- ネ スンク サム タ ネ ヤツカ
ne sunku sam ta ne yakka
その エゾマツ のそば に で も
そのエゾマツのそばにも
- シンナ ソカラン ワ
sinna sokar=an wa
別に 座を作る(私) して
別に座を作って
- オロ タ トウキ ネ ヤ サケ ネ ヤ
oro ta tuki ne ya sake ne ya
そこ に 酒椀 で も 酒 で も
そこに酒椀や酒を
- アウエウンテ ワ アアヌ ワ オラ
a=uweunte wa a=anu wa ora
(私)そろえ て (私)置い て こんど
供えて
- 35 アコタヌ ウン オンネクル ウタラ
a=kotanu un onnekur utar
(私の)村 の 老人 たち
私の村の老人たちを
- アシケウツパ ワ
askeukpa wa
招待し て
招待していました。

7 模様入りを含めた上等なござを敷き、供物をならべたり祭主や参列者が座って儀式を執り行うための準備をすることを指している。

8 ここではウエンテ ueunte だが、3行後はウエウンペ uweunte と渡り音が入っている。ウエウンペ uweunpe で「[宝刀など]ひとそろいのもの」[田]なので、この場合は「儀式のときに使う漆器をそろえて」という意味であろう。

- ヌサ オツ タ ネ ヤ
nusa or_ ta ne ya
祭壇 の所 に で も
- 祭壇で
- ネ スンク ネ ヤッカ アノミ
ne sunku ne yakka a=nomi
その エゾマツ で も (私)祭る
- そのエゾマツを祭り
- “ スンク カムイ アノミ シリ ネ ”
“ sunku kamuy a=nomi siri ne ”
エゾマツ 神 (私)祭る の です
- 「エゾマツの神を祭ります」
- 40 ヤク アイェ コロ
yak a=ye kor
と (私)言い ながら
- と言いながら
- イノミアン コロ アナン ワクス… ネ ヤ
inomi=an kor an=an wakusu... ne ya
祭りをする(私) ながら いる(私) なので で も
- 儀式をしていたのでした。
- エアラキンネ ネ スンク
earkinne ne sunku
本当に その エゾマツ
- 本当にそのエゾマツの
- ヘトウク トウナシヌレ…⁹ ルウエ
hetuk tunasnure... ruwe
成長 早い こと
- 成長が早いのは
- アオクンヌレ コロ アエヤイコブンテク コロ
a=okunnure kor a=eyaykopuntek kor
(私) ひどく驚き ながら (私) 喜び ながら
- 驚きながらも、それを楽しみにして
- 45 アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
暮らす(私) もの だっ た が
- 暮らしていました。
- イカ… カ タ ネア スンク ヘトウク ヒネ
i=ka... ka ta nea sunku hetuk hine
(私の)上 上 で あの エゾマツ 育っ て
- そのエゾマツが育って
- ポロ スンク ネ ルウエ
poro sunku ne ruwe
大きな エゾマツ になる こと
- 大きなエゾマツになったことに
- アオクンヌレ コロ アナン ワ
a=okunnure kor an=an wa
(私)ひどく驚き ながら いる(私) して
- 驚きながら
- ポヘネ アエヤイコブンテク ワ
pohene a=eyaykopuntek wa
なおさら (私)喜ん で
- なおさら私は喜んで

9 トウナシヌレ tunasnure の形は他に未見。トウナシ ルウエ tunas ruwe 「早いこと」と言おうとしたものか。

- 50 ネ スンク アノミ コロ アナン。¹⁰
 ne sunku a=nomi kor an=an.
 その エゾマツ (私)祭り ながら いる(私)
 そのエゾマツを祭っていました。
- サケ アコロ コロ ピシノピシノ
 sake a=kor kor pishinopisno
 酒 (私)持つ と そのたびに
 酒が手に入るたびに
- スンク カムイ
 sunku kamuy
 エゾマツ 神
 エゾマツ神を
- アノミ コロ アナン ペ ネ ア プ
 a=nomi kor an=an pe ne a p
 (私)祭っ て いる(私) もの だっ た が
 祭っていたのですが
- オラ アナン アクス ネ スンク カ タ
 ora an=an akusu ne sunku ka ta
 こんど いる(私) したところ その エゾマツ の上に
 そのうちに、そのエゾマツの上に
- 55 カムイチカプ¹¹ ウワリ シリ ネ ノイネ
 kamuycikap uwari siri ne noyne
 フクロウ神 お産をする 様子 である らしく
 フクロウ神が産卵したらしい
- イキ シリ アヌカラ ワ
 iki siri a=nukar wa
 する 様子 (私)見 て
 様子を見て
- エアラキンネ ポヘネ
 earkinne pohene
 本当に なおさら
 なおさら
- アエヤイコプンテク ワ
 a=eyaykopuntek wa
 (私)喜ん で
 私は喜びました。
- ネ スンク アノミ コロ アナン ラポッケ
 ne sunku a=nomi kor an=an rapokke
 その エゾマツ (私)祭り ながら 暮らす(私) うちに
 そのエゾマツを祭っているうちに
- 60 オラ ネ スンク カ タ ウワリ
 ora ne sunku ka ta uwari
 こんど その エゾマツ の上 で お産する
 やがてそのエゾマツの上で
- カムイチカプ ウワリ プ ネ クス オラ
 kamuycikap uwari p ne kusu ora
 フクロウ神 お産をするもの だ から こんど
 フクロウ神が産卵をしたので

10 実際にはフクロウなどが営巣できるほどエゾマツが巨木になるには数十年かかるところだが、神としての力の強い木なので、不思議な力で早く成長したということだろう。そしてアイヌ文化では巨木の近くに祭壇を設けて村の加護などを祈るという事例が実際に報告されている。

11 カムイチカプ kamuycikap はシマフクロウと訳されることが多いが、地域によってはフクロウのことを指している場合もある。トシさんはシマフクロウについての情報は何も語っていないので、どの鳥を指しているのかは不明である。ここでは総称として「フクロウ神」と訳しておくこととする。

… ペ ネ クス ポン チカプ ウタラ
 ... pe ne kusu pon cikap utar
 もの だ から 小さい 鳥 たち

ひな鳥たちが

ウウオハウタプツテ¹² ハウ カ アヌ オラ
 uwohawtaputte haw ka a=nu ora
 鳴き騒ぐ 声 も (私)聞く こんど

鳴き騒ぐ声も聞こえるようになりました。

シリクンネイワ コロ ニサツ オロ ヘプ…
 sirkunneywa kor nisat or hep…
 朝になる と 夜明け 時

朝になると、明け方から

65 トウナシノ ホプニ… ノ ネ スンク カ ワ
 tunasno hopuni... no ne sunku ka wa
 早くに 飛び立っ て その エゾマツ の上 から

飛び立って、そのエゾマツの上から

ピンネ カムイ ネ クニ アラム プ
 pinne kamuy ne kuni a=ramu p
 雄の 神 だ と (私)思う もの

雄と思われる鳥が

アトウイ ソ カ ウン¹⁵ アラパ シリ
 atuy so ka un arpa siri
 海 面 の上 に 行く 様子

海の方に飛び立つ様子を

アヌカラ コロ アナン。
 a=nukar kor an=an.
 (私)見て て いる(私)

見ていました。

オラ イルカ ネ コロ
 ora iruka ne kor
 こんど 短い間 する と

そしてしばらくすると

70 スイ ホシピ コロ オラノ ネ スンク カ タ
 suy hosipi kor orano ne sunku ka ta
 また 飛び立っ て こんど その エゾマツ の上 で

また戻って来てそのエゾマツの上で

ポン チカプ ウタラ ウウオハウタプツテパ コロ
 pon cikap utar uwohawtapptepa kor
 小さい 鳥 たち 鳴き騒ぎ ながら

ひな鳥たちが鳴き騒いで

オカ ハウエ アヌ ワ
 oka hawe a=nu wa
 いる 声 (私)聞いて

いる声を聞きました。

エアラキンネ アエヤイコプンテク
 earkinne a=eyaykopuntek
 本当に (私)喜ぶ

本当に喜ぶと同時に

アエ… アケムヌ
 a=e... a=kemnu
 (私)かわいそうに思う

かわいそうに思い

12 ウウオハウタプツテ uwohawtaputte は他のデータに未見。文意からウハウエポプテ uhawepopte 「みんなで声を出す」[奥]に近い意味と考えた。

13 シマフクロウもフクロウも実際には海に獲物をとりに行くということはない。

- 75 ネ スンク カムイ ネ ヤッカ
ne sunku kamuy ne yakka
その エゾマツ 神 で も
そのエゾマツ神であっても…
- カムイチカプ ネ ヤッカ イルカ ネ コロ
kamuycikap ne yakka iruka ne kor
フクロウ神 で も 短い間 し て
フクロウ神であつてもしばらく
- アトウイ ソ カ ウン アラパ ワ
atuy so ka un arpa wa
海 原 の上 に 行っ て
海の方に行つて
- ネッポ カ エクパ ワ
neppo ka ekupa wa
何か も くわえ て
何かをくわえて
- エク シリ イキ コル… コロ
ek siri iki kor... kor
来る 様子 する と
来ると
- 80 ポン チカプ ウタラ ウウオハウタプツテ
pon cikap utar uwohawtaputte
小さい 鳥 たち 鳴き騒ぐ
ひな鳥たちが鳴き騒ぐので
- オラ スイ ナニ アトウイ エトクン
ora suy nani atuy etok un
こんど また すぐに 海 の先 に
またすぐに海の彼方に
- スイ アラパ シリ アヌカラ。
suy arpa siri a=nukar.
また 行く 様子 (私)見た
行く様子を見ていました。
- エアラキンネ アケムヌ コロ アナン ペ
earkinne a=kemnu kor an=an pe
本当に (私)哀れみ ながら いる(私) もの
本当にかわいそうにと思つて
- ネ ア ヒ クス
ne a hi kusu
だつ た ので
いました。
- 85 オラ ヤイヌアニ オラ
ora yaynu=an hi ora
こんど 考える(私) してから
私は考えて
- ポロ ニマ アコロ ペ ネ ア ヒ クス
poro nima a=kor pe ne a hi kusu
大きい 木皿 (私)持つ もの だつ た ので
大きな木皿を持っていたので
- ネ ニマ アフライエ ア アフライエ ア ヒネ オラ
ne nima a=huraye a a=huraye a hine ora
その 木皿 (私)何度も洗つ て こんど
その木皿をよく洗つて
- エウン ウサ チェプ ネ ヤ ウサ カム ネ ヤ
eun usa cep ne ya usa kam ne ya
そこへ 色々 魚 で も 色々 肉 で も
そこに魚や肉などを

- ポロンノ ネ ニマ オロ アオマレ コロ
poronno ne nima oro a=omare kor
たくさん その 木皿 に (私)入れる と
たくさん入れて
- 90 ネ スンク カ タ…
ne sunku ka ta…
あの エゾマツ の上 に
あのエゾマツの
- スンク チョロポク タ アアナ コロ
sunku corpok ta a=anu kor
エゾマツ の下 に (私)置く と
下に置いて
- イタカン ハウエ エネ アニ。
itak=an hawe ene an_hi.
言う(私) 話 このようなこと
このように言いました。
- “カムイチカプ ウワリ シリ アヌカラ ワクス
“kamuycikap uwari siri a=nukar wakusu
フクロウ神 お産をする 様子 (私)見た ので
「フクロウ神がお産をしたのを見たのです。」
- カムイチカプ ネプ カ イララ アキ ワ イキ シリ
kamuycikap nep ka irara a=ki wa iki siri
フクロウ神よ 何 も いたずら (私)し て する 様子
フクロウ神よ、何もいたずらをするという
- 95 アキ シリ カ ソモ ネ。¹⁴
a=ki siri ka somo ne.
(私)する様子 も ない
わけではありません。
- カムイチカプ ウワリ テクサム アエカスイ
kamuycikap uwari teksam a=ekasuy
フクロウ神 お産する そば (私)手伝う
フクロウ神の子育てをお手伝いし
- ウワリ テクサム アエプンキネ クス
uwari teksam a=epunkine kusu
お産する そば (私)守る ために
子育てをそばでお守りするために
- イキアン シリ ネ クス
iki=an siri ne kusu
する(私) 様子 だ から
することなので
- ネプ カ ウエン イララ アキ ワ
nep ka wen irara a=ki wa
何 も 悪い いたずら (私)し て
何もいたずらで
- 100 イキアン シリ カ ソモ ネ ナ”
iki=an siri ka somo ne na”
する(私) 様子 も ない よ
しているのではないのですよ」
- セコロ ハウエアン… イノンノイタカン コロ
sekor hawean... inonnoitak=an kor
と 言う 祈り詞を唱える(私) ながら
と言って祈りました。

14 神に祈るときによく使われる表現で、自分の行為に二心がないことをまず伝えるのは大事なことである。

- ネ ウサ チェプ ウサ オカイ ペ ポロンノ
ne usa cep usa okay pe poronno
その 色々 魚 色々 ある もの たくさん
持っている魚やいろいろなものをたくさん
- ニマ オロ アオマレ ヒネ アアナ コロ
nima oro a=omare hine a=anu kor
木皿 に (私)入れ て (私)置く と
木皿に入れて置いておくと
- シリクンネイワ コロ ネ ニマ オハ ワ アン ヒ
sirkunneywa kor ne nima oha wa an hi
朝になる と その 木皿 空になって いる こと
朝になって空になるのを
- 105 アヌカリ オラノ
a=nukar hi orano
(私)見る こと それから
見てからは
- ポヘネ アエヤイコブンテク ワ
pohene a=eyaykopuntek wa
なおさら (私)喜ん で
なおのこと喜びました。
- ケシト アン コロ
kesto an kor
毎日毎日
毎日
- ネノ ウサ チェプ ネ ヤ ウサ カム ネ ヤ
nenno usa cep ne ya usa kam ne ya
同様に 色々な 魚 で も 色々な 肉 で も
そのように魚や肉などを
- ネ ニマ オロ アフライェ ア アフライェ ヒネ
ne nima oro a=huraye a a=huraye hine
その 木皿 を (私)何度も洗って洗っ て
その木皿をよく洗って
- 110 オロ アオマレ コロ オハ ワ アン シリキ ヒ
oro a=omare kor oha wa an sirki hi
そこへ (私)入れる すると 空になっ て いる 様子が見える こと
そこに入れると空になっているのでした。
- オロワノ アナクネ ネア カムイチカブ
orowanono anakne nea kamuycikap
それから は その フクロウ神
それからはそのフクロウ神が
- ニサツ オロ エホプニ ワ
nisat oro ehopuni wa
夜明け に 飛び立っ て
明け方に飛び立って
- アトウイ トモトウイェ アラパ シリ カ
atuy tomotuoye arpa siri ka
海 横切っ て 行く 様子 も
海を横切って飛んで行く様子を
- アヌカラ カ ソモ キ ヒ アナクネ
a=nukar ka somo ki hi anakne
(私)見 も しない ことは
見ることもないのは
- 115 アコロ ハルコロ ポイ ソン ウタラ
a=kor harukor pon son utar
(私)の 餌やり 小さい 子供 たち
私の餌やりで小さなひなたちに

エレ ワクス
ere wakusu
食べさせる ので

食べさせているので

エキムネ シリ カ ソモ ネ
ekimne siri ka somo ne
狩りに行く 様子 も ない

狩りに行くこともしないで済む

クニ アラム ワ
kuni a=ramu wa
と (私)思っ て

ようだと思いました。

エアラキンネ アエヤイコプンテク コロ
earkinne a=eyaykopuntek kor
本当に (私)喜ん で

とても喜んで

120 ネ ポン チカプ ウタラ パロ アオイキ¹⁵ シリ ネ
ne pon cikap utar paro a=oyki siri ne
その 小 鳥 たち (私)養う 様子 だ

そのひな鳥たちを養っているようだ

ヤク アイェ コロ
yak a=ye kor
と (私)言い ながら

と言いながら

ケシト アン コロ ネノ イキアン コロ
kesto an kor neno iki=an kor
毎日毎日 そのように する(私) ながら

毎日そのようにして

アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
暮らす(私) もの だった が

暮らしていたのでした。

タネ トウ チュプ カ レ チュプ カ ネ クニ
tane tu cup ka re cup ka ne kuni
もう 2 月 も 3 月 も になると

もう2、3か月

125 アラム パクノ ネノ イキアニ
a=ramu pakno neno iki=an_hi
(私)思う ほど そのように する(私) こと

そのようにしていて

オラノ ネ スンク カ タ オカ ワ
orano ne sunku ka ta oka wa
こんど あの エゾマツ の上 に い て

あのエゾマツの上にいる

ポン チカプ ウタラ カ
pon cikap utar ka
小 鳥 たち も

ひな鳥たちも

タネ ルプネパ ワ ネ ノイネ
tane rupnepa wa ne noyne
もう 大きくなっ て になる らしく

もう大きくなったようでした。

15 パロオイキ paro oyki は、この例のようにパロ アオイキ paro a=oyki のように人稱をつけることも、またエンパラ エオイキ en=par e=oyki 「私をあなたが養う」のように前半と後半で違う人稱をつけることも可能。

- レウパ シリ カ
rewpa siri ka
とまる 様子 も
- とまっている様子も、
- 130 スンク カ ワ… アフプテ¹⁶ カ
sunku ka wa... ahupte ka
エゾマツ の上 から 入れる も
- エゾマツの上を通すのも
- レウパ シリ カ アヌカラ コロ アナン ワ
rewpa siri ka a=nukar kor an=an wa
とまる 様子 も (私)見 て いる(私) して
- とまる様子も見ていました。
- ポヘネ アエヤイコプンテク コロ
pohene a=eyaykopuntek kor
なおさら (私)喜び ながら
- なおのこと私は喜んで
- アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
いる(私) もの だった が
- いたのですが
- シネ アンチカラ
sine ancikar
ある 晩
- ある晩
- 135 ウェンタラパン ルウエ ネ アクス
wentarap=an ruwe ne akusu
夢を見る(私) こと だっ たところ
- 夢を見たところ
- アコロ アペエトク タ
a=kor apeetok ta
(私)の 横座 に
- 私の家の横座に
- クンネ コソンテ¹⁷ ウトムチウレ
kunne kosonte utomciwre
黒い 上等な着物 を身につける
- 黒い着物を身につけた
- カムイ ネ クス コラチ アン クル
kamuy ne kusu koraci an kur
神 な ので らしく ある 男性
- 神々しい姿をした男性が
- シロカネ タンパクオプ
sirokane tanpakuop
銀の たばこ入れ
- 銀のたばこ入れ
- 140 シロカネ キセリ ウコアニ カネ ヒネ アン ヒネ
sirokane kiseri ukoani kane hine an hine
銀の キセル を一緒に持ち も して い て
- 銀のキセルをひとそろい持っていて
- エネ ハウエアニ。
ene hawean _hi.
このように言った
- このように言いました。

16 スンク アフプテ sunku ahupte と言い直しているか。

17 神の衣装はその神を思わせる色の衣装を着ていることがあるが、特に実際の色とは関係なく偉い神は黒い着物を着ているという表現がしばしば見られる。これもその例である。

“タン イクレスイエ ニシパ
 “tan Ikuresuye nispa
 これ イクレスイエ さん

「これイクレスイエさん。

アイヌ ヘタプ エネ ワ
 aynu hetap e=ne wa
 人間 でも (お前)であって

あなたは人間のようにですが

アエコヤイライケ ワ
 a=e=koyayrayke wa
 (私がお前に)感謝し て

感謝の

145 エネ アイェ ヒ カ イサム ノ
 ene a=ye hi ka isam no
 どう (私)言う ことも なく て

言葉もないくらいに

アエコヤイライケ カトウ アナク エネ アニ。
 a=e=koyayrayke katu anak ene an_hi.
 (私がお前に)感謝する わけ は こうです

お礼を申し上げるのはこのようなことです。

エコロ ピリカ ケウトウム エコロ ペ ネ クス
 e=kor pirka kewtum e=kor pe ne kusu
 (お前の) 美しい 心 (お前)持つもの だ から

あなたは美しい心を持っているので

アコロ ソン ウタラ
 a=kor son utar
 (私)の 息子 たち

私の息子たちを

アルプネレ ヒ イエカスイ ワ
 a=rupnere hi i=ekasuy wa
 (私)育てる こと (私を)手伝っ て

大きくするのを手伝ってくれました。

150 アコロ ソン ウタラ ルプネパ ワ
 a=kor son utar rupnepa wa
 (私)の 息子 たち 大きくなっ て

私の子供たちは大きくなったので

エアラキンネ アエコヤイライケ ヒ
 earkinne a=e=koyayrayke hi
 本当に (私がお前に)感謝する こと

お礼の言葉もありません。

オラ マカナク イキアン ワ
 ora makanak iki=an wa
 こんど どのように する(私) して

どうやって

アエコヤヤッタサ アン¹⁸ クニ カ
 a=e=koyayattasa an kuni ka
 (私がお前に)返礼する ある べきか も

お返しをしていいか

アエランペウテク パクノ
 a=erampewtek pakno
 (私)わからない くらいに

わからないくらいに

18 ここに an がある理由は不明。

- 155 アエコヤイライケ ルウエ ネ クス
 a=e=koyayrayke ruwe ne kusu
 (私がお前に)感謝する の だ から
 感謝をしているのです。
- ニサッタ ネ アナクネ
 nisatta ne anakne
 翌日 になれば
 明日になったら
- タン カネ チヨリ エコロ ワ
 tan kane cori e=kor wa
 この 金の ぞうり (お前)持って
 この金のぞうりを持って
- アトウイ サム タ エアラパ ワ エウシ
 atuy sam ta e=arpa wa e=us
 海 のそば に (お前)行っ て (お前)履く
 海の近くに行ってお履きなさい。
- ヤカナクネ¹⁹
 yakanakne
 もしもすれば
 そうしたならば
- 160 アトウイ カ ペカ ニシテ ソ ネ アン ワ
 atuy ka peka niste so ne an wa
 海 上 一帯 固い 床 に なっ て
 海面が固い床のようになります。
- タン カネ チヨリ エウシ カネ ワ
 tan kane cori e=us kane wa
 この 金 ぞうり (お前)履き も して
 この金のぞうりを履いて
- アトウイ トウラシ エアラパ ワ ネ ヤクン
 atuy turasi e=arpa wa ne yakun
 海 を遡って (お前)行っ て である ならば
 海を渡って行ったならば
- アトウイ エトク タ ポロ ナイ アン イネ
 atuy etok ta poro nay an _hine
 海 の先 に 大きい 川 あっ て
 海の向こうに大きな川があります。
- ネ ナイ アトウイ オルン
 ne nay atuy or un
 その 川 海 の所 に
 その川が海に
- 165 サン コロ アン ルウエ ネ クス
 san kor an ruwe ne kusu
 出 て いる の だ から
 流れ込んでいるので
- ネ ナイ トウラシ エアラパ ワ ネ ヤクン
 ne nay turasi e=arpa wa ne yakun
 その 川 を遡って (お前)行っ て である ならば
 その川をさかのぼって行ったならば
- シロカネ タク コンカネ タク ナイ アラケ
 sirokane tak konkane tak nay arke
 銀の 塊 金の 塊 川 の片側
 銀の塊、金の塊が川岸で

19 静内方言アカナクネ akanakne [奥]「もしも〜すれば」、沙流地方ではヤカナクネ yakanakne と言う。

ウコミケミケ コロ オカ クス
 ukomikemike kor oka kusu
 互いにピカピカ光っ て いる ので

光っているの

ネ シロカネ タク コンカネ タク
 ne sirokane tak konkane tak
 その 銀の 塊 金の 塊

その銀の塊、金の塊を

170 エウク ワ エエク ワ ネ ヤクン
 e=uk wa e=ek wa ne yakun
 (お前)取って (お前)来 て であれ ば

取って来なさい。そうすれば

ネ タク エコロ ワ エアン ヤカナクネ
 ne tak e=kor wa e=an yakanakne
 その 塊 (お前)持って (お前)暮らし たら

その塊を持っていたならば

オンネ パクノ
 onne pakno
 年を取る まで

年を取るまで

ネン… ネプ カ エエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nen... nep ka e=esirkirap ka somo ki no
 何 も (お前)苦労し も しない で

何も苦労することなく

エアン クス ネ …
 e=an kusu ne…
 (お前)暮らす ことになっている

暮らせるのです。

175 ネノ ヘネ イキアン ソモ キ ヤカナクネ
 neno hene iki=an somo ki yakanakne
 そう でも し(私) ない なら

そうでもしなければ

アエコヤヤッタサ クニ カ
 a=e=koyayattasa kuni ka
 (私がお前に)返礼をする べき も

あなたにお返ししようも

アエランペウテク パクノ
 a=erampewtek pakno
 (私)わからない ほど

ないと

アエコヤヤッタサ クス ネ ナ”
 a=e=koyayattasa kusu ne na”
 (私がお前に)返礼を します よ

思っているのです」

セコロ ハウエアン ネ ヤ
 sekor hawean ne ya
 と 言う で も

と

180 カムイ ネ クス コラチ アン クル
 kamuy ne kusu koraci an kur
 神 だ から そのように ある 男性

神々しい姿をした男性が

ハウエアン ヤク アタカラ ヒネ
 hawean yak a=takar hine
 言う と (私)夢に見 て

言う夢を見て

- エアラキンネ アエヤイコブンク コロ
earkinne a=eyaykopunk kor
本当に (私)喜び ながら
本当に喜んで
- モサン ルウェ ネ アクス
mos=an ruwe ne akusu
目覚める(私) の だっ たところ
目が覚めました。
- ウェンタラプ ネ クナク アラム ア プ
wentarap ne kunak a=ramu a p
夢 だ と (私)思っ た のに
すると夢だと思っていたのだけれど
- 185 イサム タ ネ カネ チヨリ アン ルウェ ネ イネ
i=sam ta ne kane cori an ruwe ne _hine
(私)のそばに その 金の ぞうり ある の であって
私のそばにその金のぞうりがありました。
- アコオンカミ ア オンカミアナ アナ コロ
a=koonkami a onkami=an a an a kor
(私)拝礼を何度も 何度も 何度もし ながら
私は何度も拝礼をして
- アウク イネ
a=uk _hine
(私)受け取っ て
受け取り
- オラ ニサッタ クンネイワ ソンノカ
ora nisatta kunneywa sonnoka
こんど 翌日 朝 本当に
翌朝、本当に
- アコロ ワ アトウイ サム タ アラパアン ヒネ
a=kor wa atuy sam ta arpa=an hine
(私)持っ て 海 のそばに 行く(私) して
それを持って海辺に行きました。
- 190 アウシ アクス
a=us akusu
(私)履い たところ
私が履くと
- カムイ イェ ア ヒ コラチ
kamuy ye a hi koraci
神 言っ た ことのように
神が言った通りに
- オウセ テレケアン ヒネ
owse terke=an hine
空中へ 飛ぶ(私) して
空中に飛び上がり
- アトウイ ソ カ テレケアン ヒネ
atuy so ka terke=an hine
海 面 の上 跳ねる(私) して
海面を跳ねて
- オウセ ホプニアン ヒネ アラパアン ヒネ
owse hopuni=an hine arpa=an hine
空中へ 飛ぶ(私) して 行く(私) して
空中を飛んで行きました。
- 195 アトウイ エトク タ アラパアン ルウェ ネ アクス
atuy etok ta arpa=an ruwe ne akusu
海 の先 に 行く(私) こと だっ たところ
海を越えて行ったところ

ソノカ アトウイ オルン ナイ ピリカ ナイ
 sonnoka atuy or un nay pirka nay
 本当に 海 の所 に 川 きれいな 川

本当に、海にきれいな川が

サン コロ アン ヒ クス
 san kor an hi kusu
 流れ下って いる ので

流れ込んでいたので

ネ ナイ プトウ ワ
 ne nay putu wa
 その 川 河口 から

その川の河口から

ナイトウラシアン ルウエ ネ アクス
 naytulasi=an ruwe ne akusu
 川をさかのぼる(私) こと だっ たところ

さかのぼって行ったところ

200 ナイ アラケヘ コンカネ タク
 nay arkehe konkane tak
 川 の片側 金の 塊

川の片側の岸に金の塊が

ネ ナイ アラケヘ シロカネ タク
 ne nay arkehe sirokane tak
 その 川 の片側 銀の 塊

反対の片側の岸に銀の塊が

ウコミケミケ コロ オカ。
 ukomikemike kor oka.
 互いにピカピカ光り ながら ある

輝いていました。

オロ タ アラパアン ヒネ オラノ
 oro ta arpa=an hine orano
 そこ に 行く(私) して こんど

そこに行って

オンカミアナ アナ
 onkami=an a an a
 何度も拝礼した(私)

何度も拝礼をして

205 シロカネ タク エウン カ シンナ オンカミアン。
 sirokane tak eun ka sinna onkami=an.
 銀の 塊 に も 別に 拝礼をする(私)

銀の塊に拝礼をしました。

コンカニ タク エウン カ
 konkani tak eun ka
 金の 塊 に も

金の塊にも

オンカミアナ アナ コロ
 onkami=an a an a kor
 何度も拝礼する(私) ながら

何度も拝礼をして

オラ カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス
 ora kamuy ye wa a=nu p ne kusu
 こんど 神 言っ て (私)聞く ものだ から

神が言うのを聞いていたので

シロカネ タク シネプ コンカネ タク シネプ
 sirokane tak sinep konkane tak sinep
 銀の 塊 ひとつ 金の 塊 ひとつ

銀の塊をひとつ、金の塊をひとつ

- 210 アウク ヒネ アウプソロ オマレ ヒネ
a=uk hine a=upsor omare hine
(私)取っ て (私の)ふところ に入れ て
取って懐に入れました。
- オラ スイ ホシピアン イケ カ
ora suy hosipi=an _hike ka
こんど また 戻る(私) して も
そしてまた帰る時も
- ネ チヨリ アウシ ペ ネ クス
ne cori a=us pe ne kusu
あの ぞうり (私)履く もの だ から
あのぞうりを履いたので
- ネプ カ アエラナク カ ソモ キ ノ エカニネ
nep ka a=eranak ka somo ki no ek=an _hine
何 も (私)困り も しない で 来る(私) して
何の苦勞もなく
- アウニ タ エカン ルウェ ネ ヒネ
a=uni ta ek=an ruwe ne hine
(私の)家 に 来る(私) こと であっ て
家に帰って来ました。
- 215 オラ ナニ オッチケ オロ ネ カネ チヨリ
ora nani otcike oro ne kane cori
こんど すぐ 盆 に その 金の ぞうり
そしてすぐ盆にあの金のぞうり
- シロカネ タク コンカネ タク
sirokane tak konkane tak
銀の 塊 金の 塊
銀の塊、金の塊を
- カネ チヨリ ウン アオマレ ヒネ
kane cori un a=omare hine
金の ぞうり に (私)入れ て
金のぞうりに入れて
- アコロ ロルンプヤラ オシソ ワ²⁰ アアヌ ヒネ
a=kor rorunpuyar osiso wa a=anu hine
(私の)の 神窓 右座 から (私)置い て
私の家の神窓に右座側から置いて
- アコオンカミ アコオンカミ… アン²¹ ヒネ
a=koonkami a=koonkami... an hine
(私)拝礼する (私)拝礼する して
何度も拝礼をして
- 220 アナン ワ エアラキンネ ヤイライケアン ヒ
an=an wa earkinne yayrayke=an hi
いる(私) して 本当に 感謝する(私) こと
感謝の言葉を
- アイエ ア アイエ ア コロ
a=ye a a=ye a kor
(私)何度も言い ながら
何度も述べて
- アナン ルウェ ネ アクス
an=an ruwe ne akusu
いる(私) こと だっ たところ
いて

20 上座から家の入り口側を見た場合、右側の座は家の主人の席である。イクレスイェはこの家の主人なので、神窓に供えものをするには必然的に右座側からという表現になる。

21 ここにアン an がある意味は不明。

スイ ホツケアン …クス
suy hotke=an kusu
また 眠る(私) ので

また眠りにつきました。

ネア エアンチカリ スイ
nea eancikari suy
その夜 また

するとその夜また

225 ウェンタラパン ルウエ ネ アクス
wentarap=an ruwe ne akusu
夢を見る(私) こと だっ たところ

夢を見ました。

ウクラン ネ アヌカラ ア カムイ
ukuran ne a=nukar a kamuy
ゆうべ に (私)見 た 神

昨夜夢に見た神が

スイ クンネ コソンテ
suy kunne kosonte
また 黒い 上等な着物

また黒い着物を

ウトムチウレ カネ アン イネ
utomciwre kane an _hine
を身につけ て い て

身につけて

アコル… アペトク タ アン イネ
a=kor... apeetok ta an _hine
(私)の 横座 に い て

私の家の横座に座っていて

230 シロカネ キセリ シロカネ タンパクオプ
sirokane kiseri sirokane tanpakuop
銀の キセル 銀の たばこ入れ

銀のキセル、銀のたばこ入れを

ウコアニ カネ… アニ ヒネ
ukoani kane ani hine
を一緒に持つ て 持つ て

ひとそろい持って

ネ… スイ エネ ハウエアニ。
ne... suy ene hawean _hi.
その また このように言う

このように言いました。

“ ソンノ イスレスイエ
“sonno isuresuye
本当に イクレスイエ

「本当にイクレスイエよ、

アエコヤヤッタサ ヒ カ
a=e=koyayattasa hi ka
(私がお前に)返礼をする こと も

お返しをするにも

235 エネ ネ ヒ カ イサム クス タネ… コロカ
ene ne hi ka isam kusu tane... korka
どんな 方法 も ない ので もう けれど

どうしていいかわからないけれど

ニサッタ ネ
nisatta ne
明日 になる

明日になったら

タネ アコロ ソン ウタラ カ タネ ポロ ワ
 tane a=kor son utar ka tane poro wa
 もう (私)の 息子 たち も もう 大きくなって

もう私の子供たちも大きくなったので

カムイ オルン リキナン エトコ ネ
 kamuy or un rikin=an etoko ne
 神 の所 に 昇天する(私) 前 である

神の国に帰るつもりです。

タネ トウ チュプ カ レ チュプ カ
 tane tu cup ka re cup ka
 もう 2 月 も 3 月 も

2、3か月

240 エアン クシケライポ
 e=an kuskeraypo
 (お前)いた おかげで

あなたがいてくれたおかげで

アコロ ソン ウタラ イカスイ イパロ…
 a=kor son utar ikasuy iparo…
 (私)の 息子 たち 手伝う

私の子育てを手伝って

イエカスイ ワ アコロ ソン ウタラ パロオイキ ワ
 i=ekasuy wa a=kor son utar parooyki wa
 (私を)手伝っ て (私)の 息子 たち を養っ て

私の子供たちを養って

イコレ ワ ヤイライケアン ワ
 i=kore wa yayrayke=an wa
 (私に)くれ て 感謝する(私) して

くれて感謝します。

ネイ タ パクノ アナン カ エアイカプ ワ
 ney ta pakno an=an ka eaykap wa
 いつ までも 暮らす(私) も できない で

いつまでもいることができないので

245 タネ ニサッタ ネ
 tane nisatta ne
 もう 翌日 に

もう明日になったら

カムイ オルン リキナン エトコホ ネ クス
 kamuy or un rikin=an etokoho ne kusu
 神 の所 に 昇天する(私) その前 だ から

神の国に昇天するので

オラ アエコヤヤッタサ クス アコロ ソン ウタラ
 ora a=e=koyayattasa kusu a=kor son utar
 こんど (私がお前に)返礼する ために (私)の 息子 たち

お返しをするために私の子供たちを

アイヌ ネ アカラ ワ
 aynu ne a=kar wa
 人間 に (私)し て

人間にして

シネ ポ シネ マツカチ
 sine po sine matkaci
 ひとり 男の子 ひとり 女の子

ひとりの子は男の子、ひとりの子は女の子、

250 アイヌ ネ アカラ ワ アイコホツパ クス ネ
 aynu ne a=kar wa a=ikohoppa kusu ne
 人間 に (私)し て (私)置いて行き ます

人間にして置いていくつもりです。

クス エレス ワ ネ ヤクン
 kusu e=resu wa ne yakun
 なので (お前)育てて である ならば

なのであなたが育てて

オラ ポロ ヤクン
 ora poro yakun
 こんど 大きくなった ならば

大きくなったならば

チカプ ネ クス チカプ サニ ネ クス
 cikap ne kusu cikap sani ne kusu
 鳥 だ から 鳥 の子孫 だ から

鳥の子孫なので

ウオヤク タ エホツケレ カ ソモ キ ノ
 uoyak ta e=hotkere ka somoki no
 別 に (お前)寝かせる も しない で

別に寝かせることをせず

255 シネ セトツ タ エホツケレ。
 sine set or_ ta e=hotkere.
 ひとつ 寝床 の所 に (お前)寝かせる

ひとつの寝床で寝かせなさい。

チカ…チカプ ネ クス エホツケレ ワ ネ ヤクン
 cika... cikap ne kusu e=hotkere wa ne yakun
 鳥 だ から (お前)寝かせ て である ならば

そうすれば

ナニ ウムレクパ オハ オカ ワ
 nani umurekpa oha oka wa
 すぐ 夫婦になる 同じ いる して

すぐに夫婦になり

ウムレクネパ⁽²²⁾ ヤクン
 umureknepa yakun
 夫婦になる ならば

やがて

オラ ナニ ポ カ コロパ…
 ora nani po ka korpa…
 そして すぐ 子供も 持つ

すぐ子供ができます。

260 オラ エアシリ
 ora easir
 そして はじめて

そうして初めて

エチヤイコトウヤシ⁽²³⁾ パクノ エチイヨマブ
 eci=yaykotuyas pakno eci=iyomap
 (お前たち)気が済む まで (お前たち)かわいがる

あなたたちは得心がいくまでかわいがって

ナンコン ナ”
 nankor_ na”
 しなさい よ

ください」

セコロ ネア カムイ ネ クス コラチ アン クル
 sekor nea kamuy ne kusu koraci an kur
 と その 神 だ から そのように ある 人

と、あの神々しい姿をした人が

22 実際には鳥であっても兄弟同士でつがいになるということはないが、他の生物に比べて個体識別がしにくいという点がこうしたエピソードが生まれた背景になっているとも考えられる。

23 ヤイコトウヤシ yaykotuyasi ~で自分は安心だ [田]。yaykotuyash 自分に同情する、可愛想に思ふ、本懐に思ふ [久]。

- ハウエアン ヤク アタカラ イネ
haweana yak a=takar hine
言う と (私)夢を見 て
言った夢を見ました。
- 265 ニサッタ ネ リキナン セコロ ハウエアン ヒ
nisatta ne rikin=an sekor haweana hi
翌日 に 昇天する(私) と 言う こと
翌朝になったら天に帰ると言っていたことは
- ウェンタラプ ネ クナク アラム
wentarap ne kunak a=ramu
夢 だ と (私)思う
夢だと思った
- オツ タ オンカミ モサニ
or_ ta onkami mos=an _hi
そこ で 拝礼する 目覚める(私) こと
ところで拝礼して目が覚めました。
- オラノ オンカミアナ アナ コロ アナン。
orano onkami=an a ana kor an=an.
そして 何度も拝礼する(私) ながら いる(私)
そして何度も拝礼をしました。
- ニサッタ クンネイワ オラ スイ
nisatta kunneywa ora suy
翌日 朝 こんど また
翌朝また
- 270 トウナシノ ホプニアン ルウエ ネ アクス
tunasno hopuni=an ruwe ne akusu
早くに 起きる(私) こと だっ たところ
早く起きたところ
- ネプ カ アパオッキ
nep ka apaotki
何 か 戸口のすだれが
何か戸口のすだれが
- モイモイケ ペコロ ネ イ クス
moymoyke pekor ne _hi kusu
動く かのよう な ので
動いたようなので
- インカラン ルウエ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ
見ると
- ポン ヘカチ ポン マツカチ
pon hekaci pon matkaci
小さい 男の子 小さい 女の子
小さい男の子と女の子が
- 275 アパ オツ タ ウコヘムヘム²⁴ コロ オカ。
apa or_ ta ukohehему kor oka.
戸口 の所 で ふたりでうなずい て いる
戸口のところでふたりでうなずいていました。
- カムイ イェ ワ アヌ ア プ セコロ ヤイヌアン ワ
kamuy ye wa a=nu a p sekor yaynu=an wa
神 言っ て (私)聞いた ものと 思う(私) して
神が言うのを聞いていたからと思って

24 ヘム hem は相づちを打つときに発する言葉で、ここではヘム hemu と母音がついているが、文脈を考えると神が言っていたことについて「自分たちがそうなんだ」とうなずいて知らせたという意味だと解釈した。

- アマチヒ トウラノ マッコサヌアニネ
a=macihi turano matkosanu=an hine
(私の妻) と一緒に ぱっと動く(私) して
妻と一緒にぱっと動いて
- ウサ ウサ ネ ポン ヘカチ ポン マツカチ
usa usa ne pon hekaci pon matkaci
いろいろな その 小さい 男の子 小さい 女の子
その小さい男の子、女の子を
- アウコライエ ヒネ
a=ukoraye hine
(私)抱え て
抱えて
- 280 オラノ アエヤイコプンテク ワ オラノ
orano a=eyaykopuntek wa orano
それから (私)喜ん で こんど
喜んで
- アルイルイパ コロ アチヨクヌレ コロ オカアン。
a=ruyruypa kor a=coknure kor oka=an.
(私)なでさすり ながら (私)キスをし ながら 暮らす(私)
なでさすってキスをして暮らしました。
- アマチヒ トウラノ エネ アカリ…
a=macihi turano ene a=kar _hi…
(私の妻) と一緒に そう (私)する
妻と
- ヤイコトウヤシアン クニ カ アエランペウテク ノ
yaykotuyasi=an kuni ka a=erampewtek no
自分で満足する(私) こと も (私)わからない で
満ち足りて
- アオマプ ア アオマプ ア コロ
a=omap a a=omap a kor
(私)何度もかわいがり ながら
かわいがりながら
- 285 オカアン ルウエ ネ… アネ イネ
oka=an ruwe ne… a=ne _hine
暮らす(私) こと (私)であっ て
暮らしました。
- ソンノカ カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス
sonnoka kamuy ye wa a=nu p ne kusu
本当に 神 言っ て (私)聞く ものだ から
本当に神様から聞いていた通り
- ルプネパ トウナシ オラノ アカイ カネ オカアン
rupnepa tunas orano a=kay kane oka=an
大きくなる 早い そして (私)背負っ て 暮らす(私)
育つのが早く、おぶったり
- テケ アアニ カネ ワ
teke a=ani kane wa
手 (私)持ち も して
手をつないで
- コタン ケスン コタン パ ウン
kotan kes un kotan pa un
村 しも に 村 かみ に
村の下端から上端まで
- 290 アプカサン イネ ヤイコトウヤシアン コロ アナン。
apkas=an _hine yaykotuyasi=an kor an=an.
歩く(私) して 自分は安心だ(私) ながら 暮らす(私)
歩いて、満ち足りて暮らしました。

アマチヒ ネ ヤッカ ウサ パッカヤン
 a=macihi ne yakka usa pakkay=an
 (私の妻) で も 色々 背負う(人)

妻もおぶったり

ウサ アコロ ソン ウタラ テケ アアニ コロ
 usa a=kor son utar teke a=ani kor
 色々 (私)の 息子 たち の手 (私)持ち ながら

手をつないで

オカアン ラポッケ
 oka=an rapokke
 暮らす(私) そのうちに

暮らしていました。

カムイ イェ ワ アヌ ア プ
 kamuy ye wa a=nu a p
 神 言っ て (私)聞いた が

神様が言っていたなあ

295 セコロ ヤイヌアン ペ ネ クス
 sekor yaynu=an pe ne kusu
 と 思う(私) もの な ので

と思ったので

タネ ポロパ ヒ オラ
 tane poropa hi ora
 もう 大きくなる とき こんど

もう大きくなってからは

ナニ セツ アカラ ヒネ
 nani set a=kar hine
 すぐに 寝床 (私)作っ て

すぐに寝床を作って

オロ タ ウオヤク セツ アカラ ソモ キ ノ
 oro ta uoyak set a=kar somoki no
 そこ に 別に 寝床 (私)作ら ず に

そこで別に寝床を作らずに

シネ セツ オツ タ アホツケレパ クニネ
 sine set or_ ta a=hotkerepa kunine
 ひとつ 寝床 の所 に (私)寝かせる ように

ひとつの寝床で寝かせるように

300 アカラ コロ アナン ラポッケ オラ ナニ
 a=kar kor an=an rapokke ora nani
 (私)し ながら いる(私) うちに こんど すぐに

しました。

ネア アコロ マツカチ ヘカチ ネ ア コロカ
 nea a=kor matkaci hekaci ne a korka
 その (私)の 女の子 男の子 だっ た けれど

その娘と息子が

タネ ポン マツカチ ポン ヘカチ ネ ヒ オラノ
 tane pon matkaci pon hekaci ne hi orano
 もう 小さい 女の子 小さい 男の子 になる 時 から

もう大きくなってからは

シネ セツ オツ タ アアヌパ プ ネ クス
 sine set or_ ta a=anupa p ne kusu
 ひとつ 寝床 の所 に (私)置く もの だ から

ひとつの寝床に置いたので

ナニ ネア アコロ マツカチ ネ ア コロカ
 nani nea a=kor matkaci ne a korka
 すぐに その (私)の 女の子 だっ た けれど

私の娘には

- 305 チカプ サニ ネ クス
cikap sani ne kusu
鳥 の子孫 な ので
鳥の子孫なので
- ナニ ポコン ルウェ ネ… ポコロ ワ
nani pokor_ ruwe ne... pokor wa
すぐに 子を持つ こと である 子を持つ て
すぐ子供ができて
- オラノ アエヤイコプンテク。
orano a=eyaykopuntek.
そして (私)喜ぶ
喜びました。
- カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス
kamuy ye wa a=nu p ne kusu
神 言っ て (私)聞く ものだ から
神様から聞いていたので
- アエヤイコプンテク コロ
a=eyaykopuntek kor
(私)喜び ながら
喜んで
- 310 オラノ アエチヨクヌレ コロ オカアン
orano a=ecoknure kor oka=an
そして (私)キスをし ながら 暮らす(私)
キスをして暮らしました。
- オラ カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス
ora kamuy ye wa a=nu p ne kusu
そして 神 言っ て (私)聞く ものだ から
そして神様が言う通り
- サケ⁽²⁵⁾ コロ ヤクン
sake kor yakun
酒 を持つ ならば
酒が手に入ると
- “ リクンカント ウン カムイ
“ rikunkanto un kamuy
天の国 にいる 神
『天にいる神
- スルク カムイ エカシ アノミ ナ’
sunku kamuy ekasi a=nomi na
エゾマツ 神 おじいさん (私)祭る よ
エゾマツ神のおじいさんを祭ります』
- 315 セコロ エハウエアン コロ
sekor e=hawean kor
と (お前)言い ながら
と言って
- イノミ ワ イコレ ヤク ピリカ ナ”
i=nomi wa i=kore yak pirka na”
(私を)祭っ て (私に)くれ たら いい よ
祭ってくれるといい」
- セコロ カ イェ プ ネ ア イ クス
sekor ka ye p ne a _hi kusu
と も 言う もの だった ので
とも言っていたので

25 儀式のとき神に祈るのには酒を欠かすことはできず、また神が最も喜ぶ供物のひとつとされているので、自分の家で酒を醸したときやもらったときなどを含めて、手に入るとまず神に捧げて祈るというのが日常においても通例である。

- ナニ サケカラン ワ
nani sakekar=an wa
すぐに 酒をつくる(私) して
すぐに酒をつくって
- “カムイ オルン リクンカント ウン
“kamuy or un rikunkanto un
神 の所 に 天の国 にいる
「神のところに、天にいる
- 320 カムイ エカシ カムイチカプ アノミ ナ”
kamuy ekasi kamuycikap a=nomi na”
神 おじいさん フクロウ神 (私)祭る よ
神のおじいさん、フクロウ神に祈ります」
- セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) ながら
と言って
- イチャラパアン²⁶ カ カムイノミアン カ キ コロ
icarpa=an ka kamuynomi=an ka ki kor
供物をまく(私) も 神へ祈る(私) も し ながら
先祖供養や祈りの儀式をして
- アナン ラポッケ
an=an rapokke
暮らす(私) うちに
いました。そのうちに
- ネ… ナニ ネア…
ne… nani nea…
あの すぐに あの
すぐにあの
- 325 アレス ワ アン マツネポ ポ カ コロ ワ
a=resu wa an matnepo po ka kor wa
(私)育て て いる 女の子 子 も 持っ て
育てていた娘に子供ができたので
- ポヘネ アエヤイコプンテク コロ アエチヨクヌレ
pohene a=eyaykopuntek kor a=ecoknure
なおさら (私)喜び ながら (私)キスをする
なおのこと喜んで、キスをしました。
- オラ チカプ サニ ネ クス
ora cikap sani ne kusu
そして 鳥 の子孫 だ から
そして鳥の子孫なので
- ウカンウカン²⁷ ポコロ ワ
ukan'ukan pokor wa
次々に 子を持っ て
次々に子供ができて
- ポ ヤイコトウヤシアン コロ アオマフ
po yaykotuyasi=an kor a=omap
なお 自分は安心だ(私) ながら (私)かわいがる
満ち足りてかわいがりながら
- 330 アカイ カネ オカアン。
a=kay kane oka=an.
(私)背負い ながら 暮らす(私)
おぶって暮らしました。

26 実際の儀式の場においても神への祈りの儀式と先祖供養は一連のものとして行われる。

27 ウカンウカン ukan'ukan「次々に」は辞書類には未見だが、当館データでは上田トシ、川上まつ子両氏は口承文芸中でこの言葉を使った例がいくつかある。原意はウカウン u-ka-un（お互い・の上・にある）か。

アマチヒ トウラノ

a=macihi turano

(私の)妻 と一緒に

妻と一緒に

キ コロ オカアン ラポッケ

ki kor oka=an rapokke

し ながら 暮らす(私) うちに

そうして暮らしているうちに

ネ アコロ… アレス ア アポホ カ

ne a=kor... a=resu a a=poho ka

あの(私)の (私)育て た (私の)息子 も

育てた息子も

イネアプ タ ヘトウク トウナシ ペ ネ クス

ineap ta hetuk tunas pe ne kusu

何とまあ 育つ 早い もの だ から

何とまあ、育つのが早いので

335 ナニ ヘトウク トウナシ カ タ

nani hetuk tunas ka ta

すぐ 育つ 早い 上 に

すぐ大きくなる上に

オラ アリキキ ワ ネプ… ワ… ペ ネ クス

ora arikiki wa nep... wa... pe ne kusu

そして 頑張っ て 何 して もの だ から

頑張る子なので

アポホ カラ ペ アエ ネ ヤ キ コロ

a=poho kar pe a=e ne ya ki kor

(私の)息子 作る もの (私)食べる で も し ながら

息子が作ったものを食べたりして暮らしました。

オラ ヤイカタ アナクネ

ora yaykata anakne

そして 自分 は

自分は

エキムネアン カ ソモ キ ノ

ekimne=an ka somo ki no

山猟に行く(私) も しない で

山猟に行くこともなく

340 チセ オツ タ アナン ワ イエトコイキ ネ ヤ

cise or_ ta an=an wa ietokoyki ne ya

家 の所 に いる(私) して 準備をする で も

家にいて狩りの準備をしたり

アポホ コロ ワ イワク

a=poho kor wa iwak

(私の)息子 持っ て 帰る

息子がとって帰った

カムイ ネ ヤツカ ユク ネ ヤツカ

kamuy ne yakka yuk ne yakka

クマ で も シカ で も

クマやシカを

ネプ ネ ヤツカ アノミ ネ ヤ

nep ne yakka a=nomi ne ya

何 で も (私)祭る で も

祭ったり

ナ ネン ネン イキアン コロ

na nen nen iki=an kor

まだ いろいろ する(私) ながら

いろいろなことをしました。

- 345 アポホ アヤイモニコロ コロ アナン ヒ オラノ
 a=poho a=yaymonikor kor an=an hi orano
 (私の)息子 (私)忙しくし ながら 暮らす(私) 時 それから
 私の息子が忙しく働くようになってからは
- ネプ アエシリキラプ カ
 nep a=esirkirap ka
 何 (私)苦勞すること も
 何に困ることもなく
- アコン ルスイ カ ソモ キ コロ オカアン。
 a=kor_rusuy ka somo ki kor oka=an.
 (私)持ち たい も しない で 暮らす(私)
 何を欲しいと思うこともなく暮らしました。
- ラポッケ オラノ ネア ホシキ アコラ
 rapokke orano nea hoski a=kor a
 そのうちに こんど あの 先に (私)持っ た
 そのうちに先に生まれた
- アミッポ ウタラ カ ルプネ トウナシパ プ ネ クス
 a=mippo utar ka rupne tunaspa p ne kusu
 (私の)孫 たち も 大きくなる 早い もの だ から
 孫たちも大きくなるのが早く
- 350 ルプネパ ヒネ
 rupnepa hine
 大きくなる して
 一人前になりました。
- ナニ ピリカ ニシパ オロ ワ
 nani pirka nispa oro wa
 すぐ いい 旦那さん の所 から
 すぐに立派な男が
- マッカチ ネ ヤクン アコン ルスイ ヤクン
 matkaci ne yakun a=kor_rusuy yakun
 娘 だっ たら (私)嫁に欲しい ならば
 娘を嫁に欲しいと言うなら
- アコララ ヤク ピリカ ナ セコロ カ
 a=korar yak pirka na sekor ka
 (私)嫁にやれ ば いい よ と も
 嫁にやったらいいとも
- カムイ イェ プ ネ ア イ クス
 kamuy ye p ne a _hi kusu
 神 言う の だっ た ので
 神様が言っていたので
- 355 ピリカ ニシパ オロワ アコン ルスイ コロ
 pirka nispa orowa a=kor_rusuy kor
 いい 旦那さん から (私)嫁に欲しい と
 立派な男から嫁に欲しいと望まれ
- エウン アコレ イ オラ
 eun a=kore _hi ora
 そこへ (私)嫁がせる こと そして
 そこへ
- ピリカ ニシパ オロワ マテトウンアン ワ
 pirka nispa orowa matetun=an wa
 いい 旦那さん から 嫁にもらわれる(私) して
 嫁にやりました。
- アミッポホ ネ ヤッカ
 a=mippoho ne yakka
 (私の)孫 で も
 孫や

ア… マツ カ トウラノ オカアン ワ
a=... mat ka turano oka=an wa
(私) 妻 も 一緒に 暮らす(私) して

妻と一緒に暮らしました。

360 オラノ アコタヌ カ モヨ⁽²⁸⁾ プ ネ ア コロカ
orano a=kotanu ka moyo p ne a korka
そして (私の)村 も 人が少ないものだった けれど

私の村は小さい村でしたが

アミツポホ ウタラ ウカンウカン
a=mippoho utar ukan'ukan
(私の)孫 たち 次々に

孫たちが次々に

ルプネパ プ ネ クス ナニ オポキン
rupnepa p ne kusu nani opokin
大きくなる ものだ から すぐ 次々に

大きくなったので

マテトウンパ ネ ヤ ホクコロパ ネ ヤ キ コロ
matetunpa ne ya hokukorpa ne ya ki kor
妻をもらう で も 夫を持つ で も し ながら

妻や夫をもって

アシソウンテパ⁽²⁹⁾ ワ ネ ワ ポヘネ
a=sisountepa wa ne wa pohene
(私)家を持つ て そうして なおさら

所帯を持ち、なおさら

365 ネプ カ アコン ルスイ カ ソモ キ
nep ka a=kor_rusuy ka somo ki
何 も (私)持ち たい も しない

何を欲しいとも思わずに暮らしました。

エネ ヘタブネ
ene hetapne
どのようにでも

このように

アエイコイトウパ ワ… イヨマプ ネ ア コロカ
a=eykoytupa wa... iyomap ne a korka
(私)うらやましく思っ て かわいがる だった けれど

ポ エイコイトウパ カ ソモ… ネ ア コロカ
po eykoytupa ka somo... ne a korka
子供 をうらやましく思っ も しない だった けれど

子供をうらやましがっていたけれど

イヨマプ ヤイコトウヤシア コロ オカアン
iyomap yaykotuyasi=an kor oka=an
かわいがる で自分は安心だ(私) ながら 暮らす(私)

かわいがって満ち足りて暮らしました。

370 オラ サケ アコロ コロ ピシノ ピシノ
ora sake a=kor kor pisno pisno
そして 酒 (私)持つ と それ ぞれ

酒が手に入るとそのたびに

“リクンカント ウン カムイ エカシ
“rikunkanto un kamuy ekasi
天の国 にいる 神 おじいさん

「天の国にいる神のおじいさん

28 対義語はインネ inne「人が多い」。物語の終盤で人が少なかった村に徐々に人が増えて大きな村になるというのが幸せになるという表現のひとつとして語られる。

29 シソウンテパ si-so-un-te-pa(右・座・にいる・させる・[複])で「家の主人の座に座らされる」つまり「主となって家をかまえる」。

- カムイチカプ エカシ アノミ ナ”
kamuycikap ekasi a=nomi na”
フクロウ神 おじいさん (私)祭る よ
フクロウ神のおじいさんを祭ります」
- セコロ ハウエアナン コロ カムイノミアン
sekor hawean=an kor kamuynomi=an
と 言う(私) ながら 神に祈る(私)
と言って儀式をしました。
- 375 アイネ タネ… アナン ペ ネ イ クス
ayne tane… an=an pe ne _hi kusu
そして もう 暮らす(私) ものである ので
そうして暮らして
- アポホ アナクネ オハ カ…³⁰ チカプ ネ クス
a=poho anakne oha ka… cikap ne kusu
(私の)息子 は 同じ 鳥 である ので
息子は…鳥なので
- カムイノミ カ イナウケ カ
kamuynomi ka inawke ka
神への祈り も 木幣を削り も
神への祈りも木幣を削ることも
- エアイカプ ナンコロ クス
eaykap nankor kusu
できない だろう から
できないだろうから
- アポホ オロワノ³¹ エアシリ カムイノミ カ
a=poho orowano easir kamuynomi ka
(人の)息子 それから 初めて 神への祈り も
孫の代から神への祈りもし
- 380 リクンカント ウン エカシ エウン
rikunkanto un ekasi eun
天の国 にいる おじいさん へ
天にいるおじいさんへ
- カムイノミ カ イナウ カ イクラパ クニ
kamuynomi ka inaw ka ikrapa kuni
祈りの儀式 も 木幣 も 送る ように
儀式も、木幣を送ることも
- アイカシパオツテ³² コロ アナン ラポツケ
a=ikaspaotte kor an=an rapokke
(私)命じ ながら 暮らす(私) うちに
教えていました。
- タネ ヤイコトウヤシアン パクノ
tane yaykotuyasi=an pakno
もう 自分は安心だ(私) まで
満足がいくまで
- イヨマブ ネ ヤ
iyomap ne ya
かわいがる で も
かわいがりました。
- 385 ピリカノ アポホ ネ ヤツカ
pirkano a=poho ne yakka
よく (私の)息子 で も
息子や

30 オハ カムイ oha kamuy 「同じ神同士」の言いさしか。

31 文脈から考えると、息子の次の代、話者の孫の代から祈りの儀式をするようになったということか。

32 イカシパオツテ ikaspaotte は1項動詞。ここは本来はカシパオツテ kaspotte と言うべきところ。

アマツネポ ウタラ ネ ヤツカ イピリカレス コロ
 a=matnepo utar ne yakka i=pirkaresu kor 娘たちに養われて
 (私の)娘 たち で も (私を)よく養う ながら

オカアン アイネ オンネアン³³ ペ ネ クス
 oka=an ayne onne=an pe ne kusu 暮らしました。
 暮らす(私) うちに 年を取る(私) もの だ から

オンネ エトク パクノ アミツポホ ウタラ
 onne etok pakno a=mippoho utar いつまでも孫たちよ
 死ぬ 先 まで (私の)孫 たち

イカン クナク
 ikan kunak 決して

390 ネ リクンカント ウン カムイ エカシ ノミパ ヒ
 ne rikunkanto un kamuy ekasi nomipa hi 天の国にいる神のおじいさんを祭ることを
 その 天の国 にいる 神 おじいさん を祭る こと

イテキ オイラ ノ ネイ パクノ…
 iteki oyra no ney pakno… 忘れずに
 決して 忘れず に いつ までも

サスイシリ パクノ
 sasuisir pakno 未代までも
 未代 まで

カムイ オロワ アエコブンキネ ナンコン ナ
 kamuy orwa a=e=kopunkine nankor_ na 神から守られるようにしなさい
 神 から (人がお前を)守る しなさい ね

セコロ イタクムイエアン コロ
 sekor itakmuye=an kor と言い置いて
 と 言い置く(私) ながら

395 オンネアン ペ ネ アクス
 onne=an pe ne akusu 死んで行くので
 死ぬ(私) もの であっ たところ

アイエ セコロ
 a=ye sekor お話ししますと
 (私)言う と

シネ イクレスイエ ニシパ
 sine Ikuresuye nispa イクレスイエという旦那さんが
 ある イクレスイエ さん

イソイタク セコン ネ ワ
 isoytak sekor_ ne wa 物語ったというのですよ。
 物語る という こと だ よ

33 オンネ onne は「年を取る」「死ぬ」双方の意味で使われる。どちらの意味であるかは文脈で判断する。

第2話 散文の物語

ふたりの父

収録日：1995年10月26日

資料番号：35228B

添付CD：3-2（30分41秒）

第2話 散文の物語「二人の父」¹

(ひとりの息子が語る)

アウヌフ アン アオナハ アン ヒネ
 a=unuhu an a=onaha an hine
 (私の)母 いる (私の)父 い て

私は父母と

オカアン ペ ネ イケ
 oka=an pe ne _hike
 暮らす(私) もの だ が

暮らしていました。

タネ ポロアン ペ ネ クス
 tane poro=an pe ne kusu
 もう 大きくなる(私) もの だ から

もう私は大きくなったので

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ… ノ
 nep ka a=esirikirap ka somo ki no... no
 何 も (私)苦勞し も しない で

何を苦勞することもなく

- 5 ヤイカタ ネプキアン コロ アナン ペ ネ ヒケ
 yaykata nepki=an kor an=an pe ne hike
 自分で 働く(私) ながら いる(私) もの だ が

自分で働いていました。

オラ マク ネ ワ ネ ヤ アウヌフ チシ コロ
 ora mak ne wa ne ya a=unuhu cis kor
 こんど どう し て だ か (私の)母 泣い て

そしてなぜか母は泣いて

パテク アン。²
 patek an.
 ばかり いる

ばかり。

ネプ カラ ヤツカ チシ コロ アン。
 nep kar yakka cis kor an.
 何 し ても 泣い て いる

何をしていても泣いていました。

イペ ウトウツ タ ネ ヤツカ
 ipe utur_ ta ne yakka
 食事 の間 に で も

食事の間も

- 10 チシ コロ アン イケ カ
 cis kor an _hike ka
 泣い て いる のに

泣いているのですが

アコウウェペケンヌ カ
 a=kouwepekennu ka
 (私)尋ね も

私はそれについて尋ねたことも

ソモ キ ノ オカアン。
 somo ki no oka=an.
 しない で いる(私)

ありませんでした。

1 1995年10月26日、鍋沢キリ氏宅にて収録。調査者は安田千夏、同席者は鍋沢キリ、大谷洋一の両氏。この話をどこで誰から聞いたかについて上田トシ氏は何も語っていないが、よく似た話がC230UT_35299Aにある。それについては「姉(木村キミ氏)から聞いた」と語っている。

2 物語の冒頭でよく見られる表現。主人公を育てた人物が泣いてばかりいるというのは過去に何か不幸な事件があったということを示唆しているが、主人公はまだ小さいので事情は知らされないでいる。物語が進むにつれてその内容が明らかになっていく。

オラ アオナハ アナクネ タネ オンネ…
 ora a=onaha anakne tane onne…
 こんど (私の)父 は もう 年をとる

父はもう年をとって…

エイタサ オンネ カシパ カ ソモ キ コロカ
 eytasa onne kaspaka somoki korka
 あまり 年をとり すぎ も しない けれど

あまり年を取ってもいないけれど

15 ソユン ネプキ アナクネ ソモ キ ノ
 soyun nepki anakne somoki no
 外の 仕事 は しない で

外仕事はせずに

チセ オンナイ タ パテク アン ラポッケ
 cise onnay ta patek an rapokke
 家 の中 に ばかり いる そのうちに

家の中にばかりいました。

ナア ヤイカタ アナクネ ペウレアン ペ ネ クス
 naa yaykata anakne pewre=an pe ne kusu
 まだ 自分 は 若い(私) もの だ から

まだ私は若いので

アリキキアン ワ ユク ネ ヤ カムイ ネ ヤ
 arikiki=an wa yuk ne ya kamuy ne ya
 頑張る(私) して シカ で も クマ で も

頑張ってシカやクマを

アエラ… ルラ^β プ ネ クス
 a=era... rura p ne kusu
 (私) とって来る もの だ から

とって来るので

20 ネプ アエシリキラフ カ ソモ キ ノ
 nep a=esirkirap ka somoki no
 何 (私)苦勞する も しない で

何を苦勞することもなく

オカアン ペ ネ コロカ オラ
 oka=an pe ne korka ora
 暮らす(私) もの だ けれど こんど

暮らしていたのですが

アウヌフ マク ネ ワ ネ ヤ チシ コロ パテク アン。
 a=unhumak ne wa ne ya cis kor patek an.
 (私の)母 どう して だ か 泣い て ばかり いる

母はなぜか泣いてばかりいました。

ソイ タ ソイエネ ヤツカ チシ コロ アン。
 soy ta soyene yakka cis kor an.
 外 に 出て も 泣い て いる

外に出ても泣いていて

アフン コロ ナン カ ピリパ コロ アフン。
 ahun kor nan ka pirpa kor ahun.
 家に入る と 顔 も 拭き ながら 家に入る

家に入ると顔をぬぐって入って来ました。

25 イペ クニネ コロ
 ipe kunine kor
 食事するように と

食事をして

3 エアウナルラ eawnarura と言おうとしたのだろう。e-awna-rura (を・家の中・に運ぶ)で「(獲物)をとって来る」。

オラノ ポヘネ ヤイヌペコアツテ コロ
 orano pohene yainupekoatte kor
 それから なおさら ひとりで涙を流し ながら

ひとりで泣きながら

イペ コロ アン シリ アヌカラ ヒケ カ
 ipe kor an siri a=nukar hike ka
 食事し て いる 様子 (私)見て も

食事をするのを見ていました

マク ネ ワ エネ アウヌフ
 mak ne wa ene a=unuhu
 どう し て そのように (私の)母

どうして母さんが

チシ コロ パテク アン ヒ ネ ヤ
 cis kor patek an hi ne ya
 泣い て ばかり いる の だ か

泣いてばかりいるのか

30 アコウエペケンヌ カ ソモ キ ノ アナン。
 a=kouwepekennu ka somo ki no an=an.
 (私)尋ねる も しない で 暮らす(私)

尋ねることもせずに暮らしていました。

ラポッケ オラ アコタヌン ウタラ
 rapokke ora a=kotan un utar
 そのうちに こんど (私の)村 の 人たちが

そうしているうちに私の村の人たちが

トノ⁴ コロパ ワ ウイマム⁵ エサンパ⁶ コロ
 tono korpa wa uymam esanpa kor
 和人 を持っ て 交易 に川を下っ て

交易相手の和人のところに交易に行つて

オカ シリ アヌカラ ヒ クス
 oka siri a=nukar hi kusu
 いる 様子 (私)見る ので

いるのを見たので

アヤイコイソイタク コロ
 a=yaykoisoytak kor
 (私)ひとりごとを言い ながら

ひとりごとを言いました。

35 “ネン ネン アウタリ ウイマム エアラパ ワ
 “nen nen a=utari uymam earpa wa
 いろ いろ (私の)仲間 交易 に行っ て

「村人たちが交易に行つて

ウサ オカイ ペ コロ ワ エク ヒ
 usa okay pe kor wa ek hi
 色々 ある もの を持っ て 来る こと

いろいろなものを持って来るのが

アエイコイトウパ” ヒ アイエ コロ
 a=eykoytupa” hi a=ye kor
 (私)うらやましいと思う こと (私)言う と

「うらやましい」と私が言うと

-
- 4 尊称としても使われるが、この場合は和人の交易相手。実際に殿様であるとは限らず「立派な家の主人」くらいの意味でも使われる。
- 5 物語中の交易は、アイヌ側はシカやクマの毛皮などを持って和人の町を訪れる。そして交易相手と酒や穀物、着物や装飾品を交換して帰って来るとされている。
- 6 交易に行くときは海に舟をこぎ出して行くという描写がよく見られるが、この話では海を渡る場面はなく、川筋を行き来したということで終始している。近場の和人の町というイメージなのだろう。

アオナハ エネ ハウエアニ。
a=onaha ene hawean _hi.
(私の)父 このように言った

父はこのように言いました。

“ ウイマムエサンアン サニ
“ uymam'esan=an sani
交易に行く(私たち) 子孫

「交易に行く血筋でも

40 アネパ カ ソモ キ プ ネ ルウエ ネ ナ。
a=nepa ka somo ki p ne ruwe ne na.
(私たち)で も ない の だ こと だ よ

私たちはないのだよ。

ウイマム アナクネ イテキ ウイマム ヤク ピリカ ナ”
uymam anakne iteki uymam yak pirka na”
交易 は 決して 行かない と いい よ

交易には決して行かないほうがいい」

セコロ イエ コロ パテク アン ペ ネ クス
sekor ye kor patek an pe ne kusu
と 言っ て ばかり いる もの だ から

と言ってばかりいたので

ウイママン カ エラミシカリ ノ
uymam=an ka eramiskari no
交易に行く(私) も したことがなく て

交易に行ったこともなく

アナン ペ ネ コロカ
an=an pe ne korka
いる(私) もの だ けれど

暮らしていました。けれど

45 エイタサ アウタリ ウイマム コロ
eytasa a=utari uymam kor
あまり (私の)仲間 交易に行く と

あまりにも私の村の人が交易に行って

オラノ ウサ サケ ネ チキ アمام ネ チキ
orano usa sake ne ciki amam ne ciki
それから 色々 酒 で も 穀物 で も

酒や穀物や

イミ キンカイ⁷ ネ ヤ
imi kinkay ne ya
着物 着替え など

着物などを

コロ ワ アラキパ⁸ シリ アヌカラ ワ
kor wa arkipa siri a=nukar wa
持っ て 来る 様子 (私)見 て

持って帰って来る様子を見て

エアラキンネ アエイコイトウパ コロ アナン ペ
earkinne a=eykoytupa kor an=an pe
本当に (私)うらやましく思っ て いる(私) もの

本当にうらやましかった

50 ネ ア ヒ クス
ne a hi kusu
だっ た ので

ので

7 「kinkai <邦語 着替えか」[久 416]。

8 アラキ arki は ek 「来る」の複数形なのでさらに複数を示す pa をつける必要はなさそうだが、この他にも用例がある。

シネ アン タ ヌイナカン ワ
sine an ta nuynak=an wa
ある日 隠れる(私) して

ある日隠れて

ウイマム エトコ アオイキ コロ アナン ペ ネ アクス
uymam etoko a=oyki kor an=an pe ne akusu
交易に行く 準備 (私)し て いる(私) もの だったところ

交易に行く準備をして

アウタリ ウイマム エサツパ ヒ クス
a=utari uymam esappa hi kusu
(私の)仲間 交易 に川を下る ので

村人たちが交易に行くのを

アケサンパ ヒネ
a=kesanpa hine
(私)追いかけて

追いかけて

55 ウイママン クス サナン ヒネ
uymam=an kusu san=an hine
交易に行く(私) ために 川を下る(私) して

川を下って行きました。

ネ マチヤ オツ タ アラパアン イケ カ
ne maciya or_ ta arpa=an _hike ka
その 町 の所 に 行く(私) しても

和人の町に行っても

オラ アウタリ アナクネ トノ コロパ プ ネ クス
ora a=utari anakne tono korpa p ne kusu
こんど (私の)仲間 は 殿様 を持つ ものだ から

村の人たちには馴染みの屋敷の主がいるので

トノ オルン ヘノイパ ヘノイパ カネ… コロカ
tono or un henoypa henoypa kane... korka
殿様 の所 に 立ち寄り 立ち寄り ながら けれど

そこに立ち寄っているけれど

ヤイカタ アナクネ トノ カ アサク ペ ネ クス
yaykata anakne tono ka a=sak pe ne kusu
自分 は 殿様 も (私)ない ものだ から

私にはいないので

60 マチヤ⁹ オペサン¹⁰ ルウエ ネ アクス
maciya opes=an ruwe ne akusu
町 に沿って下る(私) こと だったところ

和人の町に沿って下って行ったところ

アシンカロ¹¹ ウタラ イケサンパ ヒネ
asinkaro utar i=kesanpa hine
家来 たち (私)を追いかけて

屋敷の家来たちが私を追いかけて来て

“ オツテナ オツテナ¹²
“ ottena ottena
アイヌの旦那 アイヌの旦那

「アイヌの旦那さん、

9 日本語「町」からの移入語。

10 主人公の村から川を下って行った先にあった和人町なので、到着した地点が町の川上側にあたり、そこから川下に向かって移動したという意味であろう。

11 日本語「足軽」からの移入語。本来の意味のような戦闘行為に関わる人を指しているのではなく、トノ tonon の家の使用人という程度の人を指している場合も多い。

12 日本語「乙名」からの移入語。和人がアイヌの首長を呼ぶ際の尊称から派生して、口承文芸では和人がアイヌの男性に対し「旦那さん」というニュアンスでオツテナ ottena という呼びかけをする。

トノサカン ペ ネ ヤ”
tonosak=an pe ne ya”
取引相手がない(私) の ですか

馴染みの取引相手がないのですか」

イコウウエペケンヌ。
i=kouwepekennu.
(私に)尋ねる

と私に尋ねました。

65 トノサカン ペ ネ ヒ アイェ アクス
tonosak=an pe ne hi a=ye akusu
取引相手がない(私) もの だ と (私)言っ たところ

いないと言ったところ

“ヤクン アコロ… カムイ¹³ トノ
“yakun a=kor… kamuy tono
ならば (私)の 立派な 和人の旦那さん

「それならば私たちの屋敷の主が

オツテナ エイコイトウパ コロ アン ルウエ ネ クス
ottena eykoytupa kor an ruwe ne kusu
アイヌの旦那 を欲しがっ て いる こと だ から

取引相手を欲しがっているので

イオツ タ シニ ヤク ピリカ ピリカ”
i=or_ ta sini yak pirka pirka”
(私)の所 で 休め ば いい いい

休んで行ったらいいですよ」

セコロ イェ コロ アシケ イウコエタイエパ ヒネ…
sekor ye kor aske i=ukoetayepa hine…
と 言い ながら 手 (私)皆で引っ張っ て

と言って私の手をみんなで引っ張る

70 ヒ クス オラ
hi kusu ora
だ から こんど

ので

ネ アシンカロ ウタラ アトウラ カネ ヒネ
ne asinkaro utar a=tura kane hine
その 家来 たち (私)連れ立ち も して

その家来たちと一緒に

アフナン ルウエ ネ アクス
ahun=an ruwe ne akusu
家に入る(私) こと だっ たところ

屋敷に入りました。すると

エアラキンネ ネ イエヤイコブンテクパ コロ
earkinne ne i=eyaykopuntekpa kor
本当に その? (私を)喜び ながら

本当に喜ばれました。

ナニ アウシペ ネ ヤ イサム ワ
nani auspe ne ya isam wa
すぐ (私)履物 だ とか 失っ て

すぐに私の履物はなくなり

75 ウセイ アヌパ ヒネ オラ アケマハ ネ ヤツカ
usey anupa hine ora a=kemaha ne yakka
お湯 を置い て こんど (私)の足 で も

足湯を置いて私の足を

13 カムイ kamuy は「神」という意味以外にも「神に匹敵するくらいに立派な」という最上級の尊称としても使われる。カムイ エカシ kamuy ekasi という「神のように立派なおじいさま」という意味になる。

フライェパ ワ アイコレ
 hurayepa wa a=i=kore
 洗っ て (人が私に)くれる

洗ってくれて

オラ ヤイライケアニ
 ora yayrayke=an _hi
 こんど 感謝する(私) こと

私は感謝の言葉を

アイェ ア アイェ ア コロ
 a=ye a a=ye a kor
 (私)何度も言い ながら

何度も言いました。

ネ カムイ トノ サマ ウン
 ne kamuy tonosama un
 その 立派な 殿様 のそば に

その立派な主のところに

80 イトウラ ヒネ パイエアン ア… ルウエ ネ アクス
 i=tura hine paye=an a... ruwe ne akusu
 (私を)連れ て 行く(私) こと だっ たところ

連れられて行ったところ

エアラキンネ ネ カムイ トノ
 earkinne ne kamuy tonosama
 本当に その 立派な 殿様

本当に立派な主

ピリカ カムイ トノ トノ アン ヒネ
 pirka kamuy tonosama an hine
 良い 立派な 和人の 殿様 い て

良い旦那さんがいて

イエヤイコプンテク。
 i=eyaykopuntek.
 (私に)喜ぶ

私が来たことを喜びました。

トノサカン ヒ アイェ オラ
 tonosak=an hi a=ye ora
 得意先がない(私) こと (私)言う こんど

馴染みの取引相手がないことを言うと

85 “ヤイカタ カ オツテナサカン ワ
 “yaykata ka ottenasak=an wa
 自分 も アイヌの取引相手がない(私) して

「私もアイヌの旦那さんの取引相手がいなくて

イコイトウパアン コロ アナン ルウエ ネ ア プ
 ikoytupa=an kor an=an ruwe ne a p
 うらやましく思う(私) ながら いる(私) こと だっ た が

うらやましがっていたのです。

エネ ピリカ オツテナ
 ene pirka ottena
 このように 良い アイヌの旦那さん

このように立派なアイヌの旦那さんが

イコシニ ルウエ アン”
 i=kosini ruwe an”
 (私)の所に来た の のだなあ

私のところに来てくれました」

セコロ ハウエアン コロ イエヤイコプンテク コロ
 sekor hawean kor i=eyaykopuntek kor
 と 言い ながら (私を)喜び ながら

と言って喜びました。

- 90 オロ タ アナン オラ
oro ta an=an ora
そこ に いる(私) こんど
そこにいと
- アエ カ エラミシカリ プ
a=e ka eramiskari p
(私)食べ も したことがない もの
食べたこともないもの
- ウサ アエ ピリカ… シサム アエプ アイコサンケ
usa a=e pirka... sisam aep a=i=kosanke
色々 (私)食べる 良い 和人の 食べ物 (人が私に)出す
いろいろな和人の食べ物を
- オッチケ¹⁴ トウラノ キ ワ
otcike turano ki wa
お膳 と一緒に し て
お膳に乗せて出してくれたので
- オラノ ヤイライケアン
orano yayrayke=an
それから 感謝する(私)
感謝をして
- 95 オンカミアナ アナ コロ イペアン。
onkami=an a an a kor ipe=an.
何度も拝礼する(私) ながら 食事する(私)
何度も拝礼をして食事をしました。
- アク カ エラミシカリ
a=ku ka eramiskari
(私)飲み も したことがない
飲んだこともない
- シサム サケ ネ ヤ アエクレ ワ
sisam sake ne ya a=ekure wa
和人の 酒 で も (私)飲ませ て
和人の酒を飲ませてもらい
- イク ネ ヤ イペ ネ ヤ
iku ne ya ipe ne ya
酒を飲む で も 食事 で も
飲んだり食べたり
- ピリカ アキ コロ レウシアン。
pirka a=ki kor rewsian.
良く (私)し ながら 泊る(私)
楽しく過ごして泊まりました。
- 100 オラ イシムネ ネ ヤッカ ネア カムイ トノ
ora isimne ne yakka nea kamuy tonon
そして 翌日 に も その 立派な 殿様
そして翌日もあの立派な旦那さんは
- ナ ネン ネン キムン オルシペ
na nen nen kimun oruspe
まだ いろ いろ 山の 話
まだいろいろと山での話を
- イコウウエペケンヌ コロ アイエ コロ
i=kouwepekennu kor a=ye kor
(私に)尋ね ながら (私)言い ながら
私に尋ねて来るので話をすると

14 日本語「折敷(おしき)」からの移入語とされる。和人文化では飲食をする際にひとり用の食器類を乗せる台として使用する。アイヌ文化においても、神に供物を捧げる際など敬意を払うべき相手に対して使用する。

- エヤイコブンテク コロ
eyaykopuntek kor
喜び ながら
とても喜んでくれて
- アコイソイタケ ウミ ピリカ コロ
a=koysoitak _humi pirka kor
(私)話をする こと 良い ながら
楽しく話をしました。
- 105 トリ カネ
tori kane
逗留 して
逗留して
- トウツコ カ レレコ カ トリ カネ
tutko ka rerko ka tori kane
2日 も 3日 も 逗留 して
2、3日滞在して
- レウシアン ヒネ アナン アイネ
rewsi=an hine an=an ayne
泊る(私) して いる(私) してから
から
- オラ ホシピアン クナク アイエ アクス
ora hosipi=an kunak a=ye akusu
こんど 帰る(私) と (私)言っ たところ
帰りますと言ったところ
- ネ カムイ トノ
ne kamuy tono
その 立派な 殿様
その屋敷の主は
- 110 イコヤイライケ イ イエ ア イエ ア コロ
i=koyayrayke _hi ye a ye a kor
(私)に感謝する こと 何度も言う ながら
私に感謝の言葉を何度も言いました。
- アコロ ワ サナン ペ アツカリ
a=kor wa san=an pe akkari
(私)持っ て 川を下る(私) もの 以上に
持って来たもの以上に
- ウサ サケ ウサ アエブ
usa sake usa aep
色々な 酒 色々な 食べ物
いろいろな酒や食べ物
- ウサ キンカイ ネ ヤ アイコレ
usa kinkay ne ya a=i=kore
色々な 着替え で も (人が私に)くれる
着物を私にくれて
- アコツ チブ オルン
a=kor_cip or un
(私)の 舟 の所 に
私の舟に
- 115 アシンカロ ウタン ルラパ ワ イコレ ワ
asinkaro utar_ rurapa wa i=kore wa
家来 たち 運ん で (私)にくれ て
家来たちが運んでくれました。
- ヤイライケアン ヒ アイエ ア アイエ ア コロ オラ
yayrayke=an hi a=ye a a=ye a kor ora
感謝をする(私) こと (私)何度も言い ながら こんど
本当に感謝しますと何度も言って

“カンナ スイ ノ
 “kanna suy no
 何度も

「また

イコシネウエ ヤク ピリカ ピリカ”
 i=kosinewe yak pirka pirka”
 (私に)訪ねる と いい いい

私のところに遊びに来てください」

セコロ ネ カムイ トノ ハウエアン ヒ
 sekor ne kamuy tono hawean hi
 と その 旦那さま 言う こと

とその立派な旦那さんが言うので

120 オラ カンナ カンナ スイ サナン クニ
 ora kanna kanna suy san=an kuni
 そして また何度も 来る(私) と

また来ますと

アイエ ア アイエ ア コロ オラ ホシピアン ヒネ
 a=ye a a=ye a kor ora hosipi=an hine
 (私)何度も言い ながら こんど 帰る(私) して

私は何度も言って帰って行きました。

オラノ アコロ ペツ トウラシ
 orano a=kor pet turasi
 それから (私)の 川 をさかのぼって

私の村に続く川をさかのぼって

ラリウアン ヒネ ヘメスアン アイネ… アクス
 rariw=an hine hemesu=an ayne... akusu
 舟をこぐ(私) して 上る(私) うちに したところ

舟をこいで行くと

タネ シンキアン カ キ ラポッケ
 tane sinki=an ka ki rapokke
 もう 疲れる(私) も する その間

もう疲れてしまった頃に

125 ナイ ピリカ ナイ サン コロ アン。
 nay pirka nay san kor an.
 川 きれいな 川 出 て いる

川が、きれいな川が注ぎ込んでいました。

ネ ナイ オプツ ネ ヤツカ
 ne nay oput ne yakka
 その 川 の河口 で も

その川の河口も

ピリカ ナイ オプツ アン ルウエ ネ ヒ クス
 pirka nay oput an ruwe ne hi kusu
 きれいな 川 の河口 ある こと な ので

きれいな川の河口があったので

オロ タ シニアン クナク アラム ヒ クス
 oro ta sini=an kunak a=ramu hi kusu
 そこ で 休む(私) しようと (私)思う ので

そこで休もうと思いました。

アコツ チピ アシリコテ ヒネ
 a=kor_ cipi a=sirkote hine
 (私)の 舟 (私)つない で

私の舟をつないで

130 オラ エイタサ ネ ナイ ル オロ ピリカ ルウエ
 ora eytasa ne nay ru or pirka ruwe
 そして あまり その 川 筋 が きれいなこと

あまりにもその川筋がきれいなことに

- アコヨイセ ヒ クス⁽¹⁵⁾
a=koyoyse hi kusu
(私)心引かれる ので
心引かれたので
- オラ シネ タラ⁽¹⁶⁾ シネ サケ ポン オンタロ⁽¹⁷⁾
ora sine tara sine sake pon ontaro
そして 俵 一 酒 小さい 樽
ひとつの俵、ひとつの酒樽を
- アシ… タブコモモ⁽¹⁸⁾ カネ ヒネ
a=si... tapkomomo kane hine
(私)自分の肩に担ぎ も して
肩に担いで
- オラ ネ ポン ナイ
ora ne pon nay
こんど その 小さい 川
その小さい川
- 135 ナイ ル オロ ピリカ ルウエ アコヨイセ イ クス
nay ru or pirka ruwe a=koyoyse hi kusu
川 筋 の所 美しい こと (私)心引かれる ので
に心引かれたので
- ネ ナイ トウラシ アラパアン ルウエ ネ アクス
ne nay turasi arpa=an ruwe ne akusu
その 川 を遡って 行く(私) こと だっ たところ
さかのぼって行きました。すると
- ルイ ノ アラパアン ルウエ ネ アクス
ruy no arpa=an ruwe ne akusu
ずっと 行く(私) こと だっ たところ
だいぶ行ったところで
- フシコノ ニ トウイパ オカ アン ヒ アナクネ
huskono ni tuypa oka an hi anakne
とても古い 木 を切る 跡 ある ことは
昔に木を切った跡があるのは
- ネイ タ カ… イネ ヘンパク パ カ オカ⁽¹⁹⁾ タ
ney ta ka... ine henpak pa ka oka ta
いつ か 何年 も の後 に
何年も前に
- 140 アイヌ アプカシ アイヌ オカ ア… アン ワクス
aynu apkas aynu oka a... an wakusu
人 歩く 人 い た いる ので
人間が来たので
- ニ トウイパ オカ アン ルウエ ネ ヤ…
ni tuypa oka an ruwe ne ya...
木 を切る 跡 ある の だ か
木を切った跡がある
- ネ クニ アラム コロ
ne kuni a=ramu kor
だ と (私)思い ながら
のだろうかと思いました。

15 物語中で人がどこか特定の場所へ心引かれて行ってみたくなるというときは、何かの神に導かれて行動していることがある。

16 日本語「俵」からの移入語。

17 日本語「大樽」からの移入語とされる。

18 タブカコモモ tapkakomomo 「～を肩に担ぐ」[田]。肩から前後に垂らして荷をかつぐことを言う。

19 文脈からするとここはオカ oka 「(時間的な)の後」ではなくエトケ etok 「(時間的な)の前」と言おうとしたのではないか。

オラ ナニ ナニ
ora nani nani
そして すぐ すぐ

そしてすぐに

ナイトウラシアン ルウエ ネ アクス
nayturasi=an ruwe ne akusu
川をさかのぼる(私) こと だっ たところ

川をさかのぼって行ったところ

145 ポン… ネ ナイ オツ タ
pon... ne nay or_ ta
小さい その 川 の所 に

その川に

ポン アイヌ ルウエヘ アン。
pon aynu ruwehe an.
小さい 人 の足跡 ある

子供の足跡がありました。

アオヤモクテ ソンノ アイヌ オカ ヤクン
a=oyamokte sonno aynu oka yakun
(私)不思議に思う 本当に 人 暮らす ならば

私は不思議に思って、本当に人が暮らしている

オカ ルウエ ネ アン ヒ アエラム…
oka ruwe ne an hi a=eramu…
暮らす 跡 に なる こと (私)思う

その跡なのだろうと思いました。

オラ チェツポコイキ オカ アン ポン…ポイ ソン
ora ceppokoyki oka an pon... pon_ son
そして 魚をとる 跡 ある 小さい 小さい 子

魚をとっている小さい子の

150 ルウエヘ アン ヒ… ルウエ ネ ヤ
ruwehe an hi... ruwe ne ya
の足跡 ある こと の なの か

跡があるのかと

アオヤモクテ コロ
a=oyamokte kor
(私)不思議に思い ながら

不思議に思いつつ

ナニ ナニ ナイ トウラシ アラパアン ヒ
nani nani nay turasi arpa=an hi
すぐさま 川 を遡って 行く(私) こと

すぐに川をさかのぼって行きました。

オラ オヤクオヤク タ チェプ コイキ …
ora oyak'oyak ta cep koyki …
こんど あちこち に 魚 をとる

ところどころに

ポン チェプ コイキ オカ アン ヒ
pon cep koyki oka an hi
小さい 魚 をとる 跡 ある こと

小さい魚をとった跡があり

155 オラ ナイトウラシアン イネ
ora nayturasi=an _hine
こんど 川をさかのぼる(私) して

進んで行って

シエトクン インカラン ルウエ ネ アクス
sietok un inkar=an ruwe ne akusu
自分の前方 を 見る(私) こと だっ たところ

前方を見たところ

- エホラク チセ チセ ヘ
ehorak cise cise he
傾く 家 家 なのか
傾いた家、家なのか
- ヘマンタ エホラク チセ アン シリ
hemanta ehorak cise an siri
なんとまあ 傾く 家 ある 様子
傾いた家がある様子が
- シエトクン アヌカラ ヒケ
sietok un a=nukar hike
自分の前方 に (私)見る が
行く手に見ました。
- 160 オラ ネ ポン チセ ソイ タ
ora ne pon cise soy ta
こんど その 小さい 家 の外 に
そしてその小さい家の外に
- マツカチ ヘ ヘカチ ヘ ネ ヤ
matkaci he hekaci he ne ya
女の子 か 男の子 か で も
女の子か男の子かも
- アエランペウテク ノ アン
a=erampewtek no an
(私)わからない で いる
わからない子
- オトピ タンネ オトピ コロ カネ ネ… アン シリ
otopi tanne otopi kor kane ne... an siri
髪 長い 髪 を持って その いる 様子
長い髪をしている様子が
- シエトク ウン アヌカラ。
sietok un a=nukar.
自分の前方 に (私)見る
前方に見えました。
- 165 アラパアン シリ… アン… ヒ クス
arpa=an siri... an... hi kusu
行く(私) 様子 ある ので
私が行こうとすると
- ナニ ネア エホラク チセ オルン アフン シリ
nani nea ehorak cise or un ahun siri
すぐ あの 傾いた 家 の中 に 入る 様子
すぐにあの傾いた家の中に入るのを
- シエトクン アヌカラ コロ アラパアン ヒネ
sietok un a=nukar kor arpa=an hine
自分の前方 に (私)見 ながら 行く(私) して
見つつ進んで行きました。
- オラ ネ チセ ソイ タ
ora ne cise soy ta
こんど その 家 の外 に
そしてその家の外へ行き
- チセヘ エホラク チセ ネ プ ネ クス
cisehe ehorak cise ne p ne kusu
その家 傾いた 家 なの だ から
崩れかかった家に
- 170 エウン アフナン ヒネ インカラン。
eun ahun=an hine inkar=an.
そこに 入る(私) して みる(私)
入ってみました。

ネプ カ イサム。
nep ka isam.
何 も ない

何もありません。

ソレクス²⁰ ネ イエトケ アン ワ アフン ア
sorekusu ne i=etok an wa ahun a
それこそ その(私の)前方に い て 入っ た

それこそ、あの私の前に入って行った

マツカチ ヘカチ ヘ カ オアリサム。
matkaci hekaci he ka oar isam.
女の子 男の子 か も 全く いない

子供の姿もありませんでした。

オラ ピリカノ インカラン ルウエ ネ アクス
ora pirkano inkar=an ruwe ne akusu
こんど よく 見る(私) こと だっ たところ

そしてよく見ると

175 ネプ カ ホツケ ヘネ キ ワ アン ルウエ ネ ノイネ
nep ka hotke hene ki wa an ruwe ne noyne
何 か 寝 ても し て いる の だ ろうか

何かが寝てでもいるようです。

ソウスツ ヘ
sowsut he
(家)の隅 か

家の隅にか

エホラク チセ ソウスツ タ
ehorak cise sowsut ta
傾いた 家 の隅 に

傾いた家の隅に

ネン カ ホツケ ワ アン ルウエ ネ ノイネ
nen ka hotke wa an ruwe ne noyne
誰か 寝 て いる こと だ ような

誰かが寝ているような

アン シリ イキ ヒ クス… コロカ
an siri iki hi kusu... korka
いる 様子 する ので けれど

様子ですが

180 オラ ネプ カ ソモ アイエ ノ オラ
ora nep ka somo a=ye no ora
そして 何 も (私)言わず に こんど

何も言わずにいました。そして

“ヤヤプカシテ アイヌ アネ ヒネ
“yayapkaste aynu a=ne hine
自分を歩かせる 人 (私)であって

「私が自分から進んで

アプカサン ルウエ ネ ワ
apkas=an ruwe ne wa
歩く(私) こと であって

やって来たのは

ネプ カ ウエン コロ オラ…
nep ka wen kor ora…
何も 悪いを持つ そして

20 日本語「それこそ」からの移入語とされる。後に来ることがらを強調したいとき、また「さて」のように話が変わるときなどの語としても使われる。この語を多用する話者もいる。

- ネプ カ ウェン プリ アコロワ
nep ka wen puri a=kor wa
何 か 悪い ふるまい (私)持っ て
- 何か悪いことをしに
- 185 アプカサン シリ カ ソモ ネ…²¹ ネ ア プ
apkas=an siri ka somo ne... ne a p
歩く(私) 様子 も しない だっ た が
- 来たのではありません。
- エネ マッカチ ヘカチ ヘ アン ルウエ
ene matkaci hekaci he an ruwe
このように 女の子 男の子 か ある こと
- このように子供がいるのを
- シエトクン アヌカラ ア プ
sietok un a=nukar a p
自分の前方 に (私)見 た が
- 見たのですが
- ヒナクン オシマ ルウエ ネ ヤ
hinak un osma ruwe ne ya
どこ に に入る こと だ か
- どこに行ってしまったのか
- アエラミシカリ コロカ
a=eramiskari korka
(私)わからない けれど
- わからなかったのです。
- 190 ネプ カ ウエイ サンペ ウェン ケウトウム アコロワ
nep ka wen sampe wen kewtum a=kor wa
何 か 悪い 心 悪い 気持ち (私)持っ て
- 何か悪い心を持って
- エカン シリ カ ソモ ネ ナ”
ek=an siri ka somo ne na”
来る(私) 様子 も しない です よ
- 来たのではないのですよ」
- セコロ ヤイコイタクアン コロ
sekor yaykoitak=an kor
と ひとりごとを言う(私) ながら
- とひとり言を言いました。
- オラ ネ アエ クニ プ カ
ora ne a=e kuni p ka
こんど その (私)食べる べき もの も
- 食べるものも
- アエランペウテク ノ オカ ルウエ ネ イ クス
a=erampewtek no oka ruwe ne _hi kusu
(人)わからない で 暮らす こと な ので
- なく暮らしているらしく
- 195 オラ インカラン ス アナクネ アニ クス
ora inkar=an su anakne an _hi kusu
そして 見る(私) 鍋 は ある ので
- 見ると鍋があったので
- ネ ス アコロワ ソイエネ イネ
ne su a=kor wa soyene _hine
その 鍋 (私)持っ て 外に出 て
- その鍋を持って外に出て

21 相手が神であれ人であれ、様子がわからないときはこちらに敵意がないことをまず知らせるのは大事なことである。このフレーズは祈り言葉の冒頭にもよく使われる。

アフライェ カ キ ヒネ
a=huraye ka ki hine
(私)洗い も し て

洗いました。

オラ アマム アセ²² ワ アナン ペ ネ クス
ora amam a=se wa an=an pe ne kusu
そして 穀物 (私)持っ て いる(私) ものだ から

穀物を背負って来ているので

ネ アマム アスパ ヒネ オラ
ne amam a=supa hine ora
その 穀物 (私)煮 て こんど

その穀物を料理しました。

200 アスパ オカ アニ クス オラ スイ
a=supa oka an_hi kusu ora suy
(私)煮る が終わる ので こんど また

料理ができたので、また

“ネプ カ ウエン プリ アコロ ワ
“nep ka wen puri a=kor wa
何 も 悪い ふるまい (私)持っ て

「何も悪いことをしに

アプカサン ヒ カ ソモ ネ クス
apkas=an hi ka somo ne kusu
歩く(私) こと も ない ので

来たのではないので

ネン カ アイヌ アン ヒ ネ ヤクン
nen ka aynu an hi ne yakun
誰 か 人 いる の だっ たら

誰か人間がいるのなら

ホプニ ワ イヌカレ。
hopuni wa i=nukare.
起き て (私)に 見せる

起きて姿を見せてください。

205 スケアン²³ カ キ イ クス
suke=an ka ki_hi kusu
料理する(私) も する ので

料理もしたので

ヘカチ ヘ マツカチ ヘ アン
hekaci he matkaci he an
男の子 か 女の子 か いる

子供の

シリキ ヒ カ アヌカラ ア プ
sirki hi ka a=nukar a p
姿がある こと も (私)見 た が

姿も見たので

ネ ヘカチ ヘネ マツカチ ヘネ ネ ヤッカ
ne hekaci hene matkaci hene ne yakka
その 男の子 だか 女の子 だか で も

その子も

ホプニ ワ イペ ヤク ピリカ。
hopuni wa ipe yak pirka.
起き て 食事する と いい

起きて食事したらいいですよ。

22 seは「～を背負う」という以外に普通に「～を持つ」という意味でも使われる。この場合は「～を肩に担ぐ」と前のくんだり
で表現されていたので、その動作もseに含まれるということになる。

23 「煮炊きをする」から発展して「食事の準備をする」という意味になる。

- 210 スケアン カ アキ… クス ネ ナ。
 suke=an ka a=ki... kusu ne na.
 料理する(私) も (私)し ます よ
 そのつもりで料理をしたのですよ。
- スケアン カ アエプ アナクネ アコロ ペ ネ ナ"
 suke=an ka aep anakne a=kor pe ne na"
 料理する(私) も 食べ物 は (私)持つ もの だ よ
 食べ物も持って来たのですよ
- セコロ イタカン ルウェ ネ アクス
 sekor itak=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ
 と言ったところ
- ネア ホツケ アイヌ ヘ ネプ ネ ヤ
 nea hotke aynu he nep ne ya
 その 寝ている 人 か 何 か も
 その寝ていた人間なのか何かのか
- アエランペウテク ノ ホツケ ワ アン ルウェ
 a=erampewtek no hotke wa an ruwe
 (私)わからない で 寝 て いる こと
 わからない、寝ていたものが
- 215 イキア プ ヘタンプタンブ ヒネ
 ikia p hetamputampu hine
 その 者 頭を上げ上げし て
 頭を上げて
- レイエレイエ ヒネ サン… ホプニ ワ
 reyereye hine san... hopuni wa
 這っ て 出る 起き て
 這って来て…起きて
- アペヘコテ シツテムライパ コロ サン シリ アヌカラ
 apehekote sittemraypa kor san siri a=nukar
 火の方へ 手さぐり ながら出る 様子 (私)見る
 いろいろの前に這って出て来た様子を見ると
- ソンノ アイヌ ヘ… アイヌ セコロ アイエ ヤッカ
 sonno aynu he... aynu sekor a=ye yakka
 本当に 人 か 人 と (私)言っ ても
 本当に人間なのか
- マク アイエ ヤク ピリカ ヤ カ アランペウテク ノ
 mak a=ye yak pirka ya ka a=rampewtek no
 どう (私)言っ と いい か も (私)わからない で
 何と言っていいかわからない
- 220 オトピヒ リ ワ
 otopihi ri wa
 その髪 伸び て
 髪が伸びて
- ナヌフ アナク… ネ ヤッカ レキヒ リヤリヤ
 nanuhu anak... ne yakka rekihi riyariya
 その顔 は で も そのひげ 何年もたつ
 顔でも、ひげも髪も何年も伸び放題
- オトピ ネ ヤッカ リヤリヤ オラ シクセイ²⁴ カ サク。
 otopi ne yakka riyariya ora siksey ka sak.
 その髪 で も 何年もたつ こんど 目の玉 も ない
 さらには目の玉がありませんでした。

24 上田トシ氏はここではシクセイ siksey で「目の玉」の意味だとしているが、C230UT_35299A の類話ではシクヌム カ サク ヘル シクセイ タクプ ネ siknum ka sak heru siksey takup ne 「目の玉がない、ただ目の穴だけがある」と言っているので、本来は「目の穴」という意味であったかも知れない。この話では以後シクヌミ siknumi とシクセイ siksey が同じ意味のように語られている。ちなみにに静内地方の話者は「ユカラ yukar の中に出て来るシクセイ siksey は目の穴のことだろう」と語っている。

アイヌ ヘ ウエンカムイ ヘ ネ ヤ
aynu he wenkamuy he ne ya
人間 か 悪神 か だ か

人間なのか魔物なのか

アエランペウテク ノ アン ペ
a=erampewtek no an pe
(私)わからない で いる もの

わからないものが

225 レイエレイエ ヒネ シツテムライパ コロ
reyereye hine sitemraypa kor
這いずつ て 手でさぐり ながら

這って手さぐりで

アペサム タ サン ルウエ ネ ヒネ
apesam ta san ruwe ne hine
火のそば に 出る こと であつて

いろりのそばに出て来ました。

エアラキンネ アケムヌ ネ ヤ キ アクス
earkinne a=kemnu ne ya ki akusu
本当に (私)哀れむ で も し たところ

本当に気の毒に思っていると

オシ ネ… シエトクン アヌカラ
os ne... sietok un a=nukar
その後 その 自分の前方 に (私)見た

後ろからあの前方に見た

マツカチ ネ ヤクン マツカチ ネ ノイネ アン ペ
matkaci ne yakun matkaci ne noyne an pe
女の子 だつたら 女の子 の ように いる もの

女の子らしい子供が

230 ネ レイエレイエ コロ サン クル オシ
ne reyerere kor san kur os
その 這いずる ながら 出る 人 の後

這って出て来た人の後から

ウトウラ ヒネ アペサム タ サツパ ルウエ
utura hine apesam ta sappa ruwe
連れだつ て 火のそば に 出る こと

一緒に火のそばに来たので

エアラキンネ アケムヌ ア アケムヌ ア
earkinne a=kemnu a a=kemnu a
本当に (私)かわいそう で (私)かわいそう で

本当に気の毒でならず

オラ アコウウエペケンヌ。
ora a=kouwepekennu.
こんど (私)尋ねた

私は尋ねました。

“オリパカン コロ ネ コロカ
“ oripak=an kor ne korka
遠慮をする(私) ながら だ けれど

「失礼ですが

235 マク ネ ワ エネ キム タ オカ ルウエ ネ ヤ。
mak ne wa ene kim ta oka ruwe ne ya.
どうしてこう山で暮らすのですか

どうしてこのような山の中にいるのですか。

ネプ カ ウエイ サンペ アコロ ワ
nep ka wen_ sampe a=kor wa
何 も 悪い 心 (私)持つ て

私は何か悪い心を持って

エカン ルウエ カ ソモ ネ。
ek=an ruwe ka somo ne.
来る(私) こと も ない

来たのではありません。

タップ ネ カネ オキムネ… ウイマムエサンアン ヒネ
tap ne kane okimne... uymam'esan=an hine
このように 山に 交易に行く(私) して

このようなわけで交易に川を下って来て

オラ ペツ トウラシ ラリウア ヒネ エカン ア プ
ora pet turasi rariw=an hine ek=an a p
そして 川 をさかのぼる 舟をこぐ(私) して 来た(私) したが

川をさかのぼって舟を漕いで来たのですが

240 エイタサ ナイ ピリカ ナイ ル オロ ピリカ ルウエ
eytasa nay pirka nay ru or pirka ruwe
あまりにも 川 美しい 川 筋 の所 美しい こと

あまりにも川筋がきれいであることに

アオクンヌレ ヒ クス
a=okunnure hi kusu
(私)感心する ので

感心したので

ナイ トウラシ エカン ア プ
nay turasi ek=an a p
川 を遡って 来る(私) したが

川をさかのぼって来たのです。

エネ フシコノ ニ トウイパ ルウエヘ アン ヒ クス
ene huskononi tuypa ruwehe an hi kusu
こう とても古い 木 を切る の跡 ある ので

このように昔木を切った跡があったので

アイヌ アン ヤクン
aynu an yakun
人 いる ならば

人が

245 アイヌ アン クニ アラム ノ
aynu an kuni a=ramu no
人 いる と (私)思っ て

いるように思い

ニ トウイパ ルウエ カ アン。
ni tuypa ruwe ka an.
木 を切る 跡 も ある

木を伐った跡もありました。

オラ ナニ ナニ ナイトウラシアン ルウエ ネ アクス
ora nani nani nayturasi=an ruwe ne akusu
そして すぐ すぐ 川をさかのぼる(私) こと だったところ

そしてすぐに川をさかのぼって来たところ

ポイ ソン ルウエヘ アン イネ
pon_ son ruwehe an _hine
小さい 子 の足跡 あっ て

小さい子の足跡があって

オラ チェツポコイキ オカ カ アン ヒ クス
ora ceppokoyki oka ka an hi kusu
こんど 魚をとる 跡 も ある ので

魚を捕った跡もあったので

250 イオヤモクテアン クス エカン ルウエ ネ ア プ
ioyamokte=an kusu ek=an ruwe ne a p
不思議に思う(私) ので 来た(私) こと だった が

不思議に思って来たのでした。

ナイトウラシアン ア プ
 nayturasi=an a p
 川をさかのぼる(私) したが

川をさかのぼって来たら

イエトク タ アン シリ イキ… イヌカラ アクス
 i=etok ta an siri iki... i=nukar akusu
 (私の)の前方 に ある 様子 する (私を)見 たところ

私の前に姿が見え

ナニ キラ ワ アフン ア コロカ
 nani kira wa ahun a korka
 すぐ 逃げ て 入っ た けれど

すぐ逃げて家に入ってしまったので

ナニ エカン ルウエ ネ。
 nani ek=an ruwe ne.
 すぐ 来る(私) の です。

私がやって来たのです。

255 ネプ カ ウエイ サンペ アコン ルウエ カ
 nep ka wen_ sampe a=kor_ ruwe ka
 何 も 悪い 心 (私)持つ こと も

私は何か悪い考えを持っている

ソモ ネ クス… ルウエ ネ "
 somo ne kusu... ruwe ne"
 しない ので こと である

のではないのですよ」

セコロ ハウエアナン コロ オツ タ
 sekor hawean=an kor or_ ta
 と 言う(私) ながら そこ で

と言ったところで

“アスパ プ エ ワ イコレ”
 “a=supa p e wa i=kore”
 (私)煮炊きした もの を食べ て (私)にください

「私が料理したものを食べてください」

セコロ ハウエアナン コロ アコイプニ アクス
 sekor hawean=an kor a=koypuni akusu
 と 言う(私) ながら (私)差し出し たところ

と言って差し出すと

260 オラ イペ カ キ。
 ora ipe ka ki.
 こんど 食事 も する

食べました。

ネ オンネクル ヘ アイヌ ヘ
 ne onnekur he aynu he
 その 老人 か 人 か

その老人か人間なのか

ネプ ネ ヤ アエランペウテク ノイネ アン
 nep ne ya a=erampewtek noyne an
 何 だ か (私)わからない よう な

何なのかわからないような

カトウフ アン ペ オラ イペ カ キ。
 katuhu an pe ora ipe ka ki.
 おかしな姿の もの こんど 食事 も する

おかしい姿のものが食事をしました。

アイヌ アナクネ… アイヌ ネ ルウエ アナク
 aynu anakne... aynu ne ruwe an _yak
 人 は 人 である こと ある すれば

人間であることは

- 265 アエラムアン コロカ
a=eramuan korka
(私)理解する けれど
わかりましたが
- ソンノ アシトマ ノ カネ
sonno a=sitoma no kane
本当に (私)恐ろしく て するほど
本当に恐ろしい
- カトウフ アン ヒネ ネ…
katuhu an hine ne…
おかしな姿 ある して その
変わった姿をしていて
- アイペレ… テケヘ… イタンキ カ アニ クス
a=ipere... tekehe... itanki ka an _hi kusu
(私)食べさせる の手 お椀 も ある ので
お椀があるので
- ネ イタンキ オロ アスパ アエプ
ne itanki or a=supa aep
その お椀 に (私)煮炊きした 食べ物
そのお椀に料理したものを
- 270 アコロ イネ テケヘ アコトウッカ アクス
a=kor _hine tekehe a=kotukka akusu
(私)持つ て の手 (私)伸ばし たところ
よそって差し出すと
- イペ カ キ オラ
ipe ka ki ora
食事 も する そして
その人は食べました。
- サケ カ アコロ ペ ネ クス
sake ka a=kor pe ne kusu
酒 も (私)持つ もの だ から
酒も持っていたので
- ネ サケ カ アクレ。
ne sake ka a=kure.
その 酒 も (私)飲ませる
その酒も飲ませました。
- エアラキンネ エヤイコブンテク コロ
earkinne eyaykopuntek kor
本当に 喜び ながら
本当に喜んで
- 275 “シクヌアン ヘ キ ヒネ エネ アン ピリカ アエプ
“siknu=an he ki hine ene an pirka aep
生きる(私) か し て こう いう おいしい 食べ物
「生きているので、このような美味しい食べ物を
- アエ ルウエ アン イク²⁵ ルウエ アン”
a=e ruwe an iku ruwe an”
(私)食べる こと ある 酒を飲む こと ある
食べたり飲めたりするのだ」
- セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言う ながら
と言って

25 ク ku は 2 項動詞で「～を飲む」。飲むものは水でもジュースでも何でもい。イク iku は 1 項動詞で「酒を飲む」。飲むものは酒に限定される。

チシ コロ チシ エエオヤオヤク コロ
 cis kor cis eeoyaoyak²⁶ kor
 泣き ながら 泣く いろいろ ながら

泣きながらいろいろと

イペ ネ ヤ イク ネ ヤ キ イ クス
 ipe ne ya iku ne ya ki _hi kusu
 食事 で も 飲酒 で も する の だから

食べたり飲んだりしていたので

280 オラ マク ネ ワ エネ オカ ルウエ ネ ヤ
 ora mak ne wa ene oka ruwe ne ya
 こんど どう し て こう 暮らす こと ですか

どうしてこのように暮らしているのか

カンナ ルイノ アコウエペケンヌ ワ
 kanna ruyno a=kouwepekennu wa
 何度も (私)尋ね て

何度も尋ねました。

オリパカン コロカ セコロ ハウエアナン コロ
 oripak=an korka sekor hawean=an kor
 遠慮する(私) けれど と 言う(私) ながら

失礼ですが、と言いつつ

アコウエペケンヌ ルウエ ネ アクス
 a=kouwepekennu ruwe ne akusu
 (私)尋ねる こと だっ たところ

尋ねたところ

エネ ハウエアニ。
 ene hawean _hi.
 このように 言った

このように言いました。

285 “タン アコロ イシカラ エトコ タ
 “tan a=kor iskar etoko ta
 この (私)の 石狩 川の上流 に

「この石狩川の上流に

アユピヒ カ トウラ…カ アン ヒネ
 a=yupihi ka tura... ka an hine
 (私の)兄 も 一緒に も い て

兄と一緒に

ウソイタ オカアン ペ ネ ア プ
 usoyta oka=an pe ne a p
 隣同士で 暮らす(私) もの だっ た が

隣同士で暮らしていました。

エアラキンネ アユピヒ ウエイ サンペ コロ ペ ネ ワ
 earkinne a=yupihi wen_ sampe kor pe ne wa
 本当に (私の)兄 悪い 心 を持つ もの であって

本当に兄は悪い心の持ち主で

オラノ マク ネ ワ ネ ヤ マツコロ エウエン ワ
 orano mak ne wa ne ya matkor ewen wa
 それから どう し て だ か 妻をもらう で悪くなる して

どういうわけか結婚運がなく

290 マチヒ ネ ヤ コレウエン
 macihi ne ya korewen
 妻 で も 粗末にする

妻も悪く

26 オヤクヤク oyakoyak 「あちこち、いろいろ違った所」 [田] と言おうとしたと思うが、音の通りに表記した。

コイペウナラ ワ… コロ アン。
 koipewnara wa... kor an.
 物惜しみし て ながら いる

物惜しみをするのでした。

シネ ポ コロ ペ ネ ア プ
 sine po kor pe ne a p
 ひとり 子供 を持つ もの だった が

子供がひとりいたけれど

ネ ポホ ネ ヤツカ コレウエン ネ ヤ キ。
 ne poho ne yakka korewen ne ya ki.
 その 子供 で も 粗末にする で も する

その子も粗末にして

マツ カネ コロ オラ マチヒ
 mat kane kor ora macihi
 妻 でも 持つと こんど 妻

妻をもらっても

295 キカ キカ アイネ
 kik a kik a ayne
 何度も殴つ た あげく

殴って殴って

オラ ネア マチヒ カ ヤイケシテ ワ ネ ヤ
 ora nea macihi ka yaykeste wa ne ya
 そして その 妻 も 逃げ出し て だ とか

その妻も逃げたり

ヤイライケ ワ イサム ルウエ ネ。
 yayrayke wa isam ruwe ne.
 自殺し て しまう の です

自殺してしまったりしたのです。

オラ シネ ポ アナク
 ora sine po anak
 そして ひとり 子 は

ひとりっ子は

ネア ポホ ネ ヤツカ コレウエン アイネ オラ
 nea poho ne yakka korewen ayne ora
 その の子供 で も 粗末にする あげく そして

その子も運がなくて

300 ネ ポホ カ ライ ワ イサマン ヒ
 ne poho ka ray wa isam=an hi
 その の子供 も 死ん で しまう(人) こと

死んでしまいました。

オラ オカアニ カ イシトマアン イ クス
 ora oka=an _hi ka isitoma=an _hi kusu
 そして 暮らす(私) こと も 恐ろしい(私) ので

私たちは暮らしていても恐ろしいので

オラ テ タ ネ ヒ ヤイケシテアン ヒネ
 ora te ta ne hi yaykeste=an hine
 こんど ここ に である ところ 逃げる(私) して

ここへ逃げて来て

オカアン ルウエ ネ ア プ
 oka=an ruwe ne a p
 暮らす(私) こと だった が

暮らしていたのです。

オラ… コロカ ソモ カ²⁷ イオシ サン ペ ネ クナク
 ora... korka somoka i=os san pe ne kunak けれどまさか私の後から来るとは
 そして けれど まさか (私の)後 来る もの だ と

305 アラム ア プ
 a=ramu a p 思わなかったのですが
 (私)思っ た が

イオシ サン ヒネ
 i=os san hine (兄が) 私を追いかけて来て
 (私の)後 川を下っ て

オラノ アマチヒ コラムコロ²⁸
 orano a=macihi koramkor 私の妻を誘惑したのです。
 それから (私の)妻 を誘惑する

オラ アマチヒ コパン コロ
 ora a=macihi kopan kor 妻が拒んだら
 そして (私の)妻 を拒む と

オラノ キカ キカ アイネ
 orano kik a kik a ayne さんざん殴ったあげくに
 それから 何度も殴っ た あげく

310 オラ トウラ ワ アラパ ワ オラ
 ora tura wa arpa wa ora 連れて行ってしまいました。
 そして 連れる して 行く して こんど

タン アン マツカチ オツカイポ
 tan an matkaci okkaypo この女の子と男の子
 この いる 女の子 男の子

トゥ ポ アコロ カネ ヒネ
 tu po a=kor kane hine ふたりの子を私は持っている
 2 児 (私)持ち も して

テ タ オカアン ルウエ ネ ア プ
 te ta oka=an ruwe ne a p ここで暮らしていたのですが
 ここ に 暮らす(私) こと だった が

オラ アマチヒ キカ キカ アイネ
 ora a=macihi kik a kik a ayne 妻を殴って
 そして (私の)妻 何度も殴っ た あげく

315 オラ ニンパ ニンパ エホロカ ニンパ コロ
 ora ninpa ninpa ehorka ninpa kor 引きずって
 そして 引きずり 引きずり 逆さに 引きずっ て

オラ ネ オツカヨ ポ… アコロ ポイ ソン カ
 ora ne okkayo po... a=kor pon_ son ka 男の子、私の息子も
 そして その 男の子 子 (私の) 小さい 息子 も

27 ソモ カ somo ka 「まさか～するとは思わなかったが」。

28 コラムコロ koramkor 「に相談する」。「頼む」のようなニュアンスでも使う [田]。これ以外にも「ちょっかいをかける」「女を口説く」「女を誘ってみる」[萱] という意味がある。

トゥラ ヒネ アマチヒ トウラ ワ
tura hine a=macihi tura wa
連れ て (私の)妻 を連れ て

連れて、妻も連れて行って

アラパ ワ イサム ワ
arpa wa isam wa
行っ て しまっ て

しまったのです。

オカケ タ オカアン ルウエ ネ ア コロカ
okake ta oka=an ruwe ne a korka
その後 で 暮らす(私) の だっ た けれど

その後暮らしていたのですが

320 アツパケタ アナクネ アマチ イサム コロカ
atpaketa anakne a=maci isam korka
最初 は (私の)妻 いない けれど

初めは妻がいないけれど

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
nep ka a=esirkirap ka somo ki no
何 も (私)苦勞し も しない で

何を苦勞することもありませんでした。

イペ アナクネ ユプテクアンペ ネ クス
ipe anakne yuptek=an pe ne kusu
食事 は 働き者である(私) もの だ から

食事は私が働き者なので

ウサ ユク ネ ヤ カムイ ネ ヤ
usa yuk ne ya kamuy ne ya
色々 シカ で も クマ で も

シカやクマを

アライケ プ ネ クス
a=rayke p ne kusu
(私)とる もの だ から

とって来たので

325 ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
nep ka a=esirkirap ka somo ki no
何 も (私)苦勞し も しない で

何を苦勞することもなく

アコロ ペツ トウラノ オカアン ペ ネ ア プ
a=kor pet turano oka=an pe ne a p
(私の)の 川 と共に 暮らす(私) もの だっ た が

私の川で暮らしていたのでした。

マク ネ ワ ネ ヤ
mak ne wa ne ya
どう し て だ か

どうしたことか

オラノ ネプ カ ウエンカムイ
orano nep ka wenkamuy
こんど 何 か 悪神

兄があれから何か悪神に

イコノンノイタク ワ ネ クニ アラム。
i=kononnoitak wa ne kuni a=ramu.
(私に)祈っ て だ と (私)思う

祈ったのだらうと思います。

330 エクシコンナ シクナカン ワ
ekuskonna siknak=an wa
突然 失明する(私) して

突然目が見えなくなって

オラノ アシクヌミヒ アラカ ネ ヒ²⁹
 orano a=siknumihi arka ne hi
 それから (私の)目の玉 痛む

それから目が痛んで

アシクヌミ ペネ ワ
 a=siknumi pene wa
 (私の)目の玉 腐っ て

目の玉が腐って

オラノ イェ チカ チカ アイネ
 orano ye cika cik a ayne
 それから うみ 何度もした たった あげく

膿がポタポタたれて

オラ アシクヌミ オピッタ ペネ ワ イサン マ
 ora a=siknumi opitta pene wa isam _wa
 そして (私の)目の玉 全部 腐っ てしまっ て

目の玉がみんな腐ってしまいました。

335 オラ オカケ タ エネ ヘル シクセイ タクブ
 ora okake ta ene heru siksey takup
 そして その後 で こうしてただ 目の穴 だけ

その後はただ目の穴だけを

アコロ ワ アナン ルウエ ネ イケ カ
 a=kor wa an=an ruwe ne _hike ka
 (私)持っ て いる(私) の であっ ても

持っ ても

オラ エネ ネ ヒ カ イサム ワ
 ora ene ne hi ka isam wa
 こんど どう する ことも なく て

どうしようもなく

オラノ シツテムライパアン コロ アナン。
 orano sittemraypa=an kor an=an.
 それから 手探りをする(私) ながら 暮らす(私)

手探りで暮らしました。

アエプ アナクネ アツパケ タ アコロ ペ ネ クス
 aep anakne atpake ta a=kor pe ne kusu
 食べ物 も 最初 に (私)持っ 物な ので

食べ物は、初めは持っていたので

340 アコロ オペレ スパ ワ アエ。
 a=kor oper supa wa a=e.
 (私)の 娘 煮炊きして (私)食べる

娘が料理をして食べていました。

イパロイキ コロ オカアン ペ ネ ア プ
 i=paroyki kor oka=an pe ne a p
 (私)に養っ て 暮らす(私) もの だっ た が

娘が私を養っていたのですが

タネ アコロ アエプ カ イサミ
 tane a=kor aep ka isam _hi
 もう (私)の 食べ物 も ない こと

もう蓄えていた食糧もなくなったので

オロワノ チェツポコイキ ワ ネ ポン チェツポ
 orowano ceppokoyki wa ne pon ceppo
 それから 魚をとっ て その 小さい 小魚

魚をとって、その小さい魚を

29 アラカ ネヒのような音に聞こえる。アラカ イネ arka _hine かアラカ アイネだろうか。不明。

スパ ワ イエレ ネ ヤ キ コロカ
 supa wa i=ere ne ya ki korka
 煮炊きして (私に)食べさせ で も する けれど

料理して私に食べさせたりしていました。

345 シクナカン ペ ネ クス
 siknak=an pe ne kusu
 失明する(私) もの だ から

目が見えないので

イパロ… ワ イエレ
 i=paro... wa i=ere
 (私の)口 して (私に)食べさせる

私に食べさせていました。

オラ アウニヒ カ エネ イコホラク³⁰ ワ
 ora a=unihi ka ene ikohorak wa
 こんど (私の)家 も このように 崩れ落ち て

私の家もこのように崩れ落ちてしまい

エネ アン チセ ヘ
 ene an cise he
 こん な 家 か

このように家だか

ヘマンタ オツ タ オカアン イケ カ
 hemanta or_ ta oka=an _hike ka
 何 の所 に 暮らす(私) しても

何だかわからないところで暮らしながら

350 オラ ヤイヌアン ウミ エネ アニ。
 ora yaynu=an _humi ene an _hi.
 こんど 思う(私) 感じ このようだった

このように考えたのです。

タネ ヤイカタ アナクネ オンネアン ペ ネ クス
 'tane yaykata anakne onne=an pe ne kusu
 もう 自分 は 年を取る(私) もの だ から

『もう自分は年を取ったので

ライアン ヤクン ライアン ヤッカ ピリカ コロカ
 ray=an yakun ray=an yakka pirka korka
 死ぬ(私) ならば 死ぬ(私) しても いい けれど

死んでしまってもいいけれど

オラ ライアン オカ タ
 ora ray=an oka ta
 こんど 死ぬ(私) の後 で

私が死んだ後

マカナク アコロ オペレ イキ プ アン
 makanak a=kor oper iki p an'
 どのように (私の) 娘 する もの だろうか

娘はどうしたらいいのだろう』

355 セコロ ヤイヌアン コロ
 sekor yaynu=an kor
 と 思う(私) ながら

と思いました。

オラノ ネ ワ アン ペ パテク
 orano ne wa an pe patek
 それから 今言ったその こと ばかり

それからそればかりを

30 ホラク horak は一項動詞で「崩れ落ちる」。イコ iko がついても動詞の項数は変わらない。

アエサンペコニタタ³¹ ワ… コロ
 a=esampekonitata wa… kor
 (私)心に抱え ながら

心に抱えて

ケシト アナン ルウエ ネ ヤクン
 kesto an=an ruwe ne yakun
 毎日 暮らす(私)こと である ならば

毎日暮らしていたのですが

ネウン ニシパ ネウン オツカイポ
 neun nispa neun okkaypo
 どんな 旦那 どんな 若者

どんな旦那さん、どんな若者が

360 エネ イコオシコニ ワ
 ene i=koosikoni wa
 このように(私に)追いつい て

このようにやって来て

ピリカ アエプ ピリカ サケ イイペレ イイクレ
 pirka aep pirka sake i=ipere i=ikure
 おいしい 食べ物 おいしい 酒 (私に)食べさせ (私に)飲ませる

おいしい食べ物や酒を食べさせ飲ませてくれた

ヒ ネ ヤ”
 hi ne ya”
 こと です か

のですか」

セコロ ハウエアン コロ チシ コロ ハウエアン。
 sekor hawean kor cis kor hawean.
 と 言い ながら 泣き ながら 言う

と言って泣きながら話をしました。

エアラキンネ アケムヌ ア アケムヌ ア
 earkinne a=kemnu a a=kemnu a
 本当に (私)本当に気の毒で 気の毒で

本当に気の毒で

365 マク ネ ワ オラ エネ カトウフ アニ アン
 mak ne wa ora ene katuhu an _hi an
 どう し て こんど こんな おかしな姿 なる の だろう

一体どうしてこのような姿になったのだろう

セコロ ヤイヌアン
 sekor yaynu=an
 と 思う(私)

と思いました。

カ タ オラ ヤイヌアン フミ エネ アニ。
 ka ta ora yaynu=an humi ene an _hi.
 上 に こんど 思う(私) 感じ このようだった

その上私が思ったのはこのようなことでした。

“ソノノ アウヌフ ヘネ ソモ ネ ヤクン
 “sonno a=unuhu hene sono ne yakun
 本当に (私の)母 でも ない ならば

「本当に私の母がそうでないのなら

エネ マク ネ ヒネ
 ene mak ne hine
 一体 どう であって

一体どうして

31 エサンペコニタタ e-sampe-ko-nitata (について・心・に・押さえる)。

370 アウヌフ チシ コロ パテク アン ア プ”
 a=unuhu cis kor patek an a p”
 (私の)母 泣い て ばかり い た が

母は泣いてばかりいるというのだ」

セコロ ヤイヌアン。
 sekor yaynu=an.
 と 思う(私)

と思いました。

“トウラノ アナン アオナハ
 “turano an=an a=onaha
 一緒に いる(私) (私の)父

「一緒に暮らしている父は

ヘマンタ ウエイ サンペ コロ ヘネ キ
 hemanta wen_ sampe kor hene ki
 何か 悪い 心 を持ち でも する

何か悪い心を持っているの

ルウエ ネ ヤ”
 ruwe ne ya”
 の だ か

ではないか」

375 セコロ アサンペ オツ タ ヤイヌ。
 sekor a=sampe or_ ta yaynu.
 と (私の)心 の所 で 思う

と、心の中で思いました。

ソンノ ヤイルシカアン ルウエ ネ コロカ
 sonno yayruska=an ruwe ne korka
 本当に ひとりで腹を立てる(私) の だ けれど

とても腹が立ったけれど

ネプ カ タプネ ネ ヒ カ
 nep ka tapne ne hi ka
 何 も このよう な ことも

何もこのようなことなどは

アイエ カ ソモ キ コロカ
 a=ye ka somo ki korka
 (私)言う も しな い けれど

言わずに

オラ アイペレ アイクレパ ヒネ オラ
 ora a=ipere a=ikurepa hine ora
 そして (私)食べさせ (私)酒を飲ませ て こんど

食事をさせ酒を飲ませました。そして

380 “アホツパ タネ ホシピアン クス ネ コロカ
 “a=hoppa tane hosipi=an kusu ne korka
 (私)置いて 今 帰る(私) つもりだ けれど

「今は置いて家に帰るつもりだけれど

オラ タネ トウツコ レレコ ネ ヤクン
 ora tane tutko rerko ne yakun
 そして もう 2日 3日 したならば

2、3日したら

アフナラパ クス スイ エカン クス ネ ナ。
 a=hunarpa kusu suy ek=an kusu ne na.
 (私)探す ために また 来る(私) つもりだ よ

探しにまた来るつもりです。

- エカン パクノ タン アン ネ マツカチ ウンノ³²
ek=an pakno tan an ne matkaci unno 私が来るまでその女の子に
来る(私) まで この いる あの 娘 に
- SPA ワ 'ネ エカシ ヘ エオナハ ヘ
supa wa 'ne ekasi he e=onaha he 料理をして『このおじいさんかお父さんに
料理し て その おじいさん か (お前の)父 か
- 385 エイペレ コロ アプンノ エチオカ ヤク ピリカ ナ。'
e=ipere kor apunno eci=oka yak pirka na.' 食べさせて穏やかに暮らしていたらいいよ』
(お前)食べさせ ながら 穏やかに (お前達)いれ ば いい よ
- オラ カンナ アエコフナラ クス ネ ナ”
ora kanna a=e=kohunara kusu ne na” そしてまたあなたたちを探して来てあげよう」
そして また (私がお前を)探す つもりだ よ
- セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor と言って
と 言う(私) ながら
- ソイネ ヒネ オラ タプネ ネ ワ…
soyne hine ora tapne ne wa… 外に出て、このような…
外に出 て こんど こう し て
- ネ ヒ カ ヤイカタ アナクネ
ne hi ka yaykata anakne わけですと私自身は
である こと も 自分 は
- 390 ヤイオペオペアン³³ カ ソモ キ ノ
yay'opeope=an ka somo ki no 名乗ることもせずに
名乗る(私) も しない で
- ソイネアン ヒネ オラ エカン ヒネ
soyne=an hine ora ek=an hine 外に出て帰って来ました。
外に出る(私) して そして 来る(私) して
- アウニ タ シレパアン ヒ オラ
a=uni ta sirepa=an hi ora 私の家に着いて
(私の)家 に 着く(私) こと そして
- アコロ ワ オカイ ペ アウニ タ アルラ カ キ。
a=kor wa okay pe a=uni ta a=rura ka ki. 私の持ち物を私の家に運びました。
(私)持っ て いる もの (私の)家 に (私)運び も する
- ウサ サケ ネ ヤ ウサ キンカイ
usa sake ne ya usa kinkay 酒や着物や
色々な 酒 や 色々な 着替え
- 395 ウサ サケ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
usa sake ne yakka nep ne yakka 酒などを
色々 酒 で も 何 で も

32 セリフの途中だが、ここだけ「あの女の子に」と主人公の説明になっている。

33 ヤヨペヨペ「自己紹介(する)」[萱]。

アウニ タ アルラ ア コロカ
a=uni ta a=rura a korka
(私の)家 に (私)運ん だ けれど

私の家に運んだけれど

タップネ カネ ホシピアン エトク タ
tapne kane hosipi=an etok ta
このように 帰る(私) 前 に

このようなわけで帰る前に

アイヌ ヌカラ アイヌ ヘ ヘマンタ
aynu nukar aynu he hemanta
人 を見る 人 か 何か

人間を見た、人間か何かを

アヌカラ ア ルウエ ネ ヒ カ
a=nukar a ruwe ne hi ka
(私)見 た の だ ことも

見たということも

400 アイエ カ ソモ キ ノ
a=ye ka somo ki no
(私)言い も しな い で

言わずにいました。

アオナハ エウン アイペレ カ アイクレ カ キ ヒ
a=onaha eun a=ipere ka a=ikure ka ki hi
(私の)父 に (私)食べさせ も (私)飲ませ も する こと

父に食べさせたり飲ませたりして

オラ ナ ネン ネン アコイソイタク エンカ タ
ora na nen nen a=koisoytak enka ta
そして まだ いる いる (私)話す 上 で

いろいろな話をしていて

“アオナハ ネプ カ ペウレ ヒ タ
“a=onaha nep ka pewre hi ta
(私の)父 何 か 若い ときに

「父さん、何か若いときに

ネプ カ ヤイケウコロ ヘネ ネプ カ ウエン プリ
nep ka yaykewkor hene nep ka wen puri
何 か 人の道に反する でも 何 か 悪い おこない

人の道に反すること、何か悪いことを

405 ヘネ ソモ コン ルウエ ネ ヤ? ”
hene somo kor_ ruwe ne ya? ”
でも 持たない の ですか

「しませんでしたか」

アコウウエペケンヌ アクス
a=kouwepekennu akusu
(私)尋ね たところ

と尋ねたところ

“ネプ カ ウエン プリ カ アコロ カ ソモ ネ。
“nep ka wen puri ka a=kor ka somo ne.
何 も 悪い おこないも (私)持ち も しな い

「何も悪いことなどしていない。

ウエイ サンペ カ アコロ カ ソモ キ ルウエ ネ ”
wen_ sampe ka a=kor ka somo ki ruwe ne ”
悪い 心 も (私)持ち も しな い の だ

悪い心を持ったりしていないぞ」

セコロ ハウエアン ルウエ ネ コロカ
sekor hawean ruwe ne korka
と 言う の だ けれど

と言うけれど

- 410 “ソンノ ネ ヤ” アコウウエペケンヌ
 “sonno ne ya” a=kouwepekennu
 本当 なの か (私)尋ねる
 「本当なのか」と尋ねて
- “ソンノ ネ ヤ” ヒ イェ コロカ
 “sonno ne ya” hi ye korka
 本当 なの か と 言う けれど
 「本当か」と言い
- ナニ サパウシペ オトピ アテッコノイエ³⁴ コロ
 nani sapauspe otopi a=tekkonoye kor
 すぐ 頭に生えたもの 髪 (私)手でねじりあげ ながら
 すぐに髪の毛をねじりあげて
- “ソンノ ネ ヤ。
 “sonno ne ya.
 本当 なの か
 「本当か。」
- アオナハ ソンノ アオナハ ネプ カ
 a=onaha sonno a=onaha nep ka
 (私の)父 本当に (私の)父 何 も
 父さんは、本当に父さんは何かの
- 415 ウェンカムイ コノンノイタク ソモ キ ヤ”
 wenkamuy kononnoitak somo ki ya”
 悪神 に祈る しない か
 悪神に祈ったりしていないか
- セコロ アイェ アクス オラ エアシリ
 sekor a=ye akusu ora easir
 と (私)言っ たところ こんど 初めて
 と言ったところ、そうして初めて
- “タネ アナクネ
 “tane anakne
 今 は
 「今は
- アコロ ウェン プリ アコロ ウェン カッチャム
 a=kor wen puri a=kor wen katcam
 (私の)の 悪い 行い (私の)の 悪い ふるまい
 私の悪いふるまいを
- アカラクフ イコオシコニ ヒ ネ ヤクン
 a=karkuhu i=koosikoni hi ne yakun
 (私の)おい (私)追及される ことである ならば
 おいっ子にとがめられるのならば
- 420 マク アイェ ハウエ”
 mak a=ye hawe”
 どう (私)言う こと
 何と言おう」
- セコロ ハウエアン コロカ
 sekor hawean korka
 と 言う けれど
 と言ったけれど
- ナニ アトイコキッキク ヒネ
 nani a=toykokikkik hine
 すぐ (私)ひどく殴っ て
 すぐにひどく殴りつけて

34 テッコノイエ tek-ko-noye (手・で・をねじる)。

- エソイネ アトイコキツキク
 esoyne a=toykokikkik
 外で (私)ひどく殴る
 外でひどく殴りつけて
- ラポッケ アライケ ヒネ
 rapokke a=rayke hine
 そのうちに (私)殺し て
 殺してしまいました。
- 425 エソイネ アニンパニンパ ヒネ
 esoyne a=ninpaninpa hine
 外に (私)ひきずっ て
 外にひきずって行って
- アトイコタタ アムンコタタ ルウェ ネ ヒネ
 a=toykotata a=munkotata ruwe ne hine
 (私)土と刻む (私)草と刻む こと であって
 土や草と一緒に刻んでしまいました。
- オラ アウヌフ エウン
 ora a=unuhu eun
 そして (私の)母 に
 そして母に
- “ タプネ ネ フ
 “ tapne ne wa
 このようなわけ なの で
 「このようなわけで
- ナイトウラシアン アクス
 naytulasi=an akusu
 川をさかのぼる(私) したところ
 川をさかのぼって行ったところ
- 430 エネ ソンノ アオナハ ネ ヤ
 ene sonno a=onaha ne ya
 このように 本当の (私の)父 だ か
 本当の父なのか
- アマタキ³⁵ ネ ヤ エラミシカリ コロカ
 a=mataki ne ya eramiskari korka
 (私の)妹 だ か わからない けれど
 妹なのかわからないけれど
- アパ ルウェ ネ ”
 a=pa ruwe ne”
 (私)見つける こと です
 見つけたんだよ」
- セコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ
 と言ったところ
- アウヌフ オラノ ポ ヘネ ライパラパラク コロ
 a=unuhu orano po hene rayparaparak kor
 (私の)母 それから なおさら ひどく泣き ながら
 母は激しく泣きました。
- 435 オラ ナニ イシムネ
 ora nani isimne
 そして すぐ 翌日
 そしてすぐに翌日

35 一般的にはマタキ mataki は姉が妹に対して使う言い方。兄から妹に対してはマタパ matapa、トゥレシ turesi と言うが、この話では全てマタキ mataki となっている。トシさんは女性なので、馴染みのある言葉のほうを無意識に使ったものか。

ウサ アミフ ネ ヤ ウサ オカイ ペ コロ ワ
 usa amip ne ya usa okay pe kor wa
 色々 着物 でも 色々 ある もの 持つ て

着物やいろいろなものを持って

オラ ナニ アウヌフ トウラノ サパン ヒネ
 ora nani a=unuhu turano sap=an hine
 こんど すぐ (私の)母 と一緒に 川を下る(私)して

すぐに母と一緒に川を下って行って

ネ ナイ トウラシ パイエアン アクス
 ne nay turasi paye=an akusu
 その川 廻って 行く(私) したところ

あの川に沿って行きました。すると

エネ アン チセ ヘ ヘマンタ オツ タ オカ ルウエ
 ene an cise he hemanta or_ ta oka ruwe
 こんな 家 か 何か の所 に 暮らす こと

あの家で暮らしているのを

440 アウヌフ ヌカラ ワ
 a=unuhu nukar wa
 (私の)母 見 て

母が見て

オラノ ライパラパラク コロ アオシマ ヒネ
 orano rayparaparak kor a=osma hine
 それから ひどく泣き ながら (私)入っ て

激しく泣きながら中に入ると

オラノ ナニ “アコロ オペレ”
 orano nani “a=kor oper”
 それから すぐに (私の)の 娘

すぐに「娘よ」

セコロ ハウエアン ヒ
 sekor hawean hi
 と 言う こと

と言いました。

オラノ ネ マツカチ ヘ ネ ヤ アナクネ
 orano ne matkaci he ne ya anakne
 それから その 女の子 か だ か は

その娘は

445 ウヌフ ネ ヤ ネブ ネ ヤ
 unuhu ne ya nep ne ya
 母 なの か 何 なの か

母なのか何なのか

エラミシカリ プ ネ クス
 eramiskari p ne kusu
 わからない もの だ から

わからないのです。

アウヌフ パラパラク オラ
 a=unuhu paraparak ora
 (私の)母 泣く こんど

母は泣いて

“アホクポ”
 “a=hokupo”
 (私の)旦那さま

「私の旦那様」

セコロ アウヌフ ハウエアン コロ
 sekor a=unuhu hawean kor
 と (私の)母 言い ながら

と言って

- 450 ネ オンネクル ヘ
ne onnekur he
その 老人 か
その老人のような
- シクセイ カ サク クル コテツテレケ コロ
siksey ka sak kur kotetterke kor
目の玉 も ない 人 に 駆け寄り ながら
目が見えない人のところに駆け寄って
- パラパラク コロ… ルウエ ネ ヒネ オラ
paraparak kor... ruwe ne hine ora
泣き ながら こと であって こんど
泣いていました。
- “ タプネ カネ ネ ワ… ネ ヒ
“ tapne kane ne wa... ne hi
こういうわけ なので であること
「このようなわけで
- アポホ ウイマム エサン クシケライポ
a=poho uymam esan kuskeraypo
(私の)息子 交易に 下る おかげで
息子が交易に行ったおかげで
- 455 アホクポ アマツネポホ
a=hokupo a=matnepoho
(私の)夫 (私の)娘
旦那さんと娘を
- アポホ パ ルウエ ネ ”
a=poho pa ruwe ne ”
(私の)息子 を見つける の です
見つけたのです”
- セコロ アウヌフ ハウエアン ペ ネ クス
sekor a=unuhu hawean pe ne kusu
と (私の)母 言う もの だ から
と母が言ったので
- オラ ネ シクセイ カ サク クル カ
ora ne siksey ka sak kur ka
そして あの 目の玉 も ない 人 も
その盲目の人も
- パラパラク コロ
paraparak kor
泣き ながら
激しく泣きながら
- 460 “ アポホネ アン ペ エネ アウエンユピヒ
“ a=pohone an pe ene a=wenyupihi
(私の)息子 ある もの こんな (私の)悪い兄
「息子がこのように、悪い兄が
- ウエン カツチャム コロ ワ
wen katcam kor wa
悪い 行い 持つ て
悪いことをして
- タネ アマチヒ カ ライ ワ イサム ルウエ ネ
tane a=macihi ka ray wa isam ruwe ne
もう (私の)妻 も 死ん で しまう の だ
もう妻も死んでしまった
- クナク アラム ア プ
kunak a=ramu a p
と (私)思っ た が
と思っていたのだったが

エネ アカトウ アン ルウエ ネ ヤツカ
ene a=katu an ruwe ne yakka
こんな (私の)無様 な こと で も

このような姿になっても

465 アマチヒ カ タネ イコオシコニ ルウエ アン”
a=macihi ka tane i=koosikoni ruwe an”
(私の)妻 も もう (私を)探す こと だなあ

妻も私のところに来てくれたのだ」

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言って

ウコパラパラクパ コロ
ukoparaparakpa kor
互いに泣き ながら

互いに大泣きをしました。

オラ ナニ アウヌフ ウセイ カラ ヒネ
ora nani a=unuhu usey kar hine
こんど すぐ (私の)母 お湯 を沸かして

すぐに母はお湯を沸かして

ナニ ネ マツカチ カ オトピ トウイエ³⁶
nani ne matkaci ka otopi tuye
すぐ その娘 も 髪 を切る

その娘の髪を切って

470 ナヌフ カ メムケ オラ ピリカ アミフ カ
nanuhu ka memke ora pirka amip ka
その顔 も 剃る こんど きれいな 着物 も

顔を拭いて、きれいな着物も

コロ ワ サプ ペ ネ クス
kor wa sap pe ne kusu
持つ て 行く もの だ から

持って行っていたので

ナニ ピリカ アミフ カ ミレ ワ
nani pirka amip ka mire wa
すぐ きれいな 着物 も 着せ て

いい着物も着せると

ネ マツカチ カ エヤイコブンテク。
ne matkaci ka eyaykopuntek.
その娘 も 喜んだ

その娘は喜びました。

オラ ネ シクセイ カ サク アオナハ ネ コロカ
ora ne siksey ka sak a=onaha ne korka
こんど その 目の玉 も ない (私の)父 だ けれど

それから盲目の父だけれど

475 アオナハ カ ナニ オトピヒ カ トウイエ
a=onaha ka nani otopihi ka tuye
(私の)父 も すぐ 髪 も 切る

すぐ髪を切って

ナヌフ カ カラ ピリカノ…
nanuhu ka kar pirkanano…
その顔 も 拭く きれいに

顔も拭いてきれいに…

36 昔の女性は髪をあごのあたりでまっすぐに切りそろえる習慣であった。

ピリカ アミプ セ ワ サン ペ ネ クス
 pirka amip se wa san pe ne kusu
 きれいな 着物 を背負って 川を下る もの だ から

きれいな着物を背負って来ていたので

ピリカ アミプ カ アミレ ワ
 pirka amip ka a=mire wa
 きれいな 着物 も (私)着せ て

それを着せました。

オラノ チシ コロ
 orano cis kor
 それから 泣き ながら

そして泣きながら

480 “アポホ ネ アン ペ エネ… アン クシケライポ
 “a=poho ne an pe ene... an kuskeraypo
 (私の)息子 で ある もの こうして いる おかげで

「息子がいたおかげで

エイコオシコニ
 e=i=koosikoni
 (お前が私を)探す

私を探して

カムイ イコホサリ ワ”
 kamuy i=kohosari wa”
 神 (私に)振り向く よ

神が助けてくれたのだ」

セコロ ハウエアン コロ エヤイコブンテク コロ
 sekor hawean kor eyaykopuntek kor
 と 言い ながら 喜び ながら

と言って喜んで

ナニ ネア チセ アヌイエオツケ ヒネ
 nani nea cise a=nuyeotke hine
 すぐ その 家 (私)火をつけ て

すぐにその家を燃やしました。

485 オラノ ネ アオナハ ネ アン ペ
 orano ne a=onaha ne an pe
 それから その (私の)父 で ある もの

そしてその父である人の

アウヌフ テケ アニ ヒネ
 a=unuhu teke ani hine
 (私の)母 の手 を持つ て

手を母は取って

ナイ オプツ タ サパン ヒネ
 nay oput ta sap=an hine
 川 河口 に 下る(私) して

川の下流に下って行き

オラ ナニ アチピクサ ヒネ アラキアン ヒネ
 ora nani a=cipikusa hine arki=an hine
 そして すぐ (私)舟で渡し て 来る(私) して

すぐに舟で

アウニ タ ネ イシカラ エトコ タ アラキアン イネ
 a=uni ta ne iskar etoko ta arki=an hine
 (私の)家 に その 石狩 の上流 に 来る(私) して

私の家、石狩川の上流に来ました。

- 490 オラ アウニ タ ネ イユブネ クル³⁷
 ora a=uni ta ne iyupne kur
 そして (私の)家 に その 兄である 人
 そして私の家にいた兄である人
- ウェンカムイ アナクネ アライケ ワ
 wenkamuy anakne a=rayke wa
 悪いやつ は (私)殺し て
 悪いやつは殺して
- イサム ペ ネ クス
 isam pe ne kusu
 しまった もの だ から
 しまったので
- オカケ タ オラ アオナハ ソンノ アオナハ
 okake ta ora a=onaha sonno a=onaha
 その後 で こんど (私の)父 本当の (私の)父
 それからは父、本当の父と
- トゥラノ オカアン ワ オラノ
 turano oka=an wa orano
 と一緒に 暮らす(私) して こんど
 一緒に暮らしました。
- 495 エネ シリキラツパ パテク イキ ア プ³⁸ セコロ
 ene sirkirappa patek iki a p sekoro
 こんな 苦勞 ばかり し た のに と
 このように苦勞ばかりをしたのだと
- ヤイヌアン ワ
 yaynu=an wa
 思う(私) して
 思っ
- オラノ アピリカコロ
 orano a=pirkakoro
 それから (私)大切にす
 それからは大切にす
- アピリカイペレ アピリカミレ
 a=pirkaipere a=pirkamire
 (私)よく食べさせる (私)よく着せる
 おいしい食事、きれいな着物を着せて
- オラノ エアシリ アウヌフ カ
 orano easir a=unuhu ka
 それから 初めて (私の)母 も
 そうして初めて母も
- 500 ソモ チシ ノ イペ ネ ヤ
 somo cis no ipe ne ya
 泣かず に 食事する で も
 泣かずに食事するようになり
- ナ ネン ネン イキ
 na nen nen iki
 まだ いろいろ する
 いろいろなことをしました。
- オラ アコロ オペレ³⁹ ネ ヤツカ
 ora a=kor oper ne yakka
 そして (私の) 妹 で も
 妹にも

37 これは「父の兄」という言い方で、つまりは叔父のこと。別の言い方としてアチャポ acapo やケウストウ kewsutu とも言う。

38 何と言おうとしたのかよくわからないが、こう言おうとしたのだろうと推測した。

39 オペレ oper は年長者が女の子に対して「おじょうちゃん」という感じて親しみを込めて使う言葉。

アシリキラプテ ア プ セコロ イオマフ
 a=sirkirapte a p sekor iomap
 (私)苦勞させ た が と かわいがる

苦勞をさせたと思ってかわいがり

オラ ヤイカタ カ エネ アン ピリカ マタキ
 ora yaykata ka ene an pirka mataki
 そして 自分 も このように 良い 妹

私自身もこのような良い妹を

505 アコロ ペ ネ アン ペ オラ
 a=kor pe ne an pe ora
 (私)持つ もの で ある のに こんど

持っていたのに

エネ アン シリキラプ アキ ペ… アニ アン セコロ
 ene an sirkirap a=ki pe… an _hi an sekor
 こんな 苦勞 (私)する ある こと ある と

このように苦勞をさせたのだと

ヤイヌアン ワ アトウヤシカラフ ペ ネ クス
 yaynu=an wa a=tuyaskarap pe ne kusu
 思う(私) して(私)憐れむ もの だ から

思っ、かわいそうに思い

オラノ ポ ヘネ アピリカイミレ
 orano po hene a=pirkaimire
 それから なおさら (私)きれいに着飾らせる

なおさらきれいな着物を着せて

アピリカコロ
 a=pirkakor
 (私)大切に

大切にかわいがりました。

510 ネプ カ アカレ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=kare ka sono ki no
 何 も (私)させ も しない で

何もさせずに

アケムヌ プ ネ クス
 a=kemnu p ne kusu
 (私)同情する もの だ から

かわいそうなので

ネノ アピリカコロ オカアン。
 neno a=pirkakor oka=an.
 同じように (私)大切に 暮らす(私)

大切にして暮らしました。

アオナハ ネ ヤッカ アマタキ ネ ヤッカ
 a=onaha ne yakka a=mataki ne yakka
 (私の)父 で も (私の)妹 で も

父にも妹にも

キ コロ オカアン。
 ki kor oka=an.
 し ながら 暮らす(私)

そうして暮らしました。

515 ラポッケ オラ
 rapokke ora
 そのうちに こんど

そのうちに

タネ マテトウン パハ パクノ アナン ペ ネ クス
 tane matetun paha pakno an=an pe ne kusu
 もう 妻をもらう 年 まで なる(私) もの だ から

私ももう妻を娶る年にまでなったので

マテトウンアン ワ
matetun=an wa
妻をもらう(私) して

妻をもらって

ピリカ メノコ トウラノ オカアン ワ
pirka menokoturano oka=an wa
美しい 女性 と一緒に 暮らす(私) して

美しい妻と暮らしました。

オラノ ポ ヘネ アウヌフ アシリキラプテ ア プ
orano po hene a=unuhu a=sirkirapte a p
それから なおさら (私の)母 (私)苦勞させ た が

母にも苦勞をさせた

520 セコロ ヤイヌアン ワ
sekor yaynu=an wa
と 思う(私) して

と違って

オラノ アウヌフ ネ ヤツカ
orano a=unuhu ne yakka
それから (私の)母 で も

母にも

マツ アコロ ヒ オロワノ アナクネ
mat a=kor hi orowano anakne
妻 (私)持つ とき それから は

妻をもらってからは

ネプ カ アカレ カ ソモ キ ノ
nep ka a=kare ka somo ki no
何 も (私)させ も しない で

何もさせないで

アヌヌケ コロ アナン。
a=nunuke kor an=an.
(私)大切にしながら 暮らす(私)

大切に暮らしました。

525 ラポッケ オラ ネア アマタキヒ カ
rapokke ora nea a=matakihi ka
そのうちに そして その (私の)妹 も

そのうちにあの娘にも

アトウヤシカラッ ペ ネ クス
a=tuyaskarap pe ne kusu
(私)同情する ものだから

心を配り

ピリカ オツカヨ アエトウン ヒネ
pirka okkayo a=etun hine
良い 男性 (私)添わせ て

良い旦那さんと結婚させて

アシソユンテ⁴⁰ ワ アピリカ… ノ オカアン。
a=sisoyunte wa a=pirka... no oka=an.
(私)自分の外にいさせ て (私)良く して 暮らす(私)

隣に所帯をかまえ、良い暮らしをしました。

ウコシネウパアン ウコシネウパ ネ ヤ
ukosinewpa=an ukosinewpa ne ya
互いに訪ね合う(私) 互いに訪ね合う で も

互いに訪ね合ったり

40 シソユンテ si-soy-un-te (自分・[の家]の外・にいる・させる)で「隣に住ませる」。

- 530 ネプ カ アカラ ヤツカ
nep ka a=kar yakka
何 か (私)し ても
何かをするのでも
- イペ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
ipe ne yakka nep ne yakka
食事 で も 何 で も
食事をするのでも何でも
- ウコイヤンパ ネ ヤ イコイヤニ ネ ヤ キ コロ
ukoyyanpa ne ya i=koyyani ne ya ki kor
互いに分け合う で も (私)にくれる で も し ながら
分け合って
- オカアン アイネ
oka=an ayne
暮らす(私) したあげく
暮らしました。
- ポ カ アコロ ワ
po ka a=kor wa
子供 も (私)持っ て
子供もできて
- 535 アウヌフ イヨマプ カ キ ア コロカ
a=unuhu iyomap ka ki a korka
(私の)母 かわいがり も し た けれど
母はかわいがっていましたが
- シリキラッ ペ ネ クス
sirkirap pe ne kusu
苦勞をする もの だ から
苦勞をしたので
- トウナシノ イサム ア コロカ
tunasno isam a korka
早くに 死ん だ けれど
早くに死んでしまいました。
- オカケ タ ピリカノ
okake ta pirkano
その後 に よく
その後立派に
- アウヌフ ネ ヤツカ アオナハ ネ ヤツカ
a=unuhu ne yakka a=onaha ne yakka
(私の)母 で も (私の)母 で も
母も父も葬式を出し
- 540 アオカノミ コロ アコヌラツパ コロ アナン アイネ
a=okanomi kor a=konurappa kor an=an ayne
(私)供養し ながら (私)供養し ながら いる(私) やがて
先祖供養をしました。
- タネ ヤイカタ カ オンネアン ルウエ ネ コロカ
tane yaykata ka onne=an ruwe ne korka
もう 自分 も 年を取る(私) こと だ けれど
もう自分も年を取ってしまったけれど
- タップネ カネ ネ ワ
tapne kane ne wa
このようなわけ であっ て
このようなわけで
- アマタキヒ アシリキラプテ プ ネ アクス
a=matakihi a=sirkirapte p ne akusu
(私の)妹 (私)苦勞させる もの だっ たところ
妹に苦勞をさせたのだけれど

アポ ウタラ ネ ヤッカ ウコウエイサンペコロ サク ノ
 a=po utar ne yakka ukoweysampekor sak no 子供たちにも互いに悪い心を持つことなく
 (私の)子ら で も 互いに悪い心を持た ない で

545 アマタキヒ ポホ ウタツ トウラノ
 a=matakihi poho utar_ turano 妹の子供たちと
 (私の)妹 子供 たち と一緒に

ウコウエンケウトウムコロパ ソモ キ ノ
 ukowenkewtumkorpa somoki no 互いに悪い心を持つことがないように
 互いに悪い心を持た ない で

オカ ヤク ピリカ ナ セコロ
 oka yak pirka na sekor 暮らしなさいと
 暮らせ ば いい よ と

ピリカノ アカシパオツテ コロ
 pirkano a=kaspaotte kor 言い聞かせて
 よく (私)言い聞かせ ながら

イサマン ペ ネ アクス アイエ セコロ
 isam=an pe ne akusu a=ye sekor 死んで行くので話をしますと
 死ぬ(私) もの だっ たところ (私)言う と

550 シネ メノコ⁴¹ イソイタク
 sine menoko isoytak ひとりの女性が物語りました
 ある 女性 物語る

セコロ ネ。
 sekor ne. とさ。
 と いう

41 ニシパ nispa「旦那さん」というべきところだけれど、最後に来て妹の方に話者が代わったということか。

第3話 散文の物語

トドをだまして肉をとる

収録日：1996年9月28日

資料番号：35232A

添付 CD：3-3（4分25秒）

第3話 散文の物語「トドをだまして肉をとる」¹⁾

パナンペ アン ペナンペ²⁾ アン ヒネ
 Pananpe an Penanpe an hine
 パナンペ いる ペナンペ い て

パナンペとペナンペが

オカアン³⁾ ヒケ
 oka=an hike
 暮らす(私) したが

いました。

パナンペ ピシ タ サン アクス
 Pananpe pis ta san akusu
 パナンペ 浜 に 出 たところ

パナンペが浜に出たところ

エタシペ ヤン ワ アン ヒ クス
 etaspe yan wa an hi kusu
 トド 上陸し て いる ので

トドが陸に上がっていたので

5 “エタシペ アエコムイ ナ”
 “etaspe a=e=komuy na”
 トド (私がお前の)シラミを取る よ

「トドよ、シラミを取ってあげよう」

セコロ パナンペ ハウエアナクス エタシペ
 sekor Pananpe hawean akusu etaspe
 と パナンペ 言っ たところ トド

と言いました。するとトドが

“エ、ホクレ イコムイ ウン”
 “e, hokure i=komuy un”
 はい 早く (私の)シラミを取って ね

「ええ、早く取ってちょうだい」

セコロ エタシペ ハウエアン イクス
 sekor etaspe hawean _hi kusu
 と トド 言う ので

と言うので

アコムイ ペコロ イキアン コロ
 a=komuy pekor iki=an kor
 (私)シラミを取る ように する(私) ながら

シラミを取っているふりをして

10 オクストウ アメス ワ
 oksutu a=mesu wa
 襟首 (私)そい で

襟首の肉をむしって

アエ ア アエ ア コロ アナナクス
 a=e a a=e a kor an=an akusu
 (私)食べに食べ て いる(私) したところ

食べまくっていました。すると

- 1 この話は1996年9月28日アイヌ民族博物館のアイヌ文化教室「口承文芸の夕べ」で採録されたもの。解説は本田優子氏。上田トシ氏はこの話を、田村すず子編著『早稲田アイヌ語音声資料2—ワテケさんの昔話—』所収「トドのシラミ取り」(話者:鳩沢ふじの)(pp.66-69)の音声資料を聞いて覚えたようで、言葉の表現など随所に共通点が見られる。本書の対訳もこの文献を参考にした。以下注で引用の場合は「早」と記す。
- 2 いわゆる「ペナンペパナンペ譚」。この話ではパナンペ(「川下の者」の意)の真似をしたペナンペ(「川上の者」の意)が失敗をするという内容の小話。地域によってはパナンペとペナンペの立場が逆転していることもある。
- 3 通常この類の小話は3人称で語られるが、上田トシさんの話では散文説話のようにア a=、アン =an などの人称で語られている部分が多い。

エタシペ ヘレパシ シキル ヒ クス
 etaspe herepasi sikiru hi kusu
 トド 沖へ 向く ので

トドが沖のほうへ向きを変えたので

“ホクレ アラパ オクストウ チメス!”
 “hokure arpa oksutu cimesu!”
 早く 行け 襟首 そがれ

「早く行け、襟首そがれ！」

セコロ パナンペ ハウエアン ルウエ ネ アクス
 sekor Pananpe hawean ruwe ne akusu
 と パナンペ 言う こと だっ たところ

とパナンペが言ったところ

15 エタシペ

etaspe
 トド

トドは

“ホ、マカナク ヘ タ⁴ ネ?”
 “ho, makanak he ta ne?”
 はい どのように かこそ である

「はい？ 何て言ったんだい？」

セコロ エタシペ ハウエアン ヒ クス
 sekor etaspe hawean hi kusu
 と トド 言う だから

と言いました。なので

“ホクレ アラパ アコロ エタシペ
 “hokure arpa a=kor etaspe
 早く 行きなさい(私)の トド

「早く行きなさい、私のトドさん

セコロ ハウエアン ハウエ ネ ワ”
 sekor hawean hawe ne wa”
 と 言ったの である よ

と言ったんだよ」

20 セコロ パナンペ ハウエアン ルウエ ネ アクス

sekor Pananpe hawean ruwe ne akusu
 と パナンペ 言う こと だっ たところ

と言ったところ

“チヌ エウエン ペ ウン チ!⁵
 “cinu ewen pe un ci!”
 耳 が悪い もの だと

「耳が悪いとでも思ったか！」

セコロ ハウエアン コロ ヘレパシ⁶
 sekor hawean kor herepasi
 と 言い ながら 陸へ

と言ってこちらに向かって

イケサンパ ヒ クス
 i=kesanpa hi kusu
 (私に)追いかける ので

パナンペを追いかけて来たので

ヘヤシ キラアン アクス
 heyasi kira=an akusu
 陸へ 逃げる(私) したところ

陸のほうへ逃げました。すると

4 マカナケタ makanaketa 「どうしたんだ？ 何だって？」 [田] [早] とあるが、ここではトシ氏が言った通りに表記した。

5 [早] ではチヌ エウエン ペ ヘ ウン チイエ cinu ewen pe he un ciye! 「耳が悪いわけじゃないんだぞ！」となっている。

6 ここは「陸の方へ」と言うべきところなのでヘレパシ herepasi 「沖へ」ではなくホレパシ horepasi と言おうとしたのだろう。

- 25 ニテク カ タ シネ パシクル
 nitek ka ta sine paskur
 枝 の上 に 一羽 カラス
 木の枝の上に一羽のカラスが
- レウ ヒネ アン ヒネ
 rew hine an hine
 とまっ て い て
 とまっていて
- “カア カア カア
 “ kaa kaa kaa
 カー カー カー
 「カーカーカー
- フツネ ピナイ カリカリ
 hutne pinay karikari
 狭い 谷 を通れ通れ
 狭い谷を通れ通れ
- カア カア
 kaa kaa
 カー カー
 カーカー
- 30 セブ ピナイ カリカリ”
 sep pinay karikari”
 広い 谷 を通れ通れ
 広い谷を通れ通れ」
- セコロ ハウエアン… パシクル レウ ヒ クス
 sekor hawean... paskur rew hi kusu
 と 言う カラス とまる ので
 と鳴いたので
- オラ セブ⁷ ピナイ カリ キラアン ヤクン
 ora sep pinay kari kira=an yakun
 こんど 狭い 谷 を通って 逃げる(私) ならば
 狭い谷を通って逃げれば
- ピリカ ナンコロ セコロ ヤイヌアニ クス
 pirka nankor sekor yaynu=an_hi kusu
 いい だろう と 思う(私) ので
 いいんだろうと思いました。そこで
- セブ ピナイ カリ キラアン アクス
 sep pinay kari kira=an akusu
 狭い 谷 を通って 逃げる(私) したところ
 狭い谷を通って逃げたところ
- 35 ナイ フツネ プ ネ クス オシロウン⁸
 nay hutne p ne kusu osiroun
 川 狭い ものだ から ひっかかる
 川が狭いので途中で
- エタシペ キ ヒ クス
 etaspe ki hi kusu
 トド する ので
 トドがひっかかってしまったので
- オロ タ アラパアン ヒネ
 oro ta arpa=an hine
 そこ に 行く(私) して
 そこに行つて

7 ここはフツネ hutne 「狭い」と言おうとしたのであろう。その後の展開もそうになっている。

8 [早] ではオウンオウン ounoun 「ひっかかる」となっている。他にオシロク osirok 「ひっかかる」[田] という語もある。

アキツキク ヒネ アライケ ヒネ オラ
 a=kikkik hine a=rayke hine ora
 (私)何度も殴る して (私)殺す して そして

叩き殺してしまいました。そして

カミヒ アルラ アルラ ヒネ オラ
 kamihi a=rura a=rura hine ora
 その肉 (私)運び (私)運び して こんど

肉を運んで来て

40 アエニシパネ コロ アナン ルウエ ネ アクス
 a=enispane kor an=an ruwe ne akusu
 (私)長者になっ て いる(私) の だっ たところ

長者になりました。

オロ タ ペナンペ エキネ
 oro ta Penanpe ek_hine
 そこ に ペナンペ 来 て

そこにペナンペが来て

“パナンペ イトウラ ウエンクル エネ ア プ
 “Pananpe itura wenkur e=ne a p
 パナンペ 一緒に 貧乏人 (お前)だった が

「パナンペよ、共に貧乏人であったおまえが

マク ネ ヘネ エニシパネ”
 mak ne hene e=nispane”
 どう である ても (お前)長者になる

どうして長者になったのだ」

セコロ ハウエアン ヒ クス
 sekor hawean hi kusu
 と 言う ので

と言うので

45 “エ、ウカスイ イペアン コロ
 “e, ukasuy ipe=an kor
 はい 一緒に 食事をする(私) ながら

「おお、共に食事をしながら

アエパシクマ ナ”
 a=epaskuma na”
 (私)話す よ

話をしよう」

セコロ ハウエアナン アクス ペナンペ
 sekor hawean=an akusu Penanpe
 と 言う(私) したところ ペナンペ

と言ったところ、ペナンペは

“ホシキ タシ チヌ ア プ”
 “hoski tasi cinu a p”
 先に こそ 聞いた のに

「先に聞いているものを」

セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら

と言って

50 アパ パ クチツ テツテク⁹ ワ イサム。
 apa pa kucir_ tettek wa isam.
 戸 端 小便をかけ て しまう

戸口に小便をかけて行ってしまいました。

9 クチツ テク kucir_ tek 片足をあげて小便をかける [田]。

オラ パナンペ ピシ タ サン アクス
 ora Pananpe¹⁰ pis ta san akusu
 そして ペナンペ 浜 に 出 たところ

そこでペナンペが浜に出たところ

エタシペ ヤン ワ アン ヒ クス ネ エタシペ
 etaspe yan wa an hi kusu ne etaspe
 トド 上陸して いる ので そのトド

トドが陸に上がっていたので、そのトドに

“エタシペ、アエコムイ ナ”
 “etaspe, a=e=komuy na”
 トド (私がお前の)シラミを取る よ

「トドよ、シラミを取ってあげよう」

セコロ ハウエアナン アクス
 sekor hawean=an akusu
 と 言う(私) したところ

と言ったところ

55 “エ、ホクレ イコムイ ウン”
 “e, hokure i=komuy un”
 はい 早く (私の)シラミを取る よ

「ええ、早く取ってちょうだい」

セコロ エタシペ ハウエアナン イ クス
 sekor etaspe hawean _hi kusu
 と トド 言う ので

と言うので

アコムイ ペコロ ハウエアナン… ペコロ イキアン コロ
 a=komuy pekor hawean... pekor iki=an kor
 (私)シラミを取る ように する(私) ながら

シラミを取っているふりをして

オクストウ アメス ワ アエ ア アエ ア コロ
 oksutu a=mesuwa a=e a a=e a kor
 襟首 (私)そい で (私)食べに食べ ながら

襟首の肉をむしって食べまくりました。

アナン アクス ヘレパシ アラパ ヒ クス
 an=an akusu herepasi arpa hi kusu
 いる(私) したところ 沖へ 行く ので

そうしていると沖に行こうとするので

60 “ホクレ アラパ、オクストウ チメス!”
 “hokure arpa, oksutu cimesu!”
 早く 行け 襟首 そがれ

「早く行け、襟首そがれ!」

セコロ スイ アイェ アクス
 sekor suy a=ye akusu
 と また (私)言っ たところ

とまた言ったところ

“ホ、マカナケタ ネ?”
 “ho, makanaketa ne?”
 はい 何だって?

「はい? 何だって?」

セコロ エタシペ ハウエアナン ヒ クス
 sekor etaspe hawean hi kusu
 と トド 言う ので

とトドが言うので

10 ペナンペ Penanpe と言おうとしたのだろう。

“ホクレ アラパ、アコロ エタシペ

“hokure arpa, a=kor etaspe

早く 行け (私)の トド

「早く行きなさい、私のトドさん

65 セコロ ハウエアナン ハウエ ネ ワ "

sekor hawean=an hawe ne wa"

と 言う(私) こと だ よ

と言ったのですよ」

セコロ ペナンペ ハウエアナン コロ

sekor Penanpe hawean kor

と ペナンペ 言う と

とペナンペが言うと

イケサンパ ヒ クス

i=kesanpa hi kusu

(私)追いかける ので

追いかけて来たので

ヘヤシ ヤナン ア コロカ…アクス

heyasi yan=an a korka... akusu

陸へ 上陸する(私) した けれど したところ

陸に上がったところ

パシクル ニテク カ タ レウ ヒネ アン ヒネ

paskur nitek ka ta rew hine an hine

カラス 枝 の上に 止まっ て い て

カラスが枝の上で止まっていました。

70 "カア カア カア

"kaa kaa kaa

カー カー カー

「カーカーカー

フツネ ピナイ カリカリ

hutne pinay karikari

狭い 谷 を通れ通れ

狭い谷を通れ通れ

セプ ピナイ カリカリ

sep pinay karikari

広い 谷 を通れ通れ

広い谷を通れ通れ

カア カア "

kaa kaa"

カー カー

カーカー」

セコロ パシクル レウ ヒ クス

sekor paskur rew hi kusu

と カラス 止まる だから

とカラスが鳴いていました。そこで

75 ペナンペ ヤイヌ ヒ

Penanpe yaynu hi

ペナンペ 思う こと

ペナンペは

“セプ ピナイ カリ キラアン ヤクン

“sep pinay kari kira=an yakun

広い 谷 を通って 逃げる(私) ならば

「広い谷を通って逃げたら

セプ ピナイ キラアン フミ ピリカ "

sep pinay kira=an humi pirka"

広い 谷 逃げる(私) 感じ 良い

いいようだ」

セコロ ヤイヌ ヒ クス
 sekor yaynu hi kusu
 と 思う ので

と思ったので

セツ ピナイ カリ キラアン アクス
 sep pinay kari kira=an akusu
 広い 谷 を通って 逃げる(私) したところ

広い谷を通して逃げたところ

80 エタシペ オシロウン カ ソモ キ ノ
 etaspe osiroun ka somo ki no
 トド ひっかかり も しない で

トドは引っかかることもなく

ナイ セブ ペ ネ クス
 nay sep pe ne kusu
 川 広い もの だ から

川幅が広いので

ネイ パクノ イケサンパ ヒネ
 ney pakno i=kesanpa hine
 どこ までも (私に)追いかけて

どこまでも追いかけて来て

パナンペ¹¹ オシコニ ワ
 Pananpe oskoni wa
 ペナンペ に追いつく して

ペナンペは追いつかれて

トイ ライ ウェン ライ セコロ アン
 toy ray wen ray sekor an
 ひどい 死に方 悪い 死に方 と いう

ひどい死に方をしたという

85 タクネ パナンペ ウウエペケン ネ ワ。
 takne Pananpe uwepeker_ ne wa.
 短い ペナンペ 昔話 だ よ

短いペナンペの昔話ですよ。

11 ペナンペ Pananpe と言おうとしたのであろう。

第4話 散文の物語

ウサギの穂摘み

収録日：1996年9月28日

資料番号：35232A

添付CD：3-4（8分19秒）

第4話 散文説話「ウサギの穂摘み」⁽¹⁾

(ある独り暮らしの男性が語る)

ヤイコアン オッカヨ アネ ヒネ
 yaykoan okkayo a=ne hine
 ひとり暮らしする 男 (私)であっ て

私はひとりで暮らしていました。

プイネ アナン ペ ネ クス
 puyne an=an pe ne kusu
 ひとりで 暮らす(私)もの だ から

ひとりきりなので

エキムネアン ワ イワカン ヤツカ
 ekimne=an wa iwak=an yakka
 山猟に行く(私) して 帰る(私) しても

山猟に行って帰って来ると

ヤイカタ スケアン ワ イペアン コロ
 yaykata suke=an wa ipe=an kor
 自分で 料理する(私) して 食事する(私) ながら

自分で料理をして食事をして

5 アナン ペ ネ ア プ
 an=an pe ne a p
 いる(私) もの だっ た が

いたのでした。

シネ アン タ エキムネアン ヒネ
 sine an ta ekimne=an hine
 ある時 山猟に行く(私) して

ある時山猟に行って

イワカン アクス アウニ ウン
 iwak=an akusu a=uni un
 帰る(私) したところ (私の)家 に

帰って来ると、私の家に

スプヤ アッ² コロ アン ヒネ
 supuya at kor an hine
 煙 立っ て い て

煮炊きの煙があがっていました。

アオヤモクテ コロ ネ コロカ
 a=oyamokte kor ne korka
 (私)不思議に思う ながら だ けれど

不思議に思いながら

10 アウニ ウン アフナン ルウエ ネ アクス
 a=uni un ahun=an ruwe ne akusu
 (私の)家 に 入る(私) こと だっ たところ

家に入って行ったところ

ピリカ ワ オケレ ポン メノコ
 pirka wa okere pon menoko
 とてもきれいな 若い 女性

とてもきれいな若い女性

レタラ コソンテ³ ウトムチウレ
 retar kosonte utomciwre
 白い 上等な着物 を着る

白い着物を着た

- 1 この話は 1996 年 9 月 28 日アイヌ民族博物館のアイヌ文化教室「口承文芸の夕べ」で採録されたもの。解説は本田優子氏。この話の伝承経路については特にコメントがない。
- 2 無人の家に煮炊きをする煙が上がっていたということ。火事になっていたわけではない。
- 3 着物の色についてあえて触れているのは、その着物の色が女性の正体に関係するということを示唆している。

ポン メノコ スケ コロ アン ヒネ
 pon menoko suke kor an hine
 若い 娘 料理し て い て

若い女性が料理を作っていました。

オロ タ アフナン ルウエ ネ アクス
 oro ta ahun=an ruwe ne akusu
 そこ に 入る(私) こと だっ たところ

私が入って行くと

15 オラ イオリパク コロ アニ クス
 ora i=oripak kor an _hi kusu
 そして (私に)遠慮し ながら いる ので

かしこまって

アコオンカミ カ キ ア プ
 a=koonkami ka ki a p
 (私)拝礼し も し た が

拝礼をして

オラ ピリカ スケ キ ヒネ イコイプニ ヒ クス
 ora pirka suke ki hine i=koypuni hi kusu
 そして おいしい 料理 し て (私に)差し出す ので

上手に作った料理を私に出してくれたので

イペアン カ キ ア プ
 ipe=an ka ki a p
 食事をする(私) も し た が

食べたのでした。

オラ ニサッタ ネ アン ヒケ カ
 ora nisatta ne an hike ka
 こんど 翌日 に なっ て も

翌日になると

20 ネウン カ アラパ プ ネ
 neun ka arpa p ne
 どこか も 行く の だ

どこかへ行くのだろうと

クナク アラム ア プ
 kunak a=ramu a p
 ろうと (私)思っ た が

思っていました

ネウン カ アラパ カ ソモ キ ノ アン。
 neun ka arpa ka somo ki no an.
 どこに も 行き も し ない で いる

どこへも行かずにいました。

ラポッケ エキムネアン ヒネ イワカン アクス
 rapokke ekimne=an hine iwak=an akusu
 そのうちに 山獺に行く(私) して 帰る(私) したところ

そのうちに私が山獺に行って帰って来ると

オラ スイ スケ コロ アン ヒネ
 ora suy suke kor an hine
 こんど また 料理し て い て

また食事を作っている

25 ネ イペアン ヒネ…
 ne ipe=an hine…
 それ 食事する(私) して

それを食べていました。

オラノ ケシ ト アン コロ イパロイキ⁴ コロ アン ワ
 orano kes to an kor i=paroyki kor an wa そして毎日私に食事を作ってくれて
 それから 毎日 (私に)食事を作っ て い て

トゥラノ アナヌミ ピリカ
 turano an=an _humi pirka 一緒に暮らすのが心地よく
 一緒に 暮らす(私) 感じ 良い

カ タ オラ スケ エアシカイ
 ka ta ora suke easkay その上料理が上手で…
 その上 に こんど 料理 が上手である

ピリカ キナ ラタシケプ ネ ヤッカ カラ ワ
 pirka kina rataskep ne yakka kar wa 上手に野草の煮物も作って
 上手に 野草の 煮物 で も 作っ て

30 イパロイキ。
 i=paroyki. 私に食べさせてくれました。
 (私に)食事を作る

エアラキンネ アコヤイライケ コロ アニケ カ
 earkinne a=koyayrayke kor an _hike ka 本当に感謝をして
 本当に (私)感謝し て いる しても

オラノ ネウン カ
 orano neun ka それからはどこにも
 それから どこに も

アラパ カ ソモ キ ノ
 arpa ka somo ki no 行かずにいました。
 行き も しない で

エキムネ コロ ウサ キナ ラタシケプ
 ekimne kor usa kina rataskep 山に行って野草や
 山嶽に行っ て 色々な 野草の 煮物

35 ウサ ピヤパ プシ ネ ヤ
 usa piyapa pus ne ya ヒエの穂や
 色々な ヒエ の穂 で も

ムンチロ プシ ネ ヤ コロ ワ イワク ワ
 munciro pus ne ya kor wa iwak wa アワの穂をとって帰って
 アワ の穂 で も 持っ て 帰っ て

オラ ナニ ウタ ワ ピリケプ カラ ワ
 ora nani uta wa pirkep kar wa すぐに杵について精白し
 こんど すぐ 搗い て 精白 し て

ネ ピリケプ アニ ネ ヤッカ スパ ワ
 ne pirkep ani ne yakka supa wa その精白した物を料理して
 その 精白した物 で で も 料理し て

4 パロイキ paroykiは老人や子供など、生活の一切を養うという意味でも使われるが、ここでは食事の支度など日常の世話をし
 てもらったということ。

イパロイキ。

i=paroyki.

(私に)食事を作る

私に食べさせてくれました。

40 エアラキンネ トウラノ アナヌミ ピリカ
earkinne turano an=an _humi pirka
本当に 一緒に 暮らす(私) 感じ 良い

本当に一緒にいて心地が良く

カ タ オラ ヤイコアラキキ ルウエ
ka ta ora yaykoarkiki ruwe
その上 に こんど ひとりで頑張る こと

そのうえ一生懸命働くことに

ポ ヘネ アコヤイライケ コロ
po hene a=koyayrayke kor
なおさら (私)感謝をし ながら

感謝をしつつ

アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
暮らす(私) もの だった が

暮らしていました。

シネ アン タ
sine an ta
ある時

ある時

45 エキムネアン カ ソモ キ ノ アナン アクス
ekimne=an ka somo ki no an=an akusu
山獺に行く(私) も しない で いる(私) したところ

私は山獺に行かずにいて

ネ ポン メノコ カ エキムネ カ
ne pon menoko ka ekimne ka
その 若い 娘 も 山獺に行き も

その若い娘も山へ

ソモ キ ノ ケメイキ コロ アン アクス
somo ki no kemeyki kor an akusu
しない で 針仕事し て い たところ

行かずに針仕事をしていました。

サマ タ ヌイト カタク レタラ カタク
sama ta nuyto katak retar katak
そば に 糸 糸玉 白い 糸玉

糸玉、白い糸玉が

ネ ポン メノコ サマ タ ケム カ
ne pon menoko sama ta kem ka
その 若い 娘 のそば に 針 も

その若い娘のかたわらに

50 エウシ カネ アン レタラ カタク アン ヒ クス
eus kane an retar katak an hi kusu
そこについて いる 白い 糸玉 ある ので

針もついている白い糸玉があったので

ネ ケム プイ ヌイト アウヌ ヒネ
ne kem puy nuyto a=unu hine
その 針 穴 糸 (私)つけ て

その針の穴に糸を通して

ネ ポン メノコ チンキヒ アエウシ ヒネ
ne pon menoko cinkihi a=eus hine
その 若い 娘 のすそ (私)つけ て

その若い女性の着物のすそに縫い付けて

- アナン ルウェ ネ アクス
an=an ruwe ne akusu
いる(私) こと だっ たところ
おきました。
- オラ エキムネ エソイエネ アクス オラノ
ora ekimne esoyene akusu orano
こんど 山獵に 出かけ たところ こんど
その娘が山に行くため外に出ると
- 55 ネ レタラ カタク カラカラセ ワ アラパ ヒ クス
ne retar katak karkarse wa arpa hi kusu
その 白い 糸玉 転がっ て 行く ので
その白い糸玉が転がって行ったので
- オシ アラパアン アクス
os arpa=an akusu
後から 行く(私) したところ
後から追いかけて行くと
- アウタリ トイタパ ヒネ オロ タ
a=utari toytapa hine oro ta
(私の)仲間 畑仕事し て そこ で
村人たちが畑仕事をする畑に行きました。
- ウサ ムンチロ ウサ ピヤパ ピリカ ワ
usa munciro usa piyapa pirka wa
色々な アワ 色々な ヒエ 良くなっ て
アワやヒエがよく実り
- アウタリ チャ クス パイエパ⁵ コロ
a=utari ca kusu payepa kor
(私の)村人 刈り に 行く と
村人たちが収穫に行くと
- 60 オアリスム セコロ
oar isam sekor
全く ない と
全てなくなっているのだという話を
- アウタリ ハウエオカ… ハウエアン コロ
a=utari haweoka... hawean kor
(私の)仲間 言う 言い ながら
村人たちが言っていたのですが
- モシマノ アナン ペ ネ ア プ
mosmanoan=an pe ne a p
かまわずに いる(私) もの だっ た が
それを聞いた時はかまわずにいました。
- ネア アウタリ トイエヘ タ アラパ ヒネ
nea a=utari toyehē ta arpa hine
その (私の)仲間 の畑 に 行っ て
その村人の畑に行くと
- ネア レタラ コソンテ ウトムチウレ ア
nea retar kosonte utomciwre a
その 白い 上等な着物 を身につけ た
その白い着物を着た
- 65 ポン メノコ イチャ コアリキキ コロ アン シリ
pon menoko ica koarikiki kor an siri
若い 娘 穂摘み に精を出し て いる 様子
若い娘が精を出して穂摘みをしている様子を

5 パイエ paye はアラパ arpa の複数形なので、そこに pa をつけて複数形にする必要はないように思えるが、実際にパイェパ payepa という用例がある。あるいは「複数人で何度も行く」というニュアンスかも知れない。

アヌカラ ヒ
a=nukar hi
(私)見た こと

見たのでした。

オラ ポロ イセポ ネ ヒネ
ora poro isepo ne hine
こんど 大きな ウサギ であって

それは大きなウサギで

イチャ コロ アン シリ アヌカラ ヒ クス
ica kor an siri a=nukar hi kusu
穂摘みし て いる 様子 (私)見る ので

穂摘みをしている様子を見たので

オラ ホシピ… ナニ ホシピアン ヒネ
ora hosipi... nani hosipi=an hine
こんど 帰る すぐ 帰る(私) して

すぐに帰って

70 アウニ タ アナン ルウエ ネ アクス
a=uni ta an=an ruwe ne akusu
(私の)家 に いる(私) こと だっ たところ

家にいました。すると

シットケシ アクス オラ ネア ポン メノコ ホシピ。
sittokes akusu ora nea pon menoko hosipi.
日が暮れ たところ こんど あの 若い 娘 帰る

日が暮れる頃にあの若い娘が帰って来ました。

イポロ クルクシ カネ ヒネ
iporo kurkus kane hine
その顔色 影が射し も して

顔色が曇っていて

ホシピ ヒネ エク イネ… オラ スイ
hosipi hine ek _hine... ora suy
帰っ て 来 て こんど また

帰って来てまた

ピリカ スケ キ ヒネ イイペレ カ キ ヒネ
pirka suke ki hine i=ipere ka ki hine
おいしい 料理 をして (私に)食べさせも して

上手に料理を作って私に食べさせ

75 イペ オカ アン アクス イタンキ フライエ ヒネ
ipe oka an akusu itanki huraye hine
食事 が終わっ たところ お椀 を洗っ て

食事が終わり椀を洗って

オラ ウアシレ カ キ ルウエ ネ ヒネ
ora upsire ka ki ruwe ne hine
こんど 伏せ も する こと であって

伏せて置くと

オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように 言った

このように言いました。

“タン オツカイポ
“tan okkaypo
これ 若い男性

「人間の若い方

イタカン チキ エイヌ カトウ エネアニ。
itak=an ciki e=inu katu ene an _hi.
言う(私) したら (あなた)聞く 次第 このような こと

私の言うことをよく聞いてください。

- 80 アシヌマ アナクネ ネプ アイヌ アネ ルウエ カ
 asinuma anakne nep aynu a=ne ruwe ka 私は人間ではないのです。
 我こそ は 何 人間 (私)であること も
- ソモ ネ カトウ アナク エネ アニ。
 somo ne katu anak ene an _hi.
 しない そのわけ は こうである
- リクン カント タ イセポ マツネポホ
 rikun kanto ta isepo matnepoho 天の国のウサギの神の娘が
 天の 国 に ウサギ の娘
- アネ ヒネ アナン ルウエ ネ ア プ
 a=ne hine an=an ruwe ne a p 私であって
 (私)であって いる(私) こと だった が
- カムイ オルン インカラシ コロ
 kamuy or un inkar=an kor 神の国を見ても
 神 の所 に 見る(私) ながら
- 85 アヤイコトムカ プ シネ クル カ イサム。
 a=yaykotomka p sine kur ka isam. 私にふさわしい男性はひとりもいませんでした。
 (私)ふさわしい 者 一 人 も いない
- アイヌ オルン インカラ コロ
 aynu or un inkar kor 人間の世界を見ると
 人間 の所 を 見る と
- エアニ パテク アヤイコトムカ カ タ オラ
 eani patek a=yaykotomka ka ta ora あなただけが私にふさわしいうえ
 あなた だけ (私)ふさわしい 上 に こんど
- エケウトウム ピリカ
 e=kewtumu pirka 心も美しく
 (あなたの)心 美しい
- エコロ シレトク ネ ヤ アイコオヨイセ⁶ ワ
 e=kor siretok ne ya a=ikooyoyse wa 容姿も立派なので好きになりました。
 (あなたの) 美貌 で も (私)心ひかれ て
- 90 オラ エカン マ
 ora ek=an _wa そこでここへ来て
 こんど 来る(私) して
- タア エトウラ ノ アナン ルウエ ネ コロカ
 taa e=tura no an=an ruwe ne korka このように一緒に暮らしていたのですが
 こう (あなたを)伴っ て 暮らす(私) の だ けれど
- ネウン カ ネ エマチヒ ネ アナン ヤクン
 neun ka ne e=macihi ne an=an yakun 妻になったならば
 どうに も その (あなたの)妻 に なる(私) ならば

6 神が神の国に気に入った相手がおらず、人間の異性を好きになるというのは散文説話で神と人が関わりを持つ理由としてよく見られるものである。

イセポ ポ アコロ ヤクン
isepo po a=kor yakun
ウサギ の子 (人)持つ ならば

ウサギの子をもうけて

イセポ マツ エコロ セコロ
isepo mat e=kor sekor
ウサギ 妻 (あなたを)持つ と

ウサギの嫁をもらったと

95 コタン オルン ウタラ ハウエオカ ワ
kotan or un utar haweoka wa
村 の所 の 人たち 言う して

村の人たちが言って

ア… ミナレ クニ
a... minare kuni
笑われる と

笑われるのが

アエランポキウエン クス
a=erampokiwen kusu
(私)かわいそうに思う ので

気の毒なので

エマチヒ ネ アナク アナン カ ソモ キ コロカ
e=macihi ne anak an=an ka somoki korka
(あなたの)妻 に は なる(私) も しない けれど

妻にはなりませんでした。

エパロオシケ ポカ アキ ワ
e=parooske poka a=ki wa
(あなたの)世話をする だけでも (私)し て

あなたの世話だけをして

100 アヤイコトウヤシ クス エカン マ
a=yaykotuyasi kusu ek=an _wa
(私)思いを遂げる ために 来る(私) して

思いを遂げるためにやって来て

エカラシキ⁷ コロ アナン ルウエ ネ クス
ekaraski kor an=an ruwe ne kusu
もったいない と 暮らす(私) こと だ から

もったいなく思いながら暮らしていたのです。

オラ タネ オンネアン。⁸
ora tane onne=an.
こんど もう 年を取る(私)

私はもう年を取り

カムイ オルン アラパアン ルスイ クス
kamuy or un arpa=an rusuy kusu
神 の所 に 行く(私) したい ので

神のところに帰りたいのです。

カムイ オルン アラパアン オカ タ ネ ヤッカ
kamuy or un arpa=an oka ta ne yakka
神 の所 に 行く(私) 後 に で も

神のところに私が帰った後

105 ネイ ワ ネ ヤ ピリカ ワ オケレ ポン メノコ
ney wa ne ya pirka wa okere pon menoko
どこ から だ か とても美しい 若い 娘

どこからかきれいな女性が

7 イカラシキ ikaraski 「もったいない」。ここではエカラシキ ekaraski と言っているように聞こえる。

8 ウサギなので人間より寿命が短いということだろう。

- ナニ エク ワ エパロオスケ ナンコロ
nani ek wa e=paroosuke nankor
すぐ 来 て (あなたの)世話を する だろう
- クス オラ… カ キ オラ…
kusu ora... ka ki ora...
なので こんど も する こんど
- サケ エカラ ヤクン
sake e=kar yakun
酒 (あなた)作る ならば
- ニツネ サケ ニツネ イナウ アニ
nitne sake nitne inaw ani
粗末な 酒 粗末な 木幣 で
- 110 ‘リクンカント ウン イセポ トノ アノミ ナ’ セコロ
rikunkanto un isepo tonon a=nominasekor
天の国 の ウサギ 神 (私)祭り ます と
- 『天の国のウサギの神を祭ります』と
- エハウエアン コロ イヌラツパ ワ
e=hawean kor i=nurappa wa
(あなた)言っ て (私を)供養する して
- 言っ て私を供養して
- イコイチャラパ ワ イコレ ヤクン
i=koicarpa wa i=kore yakun
(私を)供養し て (私に)くれる ならば
- 供物を供えてくれたならば
- ネ ポカ カムイ オツ タ
ne poka kamuy or_ ta
それ だけでも 神 の所 で
- それだけでも神の国で
- アヤイカムイネレ クス ネ ナ”
a=yaykamuyner kusu ne na”
(私)神格を高められ ます よ
- 私は神格を高められるのですよ」
- 115 セコロ ハウエアン ワ エアラキンネ
sekor hawean wa earkinne
と 言っ て 本 当 に
- と言うので本当に
- イヨクンヌレアナ… ルウエ ネ ア プ
iyokunnure=an a... ruwe ne a p
驚く(私) こと だっ た が
- 驚いたのです。
- オラ… コロ ホツケアン ルウエ ネ ア プ
ora... kor hotke=an ruwe ne a p
こんど ながら 眠る(私) こと だっ た が
- それから眠ったのですが
- ニサッタ ネ クンネイワ… アクス
nisatta ne kunneywa... akusu
翌日 の 朝 すると
- 翌朝になるとその女性は
- 120 スイ トウナシノ ホプニ ヒネ スケ ヒネ
suy tunasno hopuni hine suke hine
また 早くに 起き て 料理し て
- また早く起きて料理をして

イイペレ カ キ。
i=ipere ka ki.
(私に)食べさせ も する

私に食べさせてくれました。

イタンキ フライエ カ キ オカ アン アクス
itanki huraye ka ki oka an akusu
お椀 を洗い も し 終わっ たところ

椀を洗った後で

オラ イアラソケ⁹ タ アン ア プ
ora i=arsoke ta an a p
こんど (私の)反対側の座 に い た が

いろりをはさんで対座していたのですが

オラ ポロ オンネ イセポ ネ ヒネ
ora poro onne isepo ne hine
こんど 大きな 年寄り ウサギ になっ て

大きな年寄りウサギになって

テレケ テレケ コロ ソイエネ ヒ クス
terke terke kor soyene hi kusu
びよんびよん跳ね ながら 外に出る ので

跳ねて外に行ってしまいました。

125 ナニ オシ ソヨシマ アクス
nani os soyosma akusu
すぐ 後から 外に出 たところ

すぐに追いかけて外に出ましたが

ネオロ オシマ ヒ カ
neoro osma hi ka
どこ に入る の か

どこに行ってしまったか

アエランペウテク コロ
a=erampewtek kor
(私)わからなく て

わからず

クリヒ ポカ アヌカラ カ ソモ キ コロカ
kurihi poka a=nukar ka somo ki korka
その姿 だけでも (私)見 も しない けれど

姿を見ることはできませんでした。

エネ トウラノ アナヌミ ピリカ
ene turano an=an_humi pirka
こうして一緒に 暮らす(私) 感じ 良い

このように共に暮らすのが心地よく

130 スケ エアシカイ ワ トウラノ アナン
suke easkay wa turano an=an
料理 が上手 で 一緒に 暮らす(私)

料理も上手で

フミ ピリカ プ セコロ ヤイヌアン ワ
humi pirka p sekor yaynu=an wa
感じ いい ものと 思う(私) して

心地よかったのにとあって

アオカラモッテ ア コロカ
a=okaramotte a korka
(私)名残惜しく思っ た けれど

名残惜しかったけれど

9 いろりをはさんで反対側の座。同居する家族と仲睦まじく暮らしているときに親しみを込めて使われる表現。

エネ ネ ヒ カ イサム ノ アナン。
ene ne hi ka isam no an=an.
どう することもない で いる(私)

どうしようもありませんでした。

ラポッケ オラ スイ ネイ ワ ネ ヤ
rapokke ora suy ney wa ne ya
そのうちに こんど また どこ から だ か

そのうちにまたどこからか

135 ピリカ メノコ エキネ
pirka menoko ek hine
美しい 女性 来 て

女性がやって来て

スケ ワ… コロ アン
suke wa... kor an
料理し ながら 暮らす

料理を作ってくれていました。

ラポッケ オラ マツ ネ アコロ ワ
rapokke ora mat ne a=kor wa
そのうちに こんど 妻 に (私)持っ て

そのうちに妻にして

トゥラノ アナン
turano an=an
一緒に 暮らす(私)

一緒に暮らしました。

ラポッケ オラ ナニ サケカラン ワ
rapokke ora nani sakekar=an wa
そのうちに こんど すぐに 酒をつくっ て

すぐに酒をつくって

140 エネ アコヤイライケ ア プ セコロ
ene a=koyayrayke a p sekor
こうして(私)感謝をするの だった と

このように感謝をしているのだからと

ヤイヌアン ヒ クス
yaynu=an hi kusu
思う(私) ので

思ったので

“リクンカント ウン イセポ トノ アノミ ナ”
“rikunkanto un isepo tono a=nomi na”
天の国 の ウサギ 神 (私)祭る よ

「天の国のウサギの神を祭ります」

セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) ながら

と言いながら

ニツネ シラリ ニツネ イナウ
nitne sirari nitne inaw
粗末な 酒粕 粗末な 木幣

粗末な酒粕、粗末な木幣

145 セコロ ハウエアナ コロカ
sekor hawean a korka
と 言っ た けれど

と言っていました

ピリカ イナウ ピリカ サケ アニ
pirka inaw pirka sake ani
良い 木幣 良い 酒 で

上質の木幣と酒で

アオカノミ⁽¹⁰⁾ コロ アナン ラポッケ
 a=okanomi kor an=an rapokke
 (私)供養し ながら 暮らす(私) うちに

祈っているうちに

イオシ エク ポン メノコ エウン カ
 ios ek pon menoko eun ka
 後から 来た 若い 娘 に も

後から来た女性にも

ポコロ カ アキ ワ
 pokor ka a=ki wa
 子供を持ち も (私)し て

子供ができて

150 ピリカ ウヘコツパ⁽¹¹⁾ アキ コロ アナン アイネ
 pirka uhekotpa a=ki kor an=an ayne
 良く 連れ添って暮らす (私)し て 暮らす(私) うちに

仲良く暮らしました。

タネ ヤイカタ カ オンネアン クス
 tane yaykata ka onne=an kusu
 もう 自分 も 年を取る(私) ので

今はもう年を取ったので

アポ ウタリ ネイ パクノ オカ ヤッカ
 a=po utari ney pakno oka yakka
 (私)の子たち いつ までも 暮らす しても

子供たちにいつまでも

イセポ トノ オイラ ソモ キ ノ
 isepo tono oyra somo ki no
 ウサギ 神 を忘れ ない で

ウサギの神に忘れずに

コイチャラパ コイノミ ワ イコレ ヤク ピリカ ナ
 koicarpa koinomi wa i=kore yak pirka na
 供養し 祭っ て (私)くれると いい よ

祈りなさい

155 セコロ シネ オツカヨ ポホ ウタラ
 sekor sine okkayo poho utar
 と ある 男性 その子 たち

と、ひとりの男が子供たちに

コイタクムイエ コロ オンネ ルウエ ネ
 koitakmuye kor onne ruwe ne
 に言い置い て 死ぬ こと である

遺言して死んで行きました

セコン ネ。
 sekor_ ne.
 と 言う

とさ。

10 okanomi 供養する、霊を送って拝む、弔ふ [久 600]

11 単数形はウヘコテ uhekote 「連れ添って暮らす」。

第5話 散文の物語

カツラの舟と
ハリギリの舟のけんか

収録日：1996年3月25日

資料番号：35231A

添付CD：4-1（22分04秒）

第5話 散文説話「カツラの舟とハリギリの舟のけんか」¹⁾

(ひとりの男性が語る)

アオナハ アン アウヌフ アン ヒネ
 a=onaha an a=unuhu an hine
 (私の)父 いる (私の)母 い て

父がいて母がいて

オカアン ペ ネ ヒケ
 oka=an pe ne hike
 暮らす(私) もの だっ たが

私は暮らしていました。

アオナハ ネプ ネ ヤッカ イエパカシヌ。
 a=onaha nep ne yakka i=epakasnu.
 (私の)父 何 で も (私に)教える

父は何であっても私に教えました。

ポンラム ワノ
 ponram wano
 小さいとき から

小さい頃から

5 イエパカシヌ プ ネ クス
 i=epakasnu p ne kusu
 (私に)教える もの だ から

教えられていたので

ネプ ネ ヤッカ アエアシカイ ワ
 nep ne yakka a=easkay wa
 何 で も (私)上手であっ て

何でも私は上手にできました。

キムン イラマンテ ネ ヤッカ
 kimun iramante ne yakka
 山の 獺 で も

山獺であっても

レプン イラマンテ ネ ヤッカ
 repun iramante ne yakka
 海の 獺 で も

海獺であっても

ネプ ネ ヤッカ アエアシカイ ワ
 nep ne yakka a=easkay wa
 何 で も (私)上手であっ て

何でも私は上手でした。

10 …ペ ネ ワ… ネ クス
 … pe ne wa… ne kusu
 もの であっ て だ から

…なので

アオナハ タネ ケマパセ²⁾ ヒ
 a=onaha tane kemapase hi
 (私の)父 もう 足が重い とき

父がもう足が悪くなって

オロワノ アナクネ
 orowano anakne
 それから は

からは

1 1996年3月25日、上田トシ氏宅にて収録。調査者は安田千夏。千葉伸彦氏が同席。上田トシ氏は、萱野茂編『ウウェペケレ集大成』所収「ランコ・チブ アコシニ・チブ ウ・コイキ 桂の木の舟と栓の木の舟の喧嘩」(pp.137-157)の音声を聞いてこの話を覚えたと考えられる。

2 ただ単に足が重いのではなく、年を取ったというときにみられる表現である。

プイネ エキムネアン コロ
 puyne ekimne=an kor
 ひとりで 山猟に行く(私) ながら

ひとりで山猟に行つて

カムイ ネ チキ ユク ネ チキ アエアウナルラ。³
 kamuy ne ciki yuk ne ciki a=eawnarura.
 クマ で も シカ で も (私)とつて来る

クマでもシカでもとつて来ました。

15 レプナン コロ… レプン… ハル カ…
 repun=an kor… repun… haru ka…
 沖に出る(私) ながら 沖の 食糧 も

海猟に出ると

ウサ オカイ ペ アコロ ワ エカン ワ
 usa okay pe a=kor wa ek=an wa
 色々 ある もの(私)持つ て 来る(私) して

いろいろなものをとつて来る

…ペ ネ クス
 … pe ne kusu
 ものだ から

ので

ネプ アエ ルスイ カ アコン ルスイ カ
 nep a=e rusuy ka a=kor_rusuy ka
 何 (私)食べ たい も (私)持ち たい も

何を食べたいとも欲しいとも

ソモ キ ノ⁴ オカアン
 somo ki no oka=an
 しない で 暮らす(私)

思わずに暮らしていました。

20 ペ ネ ア プ… オラ…
 pe ne a p… ora…
 もの だつた が こんど

ですが

チプタアン⁵ ワ ランコ チプ カ アタ。
 cipta=an wa ranko cip ka a=ta.
 舟をつくる(私) して カツラの 舟 も (私)つくる

丸木舟を、カツラの舟をつくりました。

アユシニ チプ カ アタ ヒネ
 ayusni cip ka a=ta hine
 ハリギリの 舟 も (私)つくつて

ハリギリの舟もつくつて

トウ チプ アタ ヒネ… ペ ネ コロカ
 tu cip a=ta hine… pe ne korka
 2つの 舟 (私)つくつて もの だ けれど

2艘の舟をつくつたのですが

ランコ チプ アナクネ エアラキンネ コシネ ワ
 ranko cip anakne earkinne kosne wa
 カツラの 舟 は 本当に 軽く て

カツラの舟はとても軽いので

3 エアウナルラ e-awna-rura (を・家の中・に運ぶ)で「獲物をとつて来る」という意味になる。

4 「満足して暮らしている」というときの常套表現。

5 タ taは「～を彫る」という意味。カラ kar「～をつくる」ではない理由は、丸木舟は一本の木を削りだしてつくるため。

- 25 ランコ チプ パテク アエシタイキ⁶。
 ranko cip patek a=esitayki.
 カツラの 舟 ばかり (私)使う
 オラ アユシニ チプ アナクネ パセ ワ
 ora ayusni cip anakne pase wa
 こんど ハリギリの 舟 は 重く て
 アエイワンケ フミ ウェン ペ ネ クス
 a=eiwanke humi wen pe ne kusu
 (私)使う 感じ 悪い もの だ から
 エイタサ アユシニ チプ アナクネ
 eytasa ayusni cip anakne
 あまり ハリギリの 舟 は
 アオカ⁷ アエイワンケ カ ソモ キ ノ
 aoka a=eiwanke ka somo ki no
 私 (私)使い も しない で
- 30 アナン ペ ネ ヒケ
 an=an pe ne hike
 いる(私) もの でし たが
 オラ ランコ チプ アナクネ ポヘネ
 ora ranko cip anakne pohene
 こんど カツラの 舟 は なおさら
 コシネ プ ネ クス
 kosne p ne kusu
 軽い もの だ から
 ネウン アラパアン クス ネ ヤッカ
 neun arpa=an kusu ne yakka
 どこへ 行く(私) ために で も
 ランコ チプ パテク アエイワンケ コロ
 ranko cip patek a=eiwanke kor
 カツラの 舟 ばかり (私)使っ て
- 35 アナン ペ ネ ア プ
 an=an pe ne a p
 いる(私) もの だった が
 シネ アンチカラ オロワノ シリクンネ
 sine ancikar orowano sirkunne
 ある 夜 それから 暗くなる
- カツラの舟ばかりを使っていました。
 ハリギリの舟は重くて
 使い勝手が良くないので
 あまりハリギリの舟は
 使うこともせずに
 いました。
 そしてカツラの舟は
 軽いので
 どこに行くのにも
 カツラの舟ばかりを使って
 いたのですが
 ある夜、辺りが暗くなって

6 「～を投げ出す」「～を叩く」「アットウシ attus (オヒヨウの樹皮製の着物)を織る」などに使われる言葉だが、ここでは舟を使用することに対して使っている。この物語中、エイワンケ eiwanke「～を使う」が4回に対し、esitaykiも3回使っている。

7 ここにアオカ aoka がなくても文章の意味は変わらないが、「私は使わない」というのを強調したいために言ったのかも知れない。

タネ モコロクル⁸ オカアン
 tane mokorkur oka=an
 もう 眠くなる いる(私)

もう寝静まる

ラポク ネ コロ オロワノ
 rapok ne kor orowano
 する間 になると それから

頃になると

チプ フム アサ アサ ワ
 cip hum as a as a wa
 舟の 音 何度もし て

舟の音が何度もして

40 アオヤモクテ コロ アナン イケ カ… ネ クス
 a=oyamokte kor an=an _hike ka... ne kusu
 (私)不思議に思っ て いる(私) しても だ から

不思議に思ったのですが

ネイ ワ チプ エネ フミ アシ ネ ヤ カ
 ney wa cip ene humi asi ne ya ka
 どこ から 舟 こんな 音が する だ か も

どこから舟の音がするのか

アエランペウテク コロ アナン アイネ
 a=erampewtek kor an=an ayne
 (私)わからない で いる(私) うちに

わからないでいました。

…ヒ クス エイタサ ケサンチカラ
 ... hi kusu eytasa kes ancikar
 だから あまり 毎 晩

あまりにも毎晩

ネ チプ フム アシ ヒ アオヤモクテ ヒ クス
 ne cip hum as hi a=oyamokte hi kusu
 その 舟の 音がする こと (私)不思議に思う ので

舟の音がするのが不思議なので

45 シネ アンチカラ アプンノ
 sine ancikar apunno
 ある 晩 静かに

ある夜静かに

ホプニアン ヒネ… コロカ
 hopuni=an hine... korka
 起きる(私) して けれど

起き上がりました。

アオナハ エウン カ アイェ カ ソモ キ ノ
 a=onaha eun ka a=ye ka somo ki no
 (私の)父 へ も (私)言い も しない で

父には言わずに

アプンノ ホプニアン ヒネ
 apunno hopuni=an hine
 静かに 起きる(私) して

静かに起きて

オラ ソイエネアン イネ
 ora soyene=an _hine
 こんど 外に出る(私) して

外に出ました。

8 モコロクルカアン「寝静まる」[萱]。静内地方の伝承者織田ステノ氏もイコペパカ ikopepka (体験談)の中で「モコロクル エク mokorkur ek (眠気がやって来た)」のような形で使っている。

- 50 オラ ホック カネ アナン ワ
 ora hotku kane an=an wa
 こんど かがむ ながら いる(私) して
 かかがみながら
- アコロ ペタル⁹ オルン
 a=kor petaru or un
 (私)の 水汲み場 の所 に
 私たちの水汲み場まで
- アプンノ ラナン ワ インカラン アクス
 apunno ran=an wa inkar=an akusu
 静かに 下りる(私) して 見る(私) したところ
 静かに下りて見たところ
- ネア ランコ チプ アユシニ チプ
 nea ranko cip ayusni cip
 あの カツラの 舟 ハリギリの 舟
 そのカツラの舟とハリギリの舟
- トウ チプ オピッタ アイヌ アシ ヘネ キ ルウエ
 tu cip opitta aynu as hene ki ruwe
 2 舟 みんな 人間 立つ でも すること
 2艘の舟がどちらも人間が立つ
- 55 ネノ カネ オカ ワ
 neno kane oka wa
 かのように い て
 ような姿で
- オラノ ウコテレケ フム アシ
 orano ukoterke hum as
 それから 互いに跳ねる 音 する
 それから互いに跳ね上がる音がして
- …また飛ばしてる、ばあちゃん。元に戻っていいか?¹⁰
- アオヤモクテ ヒ クス
 a=oyamokte hi kusu
 (私)不思議に思う ので
 不思議に思いました。
- ペタル タ ラナン ワ インカラン コロ
 petaru ta ran=an wa inkar=an kor
 水汲み場 に 下りる(私) して 見る(私) と
 水汲み場に下りてみると
- 60 ネア アコツ チプ トウ チプ
 nea a=kor_ cip tu cip
 あの (私)の 舟 2 舟
 あの私の舟、2艘の舟が
- オピッタ アシリコテ ア ヒ ネノ カネ オカ ヒケ
 opitta a=sirkote a hi neno kane oka hike
 みんな (人)つない だ 時 のままだ い たのに
 つないだ時のままでありました。
- オラ マク ネ ワ ネ ヤ シリクンネ
 ora mak ne wa ne ya sirkunne
 こんど どう して だ か 暗くなる
 そして一体どうして暗くなって

9 「水汲み場に行く道」が原意だが、水汲み場自体を指すこともある[久674]。この場合は舟がつないである水場なので、後者の意味。

10 ここでトシ氏は何かを言い忘れたと思ったらしく話が少し戻るが、特に何か忘れた部分があったようには見えない。

モコロ クル オカアン コロ
 mokor kur oka=an kor
 眠る 人 いる(私) と

寝る刻限になると

オラノ チプ フム アサ アサ ヒ
 orano cip hum as a as a hi
 それから 舟の 音 何度もする こと

舟の音が何度もするのかわ

65 アオヤモクテ ヒ クス
 a=oyamokte hi kusu
 (私)不思議に思う ので

不思議に思っていたのでした。

オラ アプンノ シネ アンチカッ タ
 ora apunno sine ancikar_ ta
 こんど 静かに ある 夜 に

静かにある夜

ホプニアン イネ
 hopuni=an _hine
 起きる(私) して

起き上がって

ホック カネ アナン ワ レイエレイエアン コロ
 hotku kane an=an wa reyereye=an kor
 かがみ ながら いる(私) して 這う(私) ながら

かがんで這って行きました。

アコロ ペタル タ ラナン ルウエ ネ アクス
 a=kor petaru ta ran=an ruwe ne akusu
 (私)の 水汲み場 に 下りる(私) こと であつ たところ

水汲み場に下りて行くと

70 ネア ランコ チプ アユシニ チプ
 nea ranko cip ayusni cip
 あの カツラの 舟 ハリギリの 舟

あのカツラの舟とハリギリの舟が

アイヌ アシ ルウエ ネノ カネ アシネ
 aynu as ruwe neno kane as _hine
 人間 立つ こと かのよう に 立っ て

人間が立つようにして立って

オラノ ウコテレケ フム ネ アヌ。
 orano ukoterke hum ne a=nu.
 それから 互いに跳ねる 音 として (私)聞く

互いに跳ね上がる音を聞きました。

ネ アン ヒ ネノ ウコテレケ フム
 ne an hi neno ukoterke hum
 そう である こと かのよう に 互いに跳ねる 音

そのように互いに跳ね上がる音が

ウコリムノリムノ¹¹ アラキツキク フム シリキ
 ukorimnorimno arkikkik hum sirki
 互いにドシンドシんと ひどく殴り合う 音 様子がある

ドシンドシんとして殴り合う音がして

75 …なんったらいいんだ。

フム ネ アアヌ… ネ ヤ オラ
 hum ne a=anu... ne ya ora
 音 として (私)聞く で も こんど

音を聞いて

11 リム rim は「ドシン」という地鳴りのような音を表した言葉。

- イヨクヌレアン コロ
iyokunnure=an kor
驚きあきれる(私) ながら
- オラ ホシピアン ヒネ
ora hosipi=an hine
こんど 帰る(私) して
- オラ ホツケアン ルウエ ネ アクス
ora hotke=an ruwe ne akusu
こんど 眠る(私) こと であったところ
- 80 モコラン アクス
mokor=an akusu
眠る(私) たところ
- ネ エアンチカラ ウェンタラパン ルウエ ネ アクス
ne eancikar wentarap=an ruwe ne akusu
その 夜 夢を見る(私) こと であったところ
- クンネ コソソテ¹² ウトムチウレ
kunne kosonte utomciwre
黒い 上等な着物 を身につける
- カムイ ネ クス コラチ アン メノコ
kamuy ne kusu koraci an menoko
神 だ から らしく いる 女性
- アペエトク タ アニネ
apeetok ta an_hine
横座 に いて
- 85 エネ ハウエアニ。
ene hawean_hi.
このように言った
- “タン オツカイポ イタカン チキ
“tan okkaypo itak=an ciki
これ 若い男性 話す(私) したら
- エイヌ カトウ エネ アニ。
e=inu katu ene an_hi.
(お前)聞く わけ こう いう こと
- ヘマンタ エエカラ¹³ クス
hemanta e=ekar kusu
何 (お前)する ために
- エネ アユシニ チプ エカン ルウエ アン。
ene ayusni cip e=kar_ruwe an.
こう ハリギリの 舟 (お前)作る の ですか?

12 カツラの木は黒い色を連想させる木ではないが、位が高い神はしばしば黒い上等な着物を着用する。ちなみに『ウウェペケレ集大成』に収録されている話ではこのくんだりで着物の色には特に触れていない。

13 エカラ e-kar (～で～をする)。ヘマンタ エエカラ クス hemanta e=ekar kusu は決まった言い方で「何をするために」。この場合は相手を非難する意味。

- 90 オラ アシヌマ アナクネ ランコ チプ アネ。
 ora asinuma anakne ranko cip a=ne.
 こんど 私 は カツラの 舟 (私)である
 私はカツラの舟なのです。
- ランコ アナクネ メノコ¹⁴ ネ。
 ranko anakne menoko ne.
 カツラ は 女性 である
 カツラは女性であり
- アユシニ アナクネ オツカヨ ネ ルウエ ネ ア プ
 ayusni anakne okkayo ne ruwe ne a p
 ハリギリ は 男 な の だ っ た が
 ハリギリは男なのですが
- オラノ ランコ チプ コシネ プ ネ クス
 orano ranko cip kosne p ne kusu
 こんど カツラの 舟 軽い もの だ から
 カツラの舟が軽いので
- イエシタイキ ワ
 i=esitayki wa
 (私に)使う して
 私を使って
- 95 ランコ チプ パテク エエイワンケ ヒ
 ranko cip patek e=eiwanke hi
 カツラの 舟 ばかり (お前)使う こと
 カツラの舟ばかりをあなたが使うのを
- アユシニ チプ イルシカ ヒネ
 ayusni cip iruska hine
 ハリギリの 舟 怒っ て
 ハリギリの舟が怒ったのです。
- オラノ アユシニ パクノ ウエン ケウテム コロ ペ
 orano ayusni pakno wen kewtem kor pe
 それから ハリギリ くらい 悪い 心 を持つ もの
 そしてハリギリくらい悪い心を持つものは
- イサム チクニ ネ ルウエ ネ。
 isam cikuni ne ruwe ne.
 いない 木 な の です
 ない木なのですよ。
- ヘマンタ エエカラ クス
 hemanta e=ekar kusu
 何 (お前)する ために
 あなたは何のために
- 100 エネ チプ エカラ ワ オラ ネ ワ アン ペ
 ene cip e=kar wa ora ne wa an pe
 こんな 舟 (お前)作って こんど そうで ある もの
 このように舟をつくり、そのことで
- イコヌコシネ ワ オラノ… クス
 i=konukosne wa orano... kusu
 (私を)憎ん で こんど なので
 私が憎まれたために
- ケサンチカラ ウコテレケアン フミ エヌ ヒネ
 kes ancikar ukoterke=an humi e=nu hine
 毎 晩 互いに跳ねる(私) 音 (お前)聞いて
 毎晩互いに跳ね回る音をあなたは聞いたのです。

14 樹木の雌雄に関してアイヌ文化の中で決まりがあるわけではないが、カツラは女神として描かれた話がいくつかある。

- オラ ランコ アネ。
ora ranko a=ne.
こんど カツラ (私)である。
- アユシニ アナクネ オツカヨ ネ プ ネ クス
ayusni anakne okkayo ne p ne kusu
ハリギリ は 男 な の だ から
- 105 タネ タネ アエマケタ¹⁵ ワ… クス
tane tane a=emaketa wa… kusu
もう もう (私)負ける して ので
- ネ ヤッカ ナ ネン ネン イキアン アイネ
ne yakka na nen nen iki=an ayne
で も まだ いろいろ する(私) うちに
- ランコ メノコ アネ ア コロカ
ranko menoko a=ne a korka
カツラの 女性 (私)だっ た けれど
- アユシニ チプ アエシタイキ ルウエ ネ クス
ayusni cip a=esitayki ruwe ne kusu
ハリギリの 舟 (私)使う こと だ から
- ネ ランコ… アシヌマ アナクネ
ne ranko… asinuma anakne
その カツラ 私 は
- 110 ランコ アネ イネ
ranko a=ne _hine
カツラ (私)であって
- アユシニ チプ アナクネ
ayusni cip anakne
ハリギリの 舟 は
- ウェン ケウトウム コロ ペ ネ クス
wen kewtum kor pe ne kusu
悪い 心 を持つ もの だ から
- ネノ エアヌ ヤカナクネ¹⁶
nenno e=anu yakanakne
同じに (お前)置く もしもしたら
- エコタヌ ウオマ¹⁷ クニ アラム カ
e=kotanu uoma kuni a=ramu ka
(お前の)村 無事 と (私)思う も
- 115 ソモ キ ナ。
somo ki na.
しない よ
- 私はカツラ、女性なのです。
- ハリギリは男であるために
- 今はもう負けてしまったのです。
- それであってはどうにかして
- カツラの女が私であるけれど
- ハリギリの舟を人が使うので
- そのカツラ…私は
- カツラであり
- ハリギリの舟は
- 悪い心を持っているので
- このまま置いておくと
- あなたの村が無事であるとも
- 思えないのですよ。

15 エマケタ emaketa は日本語「負けた」からの移入語。マケタロ「負けた、敗れる」[萱]。逆に勝つことはカッタロと言う。

16 静内地方ではアカナクネ akanakne「もしも～したら」[奥]。

17 ウオマ「揃う」[萱]。「村人が全員そろっている」の意か。

ニサッタ ネ アン チキ
 nisatta ne an ciki
 明日 に なっ たら

明日になったら

ネ ランコ… アユシニ チプ エペレパペレパ
 ne ranko... ayusni cip e=perpaperpa
 その カツラ ハリギリの 舟 (お前)割る

そのハリギリの舟を壊して

エヤシパヤシパ ワ
 e=yaspayaspa wa
 (お前)裂い て

裂いて

オピッタ エウフイカ ヤク ピリカ。
 opitta e=uhuyka yak pirka.
 みんな (お前)燃やす と いい

みんな燃やしたらいいのです。

120 オラ キム タ
 ora kim ta
 こんど 山 で

そして山で

エホラクテ ワ… ア サمامニ ネ ヤツカ
 e=horakte wa... a samamni ne yakka
 (お前)倒させ た 倒木 で も

あなたが倒した倒木であっても

ネ チプ エタ コツパ¹⁸ ネ ヤツカ
 ne cip e=ta koppa ne yakka
 その 舟 (お前)彫る 木っ端 で も

舟をつくった木くずであっても

ポン コツパ ネ ヤツカ ポロ コツパ
 pon koppa ne yakka poro koppa
 小さい 木っ端 で も 大きい 木っ端

小さい木片、大きい木片

ウイペヘ ネ ヤツカ エオマレ ワ
 uypehe ne yakka e=omare wa
 くず で も (お前)入れ て

くずであっても入れて

125 オピッタ エウフイカ ヘネ キ。
 opitta e=uhuyka hene ki.
 みんな (お前)燃やす でも する

みんな燃やしなさい。

ソモ キ ヤカナクネ エコタヌ
 somo ki yakanakne e=kotanu
 そうしないと もしもしたら (お前の)村

そうしないと、あなたの村が

ウオマ クニ アラム カ ソモ キ ナ”
 uoma kuni a=ramu ka somo ki na”
 無事 と (私)思う も しない よ

無事で済むとは思えませんよ」

セコロ ウエンタラパン ルウエ ネ。
 sekor wentarap=an ruwe ne.
 と 夢を見る(私) こと である

という夢を見たのです。

18 日本語「木っ端」からの移入語。

- エアラキンネ イヨクヌレアン コロ
 earkinne iyokunnure=an kor
 本当に 驚きあきれる(私) ながら
 本当に驚いて
- 130 オラ クンネイワ ホプニアン ヒネ オラ
 ora kunneywa hopuni=an hine ora
 こんど 朝 起きる(私) して こんど
 朝起きると
- アオナ エウン
 a=ona eun
 (私の)父 に
 父に
- “ タプネ カネ ランコ チプ
 “ tapne kane ranko cip
 こういうわけで カツラの 舟
 「このようなわけで、カツラの舟
- アユシニ チプ ウコテレケ シリ
 ayusni cip ukoterke siri
 ハリギリの 舟 互いに跳ねる 様子
 ハリギリの舟が跳ね上がる様子を
- ウ克蘭 ネ アヌカラ ワ オラ ネ ランコ チプ
 ukuran ne a=nukar wa ora ne ranko cip
 昨晚 に (私)見 て こんど その カツラの 舟
 昨晚見て、そのカツラの舟が
- 135 イウエンタラプテ ヒ エネ アニ。
 i=wentarapte hi ene an _hi.
 (私に)夢を見せる こと こうであった
 私に夢を見せてこのように言いました。
- ‘ネ アユシニ チプ アナクネ ウェン ケウトウム コロ
 ‘ne ayusni cip anakne wen kewtum kor
 あの ハリギリの 舟 は 悪い 心 を持つ
 『あのハリギリの舟は悪い心を持っていて
- パクノ アシトマ チクニ イサム ペ ネ ナ。
 pakno a=sitoma cikuni isam pe ne na.
 それほど (私)恐ろしい 木 ない もの だ よ
 それほど恐ろしい木はないものなのです。
- ネウン カ エカラ ソモ キ ヤカナクネ
 neun ka e=kar somo ki yakanakne
 何 も (お前)する しない もしもならば
 何もしないでいると
- アコタヌ ウオマ クニ
 a=kotanu uoma kuni
 (お前の)村 無事 と
 あなたの村が無事で済むとは
- 140 アラム カ ソモ キ ナ’
 a=ramu ka somo ki na’
 (私)思い も しない よ
 思えないのですよ』
- セコラン ウェンタラプ アキ ルウエ ネ”
 sekor an wentarap a=ki ruwe ne”
 と いう 夢を見ること (私)する こと です
 と話す夢を見たのです」
- セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ
 と言ったところ

アオナ エアラキンネ エライキマテク
 a=ona earkinne eraykimatek
 (私の)父 本当に ひどく驚く

父は本当に驚いて

“ヤクン エネ アン イシトマアン クス
 “yakun ene an isitoma=an kusu
 ならば そんな 恐ろしい(私) ので

「ならばそのようなものは恐ろしいので

145 ホクレ ホクレ ヤクン ネ チプ
 hokure hokure yakun ne cip
 早く 早く ならば その舟

さあ早く、その舟を

エウフイカ ヤク ピリカ” セコロ
 e=uhuyka yak pirka” sekor
 (お前)燃やす と いい と

燃やしたらいい」

アオナハ イエ ヒ オラ イルシカアン ペ ネ クス
 a=onaha ye hi ora iruska=an pe ne kusu
 (私の)父 言っ てから 怒る(私) ものだ から

と父は言って怒りました。

ペトツ タ ラナン ヒネ
 pet or_ ta ran=an hine
 川 の所 に 下る(私) して

川に下りて行って

ネ アユシニ チプ ピタラ オロ ウン… タ
 ne ayusni cip pitar or un... ta
 その ハリギリの 舟 河原 に

そのハリギリの舟を河原に

150 アニンパ ヒネ
 a=ninpa hine
 (私)ひきずっ て

引っ張って来て

オラ ピタラ オツ タ アヤシパヤシパ
 ora pitar or_ ta a=yaspayaspa
 こんど 河原 の所 で (私)裂く

水汲み場で切り裂いて

アペレパペレパ
 a=perpaperpa
 (私)割る

壊して

ポン コツパ ヘ ネ ヤ
 pon koppa he ne ya
 小さい 木っ端 か で も

小さい木片であっても

ポロ コツパ ヘ ネ ヤ
 poro koppa he ne ya
 大きい 木っ端 か で も

大きい木片であっても

155 オピッタ アウフイカ ルウェ ネ ヒネ オラ
 opitta a=uhuyka ruwe ne hine ora
 みんな (私)燃やす こと である そして こんど

みんな燃やしてしまいました。

オカケ アン¹⁹ イ オラ アウニ タ エカン イネ
 okake an _hi ora a=uni ta ek=an _hine 終わると私の家に帰って来ました。
 終わって から (私の)家 に 来る(私) して

アウファイ…
 a=uhuy…
 (私)燃やす

燃やした…

チプ アウファイカ オケレ ヒ アオナ エウン
 cip a=uhuyka okere hi a=ona eun
 舟 (私)燃やし 終えた こと(私の)父 へ

舟を燃やし終わったことを父に

アイェ ルウエ ネ アクス
 a=ye ruwe ne akusu
 (私)言う こと だっ たところ

言うと

160 アオナ エネ ハウエアニ。
 a=ona ene hawean _hi.
 (私の)父 このように 言った

父はこのように言いました。

“ヤクン キム タ エアラパ ワ
 “yakun kim ta e=arpa wa
 ならば 山 へ (お前)行っ て

「ならば山におまえは行って

ネ エタ チプ サマムニヒ
 ne e=ta cip samamnihi
 その (お前)つくる 舟 の倒木

そのおまえがつくった舟の倒木を

ポン シンリッ ネ ヤ ルウエ シンリチ ネ ヤ
 pon sinrit ne ya ruwe sinrici ne ya
 小さい 根 で も 太い 根 で も

小さい根であっても大きい根であっても

オピッタ エプシパプシパ ワ
 opitta e=puspapuspa wa
 みんな (お前)掘り起こし て

みんな掘り起こして

165 エウファイカ ワ ネ ヤクン
 e=uhuyka wa ne yakun
 (お前)燃やし て である ならば

燃やしてしまったならば

エウファイカ オカ タ オラ
 e=uhuyka oka ta ora
 (お前)燃やす の後 で こんど

おまえが燃やした後で

ネア スプヤ ヒナクン シキル ヤ
 nea supuya hinak un sikiru ya
 その 煙 どこ に 向かう か

その煙がどこに向かうのか

ネ ワ アン ペ ピリカノ エヌカラ クス ネ ナ”
 ne wa an pe pirkano e=nukar kusu ne na”
 そうで ある もの よく (お前)見る のだ よ

それをよく見るのだ」

19 オカ アン oka an で「～が終わる」。オカケ アン okake an も同じ。

- セコロ アオナハ イェ ヒ クス
 sekor a=onaha ye hi kusu
 と (私の)父 言う ので
 と父が言うので
- 170 オラ イシムネ スイ キム タ アラパアン ヒネ
 ora isimne suy kim ta arpa=an hine
 こんど 翌日 また 山 へ 行く(私) して
 翌日また山に行つて
- ネ アタ ア チプ オカケ タ アラパアン イネ
 ne a=ta a cip okake ta arpa=an _hine
 その (私)つくる 舟 の跡 に 行く(私) して
 そのつくれた舟のところに行つて
- ネ シンリチヒ アプシパプシパ
 ne sinricihi a=puspapuspa
 その 根 (私)掘り起こす
 その根っこを掘り起こして
- ルウエ シンリツ ネ ヤ アネ シンリツ ネ ヤ
 ruwe sinrit ne ya ane sinrit ne ya
 太い 根 で も 細い 根 で も
 太い根っこも細い根っこも
- オピッタ アプシパプシパ ヒネ
 opitta a=puspapuspa hine
 みんな (私)掘り起こし て
 みんな掘り起こして
- 175 オラ アタ ア コツパ ネ ヤ ニ テケヘ ネ ヤ
 ora a=ta a koppa ne ya ni tekehe ne ya
 こんど (私)彫った 木っ端 で も 木 の枝 で も
 掘った木片でも枝でも
- オピッタ アウウエカリ²⁰ ワ オラ アウフイカ
 opitta a=uwekari wa ora a=uhuyka
 みんな (私)集め て こんど (私)燃やす
 みんな集めて燃やして
- アコムンコウフイカ ルウエ ネ ヒネ オラ
 a=komunkouhuyka ruwe ne hine ora
 (私)ごみと一緒に燃やす の だ そして こんど
 ごみと一緒に燃やしてしまいました。
- オカケ アニ オラ
 okake an_hi ora
 終わって から
 それが終わって
- ネア スプヤ ア… エ…
 nea supuya a... e...
 その 煙
 その煙を
- 180 シルワンテアン コロ アナン ルウエ ネ アクス
 siruwante=an kor an=an ruwe ne akusu
 あたりを見回す(私) ながら いる(私) こと だつ たところ
 見ていたところ
- ネア スプヤ
 nea supuya
 その 煙
 煙は

20 ウウエカリレ uwekarire 「～を集める」と言おうとしたか。

- ヘリカシ²¹ リキン ワ アラパ アイネ
 herikasi rikin wa arpa ayne
 上の方へ 上っ て 行く うちに
 上の方に昇って行って
- オラ リキン… スプヤ アトウイ カ ウン
 ora rikin... supuya atuy ka un
 こんど 上る 煙 海 の上 に
 昇った煙が海の方に
- ヘタパパ ワ アラパ シリ アヌカラ ヒ クス
 hetapapa wa arpa siri a=nukar hi kusu
 横になっ て 行く 様子 (私)見る ので
 流れて行くのを見ました。
- 185 オラ イワカン ヒネ
 ora iwak=an hine
 こんど 帰る(私) して
 そして家に帰って
- アイエ ルウエ ネ アクス
 a=ye ruwe ne akusu
 (私)言う こと だっ たところ
 そう言ったところ
- アオナハ エライキマテク コロ
 a=onaha eraykimatek kor
 (私の)父 ひどく驚き ながら
 父はひどく驚いて
- “ヤクン テ ワノ アナクネ
 “ yakun te wano anakne
 ならば これ から は
 「ならばこれからは
- イテキ²² レプン イラマンテ アナクネ
 iteki repun iramante anakne
 決して 沖 獵 は
 決して海漁に
- 190 エキ クス ネ ナ。
 e=ki kusu ne na.
 (お前)しない の だ ぞ
 行くのではない。
- イシトマアン ペ ネ ナ。
 isitoma=an pe ne na.
 恐ろしく思う(私) もの になる よ
 恐ろしいものだよ。
- レプン イラマンテ アナクネ
 repun iramante anakne
 沖 獵 は
 海獵は
- ソモ エキ プ ネ ナ”
 somo²³ e=ki p ne na”
 しない (お前)する の だ よ
 するのではないよ”
- セコロ アオナハ イエ ヒ オロワノ アナクネ
 sekor a=onaha ye hi orowano anakne
 と (私の)父 言う こと それから は
 と言いました。それから

21 ヘリカシ he-rik-asi (頭・高く・を立てる)で「上の方へ」。

22 その後に続く語や文章を禁止する副詞。

23 否定を表す副詞。動詞句の前に来ることもあるが、動詞句の後でカ ソモ キ ka somo ki (もしない)という形になることもある。

- 195 レプン イラマンテ カ アキ カ
 repun iramante ka a=ki ka
 沖 獺 も (私)し も 海獺をすることも
- ソモ キ ノ アナン ルウェ ネ ア プ
 somo ki no an=an ruwe ne a p
 しない で 暮らす(私) こと だった が なかったのですが
- オラノ アリキキアン ペ ネ クス
 orano arikiki=an pe ne kusu
 それから 精を出す(私) もの だ から 私は働き者なので
- キムン イラマンテ アナクネ
 kimun iramante anakne
 山 獺 は 山獺を
- アキ コロ アナン アイネ
 a=ki kor an=an ayne
 (私)し て いる(私) うちに しつつ暮らしました。
- 200 タネ トウノイワン パ シラン ヒ クス
 tane tunoiwan pa siran hi kusu
 もう 何 年 時がたつ ので もう何年も経ったので
- オラ レプン イラマンテ アキ ルスイ ヒ クス
 ora repun iramante a=ki rusuy hi kusu
 こんど 沖 獺 (私)し たい ので 海獺をしたくなりました。
- アオナハ エウン アイェ ヒ カ
 a=onaha eun a=ye hi ka
 (私の)父 へ (私)言う ことも 父に言う
- アイラミカラ²⁴ ヒ クス
 a=iramikar hi kusu
 (私)不愉快にさせる ので 心配をかけるので
- アオナ エウン アイェ カ ソモ キ ノ
 a=ona eun a=ye ka somoki no
 (私の)父 へ (私)言い も しない で 父には言わずに
- 205 アコタヌ ウン オツカイポ シネン
 a=kotanu un okaypo sinen
 (私の)村 の 若い男 ひとり 私の村の若い男をひとり
- アシレン ヒネ トウン アネ ヒネ
 a=siren hine tun a=ne hine
 (私)伴っ て ふたり (私)になっ て 連れてふたりで
- オラ レプンアン ルウェ ネ アクス
 ora repun=an ruwe ne akusu
 こんど 沖獺に行く(私) こと だっ たところ 沖に出ました。すると

24 イラムカラ i-ramkar (人・を不愉快にさせる(?)) [田] と。

- オラノ レプ タ パイエアン イ カ
 orano rep ta paye=an _hi ka
 それから 沖 に 行く(私) こと も
 沖に行っても
- ネプ カ アヌカラ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=nukar ka somoki no
 何 も (私)見 も しない で
 何かあやしいものを見ることもなく
- 210 オラノ ヒナクン レプンアン コロ
 orano hinak un repun=an kor
 それから どこか の 沖へ行く(私) して
 どこかの沖へ行って
- アラパアン アイネ ヒナク タ アラパアン ルウエ
 arpa=an ayne hinak ta arpa=an ruwe
 行く(私) やがて どこ に 行く(私) こと
 どこかへ行っても
- ネプ カ アヌカルミ カ イサム ノ
 nep ka a=nukar _humi ka isam no
 何 も (私)見る 感じ も ない で
 何を見ることもなく
- パイエアン ルウエ ネ ア プ
 paye=an ruwe ne a p
 行く(私) こと だった が
 進んで行ったのでした。
- トオプ レプ タ パイエアン アクス
 toop rep ta paye=an akusu
 ずっと 沖 に 行く(私) したところ
 ずっと遙か遠く沖の方に行ったところ
- 215 ソモ カ²⁵ エネ アン ペ アヌカラ クナク
 somo ka ene an pe a=nukar kunak
 まさか(否定) そのような もの (私)見る と
 まさかそのようなものを見るとは
- アラム ア プ
 a=ramu a p
 (私)思っ た のに
 思わなかったのに
- ヘマンタ チプ トウママ ネノ カネ アン
 hemanta cip tumama neno kane an
 何か 舟 の胴体 のような
 何か舟の胴体のような
- ヘマンタ ネットパケ シリウコチャヤイケ ヘネ
 hemanta netopake sir'ukocayayke hene
 何か の胴体 たくさんとげが出ている でも
 何かの胴体にひどくたくさんとげが出た
- キ ペコロ アン ヘマンタ
 ki pekor an hemanta
 する よう な 何か
 かのような何か
- 220 アトウイ オツ タ シプシテツテク ヒネ
 atuy or_ ta sipustettek hine
 海 の所 に 浮かび上がっ て
 海から浮かび上がって来ました。

25 ソモ カ ~ クナク アラムアプ somo ka...kunak (kuni) a=ramu a p 「まさか~とは思わなかったが」という常套表現。

シク パルルケ ネ ヤツカ
sik parurke ne yakka
目 のはし で も

目のはしであっても

パラ ピシカン ネ ヤツカ フレ サランペ
par piskan ne yakka hure saranpe
口 のまわり で も 赤い 布

口のまわりであっても赤い布を

アコトウツカ アペコロ アン カムナシ
a=kotukka apekor an kamnasi
(人)つける かのよう な 化け物

つけたかのような化け物が

シプシテツテク ヒネ
sipustettek hine
浮かび上がっ て

浮かび上がって来て

225 オラノ イヘコテ イケサンパ クス ネ…
orano i=hekote i=kesanpa kusu ne…
こんど (私)のほうへ (私を)追いかける つもり だ

私を追いかけて来ました。

オラノ チブ アコシプシテツテク ヒネ
orano cip a=kosipustettek hine
それから 舟 (私)浮かび上がっ て

私に向かって浮かびあがって来て

オラノ キラアン シリ エネ アニ。
orano kira=an siri ene an _hi.
それから 逃げる(私) 様子 こうである

逃げたときの様子はこんなふうでした。

イオシ… イケサンパ ヒネ タネ タネ
i=os... i=kesanpa hine tane tane
(私)の後 (私を)追いかけて 今にも

私を追いかけて来てもう今にも

イオシコニ アンキ アンキ イキ ヒ タ
i=oskoni anki anki iki hi ta
(私に)追いつき そうに なる ときに

私に追いつきそうになったことに

230 キマテカン ヒ クス オラ
kimatek=an hi kusu ora
驚く(私) ので こんど

驚いて

カムイ シセレマクシテアン ヒ
kamuy sisermakuste=an hi
神 自分の背後で守る(私) こと

神が私の背後で守ってくれるように

アツ コロ カムイ²⁶ アシパウエテンケ²⁷ ヒネ
at kor kamuy a=sipawetenke hine
タコ の 神 (私)頼ん で

タコの神に頼んで

“タネ アラウエンカムイ イケサンパ ワ
“tane arwenkamuy i=kesanpa wa
今 とても悪い神 (私を)追いかけて

「今悪い神が私を追いかけて来て

26 [集大成]に収録されている話ではアッコロカムイ at-kor-kamuy (綱・をもつ・神)で「タコの神」としている。

27 シパウエテンケ si-pawetenke (自分・に指図する)は1項動詞なのでシパウエテンケアン sipawetenke=anとなるべきところだが、ア a= がついている。

- エネ イキアニ カ イサム クス
ene iki=an _hi ka isam kusu
どう する(私) 方法 も ない ので
どうしていいのかわからないのです。
- 235 アツ コロ カムイ イエランポキウエン ワ
at kor kamuy i=erampokiwen wa
タコ の 神 (私に)同情し て
タコの神よ、私を憐れんで
- イカオパシ ワ イコレ ヤク ピリカ”
ikaopas wa i=kore yak pirka”
かけつけ て (私に)くれ たら いい
私を助けに来てください」
- セコロ アン ペ アイェ コロ
sekor an pe a=ye kor
と いう こと (私)言う ながら
と言いながら
- ネア アツ コロ カムイ アシパウエテンケ コロ
nea at kor kamuy a=sipawetenke kor
その タコ の 神 (私)頼み ながら
タコの神に助けを求めて
- オカアン ラポツケ
oka=an rapokke
いる(私) そのうちに
いると
- 240 ネ アツ コロ カムイ
ne at kor kamuy
その タコ の 神
そのタコの神が
- イカオパシ ワ ネ ノイネ
ikaopas wa ne noyne
かけつけ て である ようで
私を助けに来てくれたようで
- シウニン イメル クシ ヒ クス
siwnin imeru kus hi kusu
青い 稲妻 を通す だから
青い稲妻がさしたので
- ネ シウニン イメル ウトウルフ
ne siwnin imeru uturuhu
その 青い 稲妻 の間に
その青い稲妻の間に
- チプ アクシテ ヒネ キラアン。
cip a=kuste hine kira=an.
舟 (私)通し て 逃げる(私)
舟を通して逃げました。
- 245 ラポツケ ネ ウエンカムイ
rapokke ne wenkamuy
そのうちに その 悪い神
そのうちにその悪神に
- アツ コロ カムイ ネン カ カラ ワ ネ ヤ
at kor kamuy nen ka kar wa ne ya
タコ の 神 何 か し て だ か
タコの神が何かをしたのか

チウリキシプニプニ²⁸ ったべか

ciwrikisipunipuni

流れが高いところに自分を持ち上げる

流れに乗って押し上げられ

コロ ネ ヤッカ キラアン ヒネ アラキアン

kor ne yakka kira=an hine arki=an

ながら で も 逃げる(私) して 来る(私)

ながら逃げて

ルウエ ネ ア プ… アラキアン ヒネ

ruwe ne a p... arki=an hine

こと だった が 来る(私) して

来て

250 ラポッケ スイ イオカケ ネ ヤ

rapokke suy i=okake ne ya

そのうちに また (私の)後 で も

そのうちにまた私の後ろに

ウエンカムイ スイ シプシテツテク ヒネ

wenkamuy suy sipustettek hine

悪い神 また 浮かび上がった て

悪い神がまた浮かび上がって

オラノ スイ イケサンパ。

orano suy i=kesanpa.

こんど また (私に)追いかける

私を追いかけて来ました。

タネ ヤイウエンヌカラアン ペ ネ クス

tane yaywennukar=an pe ne kusu

もう 苦しむ(私) もの だ から

もう今は苦しくて

オラ スイ カムイ イシセレマクシテアン²⁹

ora suy kamuy i=sisermakuste=an

こんど また 神 (私の)背後で守る

また神に私の背後から守って

255 クニ アイェ コロ

kuni a=ye kor

ように (私)言いながら

くれるように頼みながら

“カンペ³⁰ コロ カムイ カムイ ラメトク

“kampe kor kamuy kamuy rametok

海波 の 神 神 勇者

「海波の神の勇者よ。

イカオパシ ワ イコレ ヤク ピリカ。

ikaopas wa i=kore yak pirka.

かけつけ て (私に)くれる と いい

私を助けに来てください。

ウエンカムイ イケサンパ ワ

wenkamuy i=kesanpa wa

悪い神 (私を)追いかけて

悪神が私を追いかけて来て

タネ アナクネ エネ イキアニ カ イサム。

tane anakne ene iki=an _hi ka isam.

今 は どう する(私) こと も ない

今はもうどうしようもないのです。

28 チウリキシプニプニ ciw-riki-si-punipuni (流れ・高いところ・自分・を持ち上げる) か。

29 上田トシさんはイ…アン i=…an という人称接辞を使うことがある。

30 カンペ kampe 海づら、海波 [久373]。ちなみに『ウウエベケレ集大成』ではここはタミペクル カムイ ラメトク (シャチ神の勇者) となっている。

- 260 ヤイウエンヌカラン ルウエ ネ ナ”
yaywennukar=an ruwe ne na”
苦しむ(私) の だ よ
苦しんでいるのですよ」
- セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) ながら
と言いながら
- ネ カンペ コロ カムイ カムイ ラメトク
ne kampe kor kamuy kamuy rametok
その 海波 の 神 神の 勇者
その海波の神、神の勇者
- エウン イノンノイタケアン コロ
eun inonnoitak=an kor
に 祈る(私) ながら
に祈って
- オカアン… アン アイネ
oka=an... an ayne
いる(私) やがて
いると
- 265 ネア ウエンカムイ ネウン カ カムイ カラ ワ
nea wenkamuy neun ka kamuy kar wa
その 悪い神 どこへ か 神 を作って
その悪神に何かの神が何かをした
- ネ ノイネ ライ ワ アラパ フム
ne noyne ray wa arpa hum
である ようで 死ん で 行く 音
ようで(悪神が)死んでいく音が
- シルクムラクムラ フム アシ
sirkumrakumra hum as
ごうごうと 音 がする
ごうごうと響きました。
- オラノ イキロク アン アイネ
orano ikirok an ayne
こんど そうするもの ある したあげく
そうしているうちに
- ネ アコタヌ コパッケ ウン
ne a=kotanu kopakke un
その(私の)村 の方 へ
私の村の方に
- 270 アラキアン ルウエ エネ アニ。
arki=an ruwe ene an _hi.
行く(私) こと こうだった
たどりついたのでした。
- アコタヌ タ… カランケ
a=kotanu ta... karanke
(私の)村 の 近く
私の村の近くに
- アラキアン ルウエ ネ アクス
arki=an ruwe ne akusu
来る(私) こと だっ たところ
来たところ
- インネ ウタラ アトウイ ヘ…
inne utar atuy he…
大勢の 人たち 海 か
たくさんの人が海か…

ペトツ タ オカ イネ
pet or_ ta oka _hine
川 の所 に い て

川にいて

275 オンネクル ネ ヤ ペウレクル ネ ヤ
onnekur ne ya pewrekur ne ya
老人 で も 若者 で も

老人たちや若者たちや

インネ ウタラ オカ ヒ クス
inne utar oka hi kusu
大勢の 人たち いる ので

たくさんの人がいて

“ペウレ ウタラ アナクネ マク オシライエ ヤン
“pewre utar anakne mak osiraye yan
若い 人たち は 後ろ側 にさがり なさい

「若者たちはさがりなさい。

オンネクル パテク サオシライエ³¹ ワ
onnekur patek saosiraye wa
老人 だけ 前側に来 て

老人たちだけ前に来て

イコレ ヤン”
i=kore yan”
(私に)くだ さい

ください」

280 セコロ シエトクン
sekor sietok un
と 私の前 に

と言いました。

ハウシクルカオツテアン³² ルウエ ネ アクス
hawsikurkaotte=an ruwe ne akusu
声が自分の上でした(私) こと だっ たところ

私の上で声がしたところ

オンネクル ウタラ エムシ コロ カネ オカ ヘネ
onnekur utar emus kor kane oka hene
老人 たち 太刀 を持っ て いる でも

老人たちが太刀を持つなどして

ペツ サム タ エムシ アニ
pet sam ta emus ani
川 のそば で 太刀 で

川のほとりに、太刀で

ニウエンホリッパ³³ コロ オカ ヒ
niwenhorippapa kor oka hi
凶事の際の踏舞をし て いる こと

凶事の際の踏舞をしているのを

285 アヌカラ コロ
a=nukar kor
(私)見 ながら

見ました。

ネ ペタル タ ヤナン ア ヒ ネ ヤ
ne petaru ta yan=ana hi ne ya
その 水汲み場 に 上陸した(私) こと で も

その水汲み場に上陸したのか

31 オシライエ o-si-raye (そこに・自分・を移動させる)は、その直前の位置名詞によって訳が変わる。

32 ハウシクルカオツテ haw-si-kurka-otte (声・自分・の上・につける)で「声が自分の上でした」。

33 ニウエンホリッパ niwenhorippa は、何か災いがあったときに人々が列になり足を踏み鳴らしながらおこなう儀式のこと。その際成人男性は太刀を持ち、何度も前へ突き出す所作をする。

マク ネ アイェ フミ ネ ヤ
 mak ne a=ye humi ne ya
 どのように (私)言う 感じ だ か

人が何と言ったのか

アエランペウテク コロ オロワノ
 a=erampewtek kor orowano
 (私)わからない ながら それから

わからずにいました。そして

ネン イキアン アン フミ ネ ヤ
 nen iki=an an humi ne ya
 何 する(私) ある 感じ だ か

どうしたのか

290 アエランペウテク コロ アナン アイネ
 a=erampewtek kor an=an ayne
 (私)わからなく て いる(私) うちに

何もわからなくなりました。

シネ チュプ ヘ トウ チュプ ヘ
 sine cup he tu cup he
 1 月 か 2 月 か

そうしていて、ひと月かふた月か

ネノ ライ ヘ ネ ヤ シクヌアン フミ ネ ヤ
 neno ray he ne ya siknu=an humi ne ya
 同じように 死ぬ か だ とか 生きる(私) 感じ だ とか

死んでいるのか生きているのか

アエランペウテク ノ アナン アイネ
 a=erampewtek no an=an ayne
 (私)わからない で いる(私) うちに

わからないでいて

シクマカカアン ヒネ インカラン ルウエ ネ ヒネ
 sikmakaka=an hine inkar=an ruwe ne hine
 目を開ける(私) して 見る(私) こと であって 目を開けて見ると

295 アオナハ アウヌフ イカオイキ コロ オカ。
 a=onaha a=unuhu i=kaoyki kor oka.
 (私の)父 (私の)母 (私を)看病し て いる

父や母が私の看病をしていました。

アウニ タ
 a=uni ta
 (私の)家 に

私の家に

オンネクル ウムレク ウタラ ネ ヤ オカ ヒネ
 onnekur umurek utar ne ya oka hine
 老人 夫婦 たち だ とかい て

老人たちがいて

イカオイキ コロ オカ ルウエ
 ikaoyki kor oka ruwe
 看病し て いる こと

私を看病している

エウン アヌカラ ルウエ ネ アクス
 eun a=nukar ruwe ne akusu
 そこへ (私)見る こと だっ たところ

のを見たのでした。

300 オラ アネトパケヘ カ
 ora a=netopakehe ka
 こんど (私の)体 も

私の身体は

エネ アイェ ヒ カ イサム ノ
ene a=ye hi ka isam no
どう (私)言う ことも しない で

何ともいいようもない

アオトピヒ カ イサム アラルフ ネ ヤツカ
a=otopihi ka isam a=raruhu ne yakka
(私の)髪 も ない (私の)眉毛 で も

髪もなく、眉毛も

アレキヒ ネ ヤツカ オピッタ イサム
a=rekihi ne yakka opitta isam
(私の)ひげ で も みんな ない

ひげも全部なくなっている

ウシケ ヤイエシカルンカアン イケ カ
uske yayasikarunka=an _hike ka
ところ 気がつかせる(私) しても

ところに気がついたのですが

305 オラ ヤイモイモイエアン カ エアイカブ ノ
ora yaymoymoye=an ka eaykap no
こんど 自分で動く(私) も できない で

動くこともできませんでした。

アミム³⁴ トウム ネ ヤツカ
a=mim tum ne yakka
(私の)肉 の中 で も

私の肉であっても

フポ ヘ キ ルウエ ネ ヤ
hupo he ki ruwe ne ya
腫れ物 でも できた の だ とか

できものができているのか

ムニン フポ ウシケ オポキン ムニン ネ ヤ
munin hupo uske opokin munin ne ya
腐る 腫れ物 できた所 次々に 腐る だ とか

腐ったできものが次々に腐って

ムニン ウシ カ
munin usi ka
腐った ところ も

腐ったところが

310 トウイ ネ ヤ キ コロ アナン ウシケ タ
tuy ne ya ki kor an=an uske ta
切れる だ とか して いる(私) ところ に

切れたりしているところで

ヤイエシカルカアニケ カ
yayasikaruka=an _hike ka
気がつかせる(私) しても

気がついたのですが

エネ イキアナン³⁵ ヒ カ
ene iki=an an hi ka
どう する(私) ことも

一体どうしたのか

アエランペウテク ノ アナン アイネ
a=erampewtek no an=an ayne
(私)わからない で いる(私) うちに

わからないでいました。

34 アミミ a=mimi(hi) と言おうとしたのではないか。

35 ここにアン an がある意味は不明。

- アオナ アコタヌ ウン ウタラ
a=ona a=kotanu un utar
(私の)父 (私の)村 の 人たちが
- 315 アエプ ルラパ ワ アラキパ コロ
aep rurapa wa arkipa kor
食べ物 を運ん で 来る と
- アオナ ウタラ スパ ワ イパロオツテ ネ ヤ
a=ona utar supa wa i=parootte ne ya
(私の)父 たち 料理し て (私の)口に入れる などして
- イカオイキ オンネ ウタラ キ コロ
ikaoyki onne utar ki kor
看病する 年寄り たち し て
- オカ ロク³⁶ イネ
oka rok _hine
いる 以前に して
- イネヘンパク パ カ
inehenpak pa ka
何 年 か
- 320 ネノ アナナイネ オラ イキアン アイネ
nenno an=an ayne ora iki=an ayne
同様に いる(私) うちに こんど する(私) うちに
- ヤイモイモイエエアシカイアン ラポッケ アナクネ
yaymoymoye'easkay=an rapokke anakne
自分で動くことができる(私) そのうち に
- アオナ ウタラ カ オピッタ オンネ ワ イサム オカ タ
a=ona utar ka opitta onne wa isam oka ta
(私の)父 たち も みんな 死ん で しまった 後 で
- ヤイモイモイエエアシカイアン ルウエ ネ コロカ
yaymoymoye'easkay=an ruwe ne korka
自分で動くことができる(私) こと だ けれど
- アカトウフ アナクネ アイヌ ネ
a=katuhu anakne aynu ne
(私の)姿 は 人間 である
- 325 アヌカラ ルウエ カ ソモ ネ。
a=nukar ruwe ka somo ne.
(私)見る こと も しない
- ネプ カ カムナシ³⁷ カツ ネノ アナン。
nep ka kamnasi kat nenno an=an.
何 かの 妖怪 姿 のように いる(私)

36 この rok は過去完了の助動詞 a の複数形。オカ ロク アイネ oka rok ayne (暮らし続けたあげく～した) というような場合に使う。ここでは、父や村の年寄りたちが何年か継続して看病し続けた結果、動けるようになった、という過去に継続して行われたことに視点を置いてロク rok を用いている。

37 カミアシ kamiyasi ともいうが、トシ氏はカムナシ kamnasi をよく使う。

アオトピ カ イサム アラルフ カ イサム。
a=otopi ka isam a=raruhuka isam.
 (私の)髪 も ない (私の)眉毛 も ない

私は髪もなく眉毛もありませんでした。

ネプ カ アレキヒ ポカ イサム ペ ネ クス
nep ka a=rekihi poka isam pe ne kusu
 何 も (私の)ひげ さえ ない もの だ から

髭さえもないので

フレ カポチャ³⁸ フレ サパ
hure kapoca hure sapa
 赤い カポチャ 赤い 頭

赤いカポチャ、赤い頭（と呼ばれるもの）が

330 アネ ヒネ アナン ペ ネ クス
a=ne hine an=an pe ne kusu
 (私)である して いる(私) もの だ から

私でした。なので

アイヌ ネ アナン ルウエ ネ ヤ
aynu ne an=an ruwe ne ya
 人間 で ある(私) の だ か

人間なのか何なのか

カムナシ ネ アナン ルウエ ネ ヤ
kamnasi ne an=an ruwe ne ya
 妖怪 で ある(私) の だ か

化け物なのか

アエランペウテク コロ アナナイネ
a=erampewtek kor an=an ayne
 (私)わからない で いる(私) うちに

わからない姿でいました。

ラポッケ オラ シネ アイヌ オラ イソイタク。
rapokke ora sine aynu ora isoytak.
 そのうちに こんど ある 人間 こんど 物語る

(ここからは) ひとりの人間が物語ります。

(ひとりの男性が物語る)

335 マク ネ ヒネ アプカシ アイヌ オルシペ
mak ne hine apkas aynu oruspe
 どう であって 歩く 人間の 話

[一体どうして通りかかった人間の話

ネ ヤ ケランペウテク コロカ³⁹
ne ya k=erampewtek korka
 だ か (私)わからない けれど

になるのかわからないけれど]

アプカサン ルウエ ネ アクス
apkas=an ruwe ne akusu
 歩く(私) こと だっ たところ

通りかかると

カムナシ カツ ネノ カネ アイヌ アヌカラ
kamnasi kat neno kane aynu a=nukar
 妖怪の 姿 のよう な 人間 (私)見る

化け物のような人間を見ました。

38 日本語「かぼちゃ」からの移入語。

39 マク ネ……コロカ mak ne...korka の部分は、上田氏による直前の語句に対する説明。この部分は日常会話の人称接辞ク ku=(私は)を使っている。

- オラ シクプイエ アヌカラ コロ
 ora sikpuye a=nukar kor
 こんど 目の穴 (私)見る と
 目を見ると
- 340 ニシパ シクプイエ コロ ペ ネ
 nispa sikpuye kor pe ne
 長者の 目の穴 を持つ もの である
 立派な長者の目をしていて
- オラ カトウフ アナクネ ネイ アコサマ⁽⁴⁰⁾ プ カ
 ora katuhu anakne ney a=kosama p ka
 こんど 姿 は どこ (私)比べる もの も
 姿はどこにも比較する者も
- エランペウテク ノ アン。
 erampewtek no an.
 わからない で いる
 いないような姿でした。
- アイヌ ヘ ヘマンタ アヌカラ ワ
 aynu he hemanta a=nukar wa
 人間 か 何か (私)見 て
 人間なのか何なのか、見ると
- イヨクンヌレアン ペ ネ ワ
 iyokunnure=an pe ne wa
 驚きあきれる(私) もの であって
 気の毒でした。
- 345 マク ネ ワ エネ アン ルウエ ネ ヤ
 mak ne wa ene an ruwe ne ya
 どう して こう いう こと だ か
 一体どうしてそのような姿なのか
- アコウウエペケンヌ アクス
 a=kouwepekennu akusu
 (私)尋ね たところ
 私が尋ねると
- “ タプネ カネ アツパケ タ アナクネ
 “ tapne kane atpake ta anakne
 このように 最初 に は
 「このようなわけでことの発端は
- アユシニ チプ アカラ ワ… ア プ
 ayusni cip a=kar wa... a p
 ハリギリの 舟 (私)つくって だった が
 ハリギリの丸木舟をつくったのですが
- オラ パセ ヒ アエイワンケ カ
 ora pase hi a=eywanke ka
 こんど 重い こと (私)使い も
 重いので使わずに
- 350 ソモ キ ノ ランコ チプ パテク
 somo ki no ranko cip patek
 しない で カツラの 舟 ばかり
 カツラの舟ばかりを
- アエイワンケ ヒネ ネ ワ アン ペ
 a=eywanke hine ne wa an pe
 (私)使っ て そうで ある もの
 使っていました。それに

40 コサマ(真似る、そっくり、同じような、比べる、比較する)[萱]。ko-sama(共に真似る、それに対して表現する)[久453]。

ウェン サンペ コロ ワ ウコテレケパ シリ カ
 wen sampe kor wa ukoterkepa siri ka
 悪い 心 を持つ て 互いに跳ねる 様子 も

悪い心を抱いて跳ね上がる様子を

アヌカラ カ キ ア プ
 a=nukar ka ki a p
 (私)見 も し た が

見たりもしたのです。

オラ ネ アユシニ チプ
 ora ne ayusni cip
 こんど その ハリギリの 舟

そのハリギリの舟が

355 ウェン ケウトウム コロ ペ ネ アアン ヒネ
 wen kewtum kor pe ne aan hine
 悪い 心 を持つ もの だっ たのであっ て

悪い心を持つ者であったのです。

ネ ワ アン ペ クス
 ne wa an pe kusu
 そう で ある もの だから

そのために

エネ アカトウフ アナン ルウェ ネ クス
 ene a=katuhu an=an ruwe ne kusu
 こんな (私の)姿 になる(私) こと だ から

このような姿になったのです。だから

エイタサ テワノ オカ ウタラ アナクネ
 eytasa tewano oka utar anakne
 あまり これから 暮らす 人た ちは

あまりこれからの人たちは

アユシニ チプ カラパ ソモ キ ヤク ピリカ ナ”
 ayusni cip karpa somoki yak pirka na”
 ハリギリの 舟 をつくら ない と いい よ

ハリギリの舟をつくらないほうがいいですよ」

360 セコロ シネ アイヌ イソイタク
 sekor sine aynu isoytak
 と ある 人間 物語る

と、ひとりの男性が物語りました

セコン ネ。
 sekor_ ne.
 と さ

とさ。

第6話 散文の物語

河童神の恋

収録日：1996年9月28日

資料番号：35232B

添付 CD：4-2（7分32秒）

第6話 散文の物語「河童神の恋」¹⁾

(どこかの男が語る)

シネ マツネポ アコロ
sine matnepo a=kor
一人 娘 (私)持つ

私はひとり娘を持ち

シネ アマチ アン ヒネ
sine a=maci an hine
一人 (私の)妻 い て

妻を持って

オカアン ペ ネ イケ
oka=an pe ne _hike
暮らす(私) もの である したが

暮らしていました。

ユプテクン ペ ネ クス
yuptek=an pe ne kusu
働き者である(私) もの だ から

私は働き者なので

5 ネプ カ アエシリキラプ カ
nep ka a=esirkirap ka
何 も (私)苦労する も

何も苦労することなく

ソモ キ ノ オカアン。
somo ki no oka=an.
しない で 暮らす(私)

暮らしていました。

アマチヒ ネ ヤッカ
a=macihi ne yakka
(私の)妻 で も

妻も

ネプ ネ ヤッカ エアシカイ ワ
nep ne yakka easkay wa
何 で も 上手 で

何でも上手で

シリキラプ アナクネ サクノ オカアン
sirkirap anakne sakno oka=an
苦労 は なく 暮らす(私)

苦労することなく暮らしていました。

10 オラ シネ マツネポ アコロ ペ ネ クス
ora sine matnepo a=kor pe ne kusu
こんど ひとり 娘 (私)持つ もの だ から

ひとり娘がいたので

ネア マツネポ ネ ヤッカ アエヤム クス
nea matnepo ne yakka a=eyam kusu
その 娘 で も (私)大切にする ので

その娘を大切に

エイタサ アネプキレ カ ソモ キ ノ
eytasa a=nepkire ka somo ki no
あまり (私)働かせる も しない で

あまり働かせることもなく

1 この話は 1996年9月28日アイヌ民族博物館主催のアイヌ文化教室「口承文芸の夕べ」で採録されたもの。解説者は本田優子氏。
この話の伝承経路については特にコメントがない。

オカアン ペ ネ ア プ
 oka=an pe ne a p
 暮らす(私) もの だった が

暮らしていたのでした。

シネ アン タ エソイネ フマシ クス
 sine an ta esoyne humas kusu
 あるとき 外で 音がする ので

あるとき外で音がするので

15 …ヤク イエ コロ ソイエネ アクス
 …yak ye kor soyene akusu
 と 言い ながら 外に出 たところ

娘が外に出たところ

“ソイ タ アエラミシカリ オッカヨ
 “soy ta a=eramiskari okkayo
 外 に (私)見たことがない 男性

「外に見たこともない男性が

アン ルウエ ネ”
 an ruwe ne”
 いる こと である

いるのですよ」

セコロ ハウエアン イ クス
 sekor hawean _hi kusu
 と 言う ので

と言うので

“アフンケ ヤク ピリカ”
 “ahunke yak pirika”
 入れる と いい

「入れてあげたらいい」

20 セコロ アイエ ワ
 sekor a=ye wa
 と (私)言う して

と言いました。

アフン ルウエ ネ ア プ…ワ
 ahun ruwe ne a p wa
 入る こと だった が して

家に入ると

オラ イエランカラプ カ キ
 ora i=erankarap ka ki
 こんど (私に)挨拶する も をする

私に挨拶をし

アエランカラプ カ キ コロ
 a=erankarap ka ki kor
 (私)挨拶する も し て

互いに挨拶を交わして

オカアン ラポッケ オラ
 oka=an rapokke ora
 暮らす(私) そのうちに こんど

から

25 “レウシアン ルスイ”
 “rewsi=an rusuy”
 泊る(私) したい

「泊めてください」

セコン ネ ヒ クス
 sekor_ ne hi kusu
 と 言う ので

と言うので

“レウシ ヤッカ ピリカ”

“rewsi yakka pirka”

泊っ ても いい

「泊まっていくといい」

セコロ アイェ コロ アナン ア プ

sekor a=ye kor an=an a p

と (私)言っ て いる(私) した が

と言ったのでした。

オラ レウシ ア プ

ora rewsī a p

こんど 泊っ た が

泊まって

30 オラ イシムネ ネン² カ アラパ カ ソモ キ ノ

ora isimne nen ka arpa ka somo ki no

こんど 翌日 どこ も 行く も しない で

翌日どこかに行く様子もなく

オラ エキムネ ヤイエトコイキ ワ エキムネ ア プ

ora ekimne yayetokoyki wa ekimne a p

こんど 山獵に行く 身支度をし て 山獵に行っ た が

山獵に行く準備をして出かけて行き

オラ オヌマン アクス

ora onuman akusu

こんど 夜になっ たところ

そして夜になると

ポロ シケ キ ワ イワク

poro sike ki wa iwak

大きい 荷物 を持って 帰る

大きな荷物を持って帰って来ました。

オラノ アナクネ

orano anakne

それから は

それから

35 ネウン カ アラパ カ ソモ キ ノ

neun ka arpa ka somo ki no

どこ も 行き も しない で

どこにも行かずに

ケシ ト アン コロ エキムネ コロ

kes to an kor ekimne kor

毎日 山獵に行っ て

毎日山獵に行って

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ エアウナルラ

yuk ne ciki kamuy ne ciki eawnarura

シカ で も クマ で も 家に運ぶ

シカやクマを捕って来ました。

カ タ エアラキンネ アラキキクル ネ ヒネ

ka ta earkinne arkikikur ne hine

上 に 本当に 頑張る人 であっ て

その上本当に働き者で

セ ワ イワク カム ネ ヤッカ キ コロ

se wa iwak kam ne yakka ki kor

背負って 帰る 肉 で も し ながら

背負って帰った肉であっても

2 ネウン neun (どこ) が短く発音された形。

- 40 ナニ サカンケ ネ ヤ サカンケ キ ワ
 nani sakanke ne ya sakanke ki wa
 すぐに ゆでて干す だ とか ゆで干し し て
 すぐに茹で干しなどにして
- サツサトウ サツ ペ オポキン
 satsatu sat pe opokin
 干物にする 干す もの 次々に
 干すものは次々に
- サキリ オロ エウシ ワ
 sakir or eus wa
 干し竿 に 刺し て
 干し竿に干して
- チセ コトロ ネ ヤ チセ パラカ³ ネ ヤ エウシ
 cise kotor ne ya cise parka ne ya eus
 家の 天井 だ とか 家の 天井 だ とか 刺す
 家の天井から干していました。
- イネアプ タ ヤイエサンニヨエアシカイ⁴ クル ネ ヤ
 ineap ta yayasanniyoeaskay kur ne ya
 なんとまあ 自分で配慮することができる 人 だ とか
 なんとまあ手際のいい人であることは
- 45 アエラミシカリ ノ
 a=eramiskari no
 (私)見たことがない で
 見たこともないくらいの
- ヤイコアリキキ
 yaykoarikiki
 ひとりで頑張る
 働き者でした。
- オラ ニナ… ニナ ワ
 ora nina... nina wa
 こんど 薪とりし て
 またまきをとって
- チセ オカリ ニイキリカラ⁵ ネ ヤ キ コロ アン
 cise okari niikirkar ne ya ki kor an
 家 のまわり 薪を積み上げる だ とか し て いる
 家のまわりに積み上げていました。
- オラ アリキキ プ ネ クス
 ora arikiki p ne kusu
 こんど 頑張る もの だ から
 働き者なので
- 50 イエイリパク イペアン カ アエラミシカリ
 i=eirpak ipe=an ka a=eramiskari
 (私)と一緒に 食事をする(私) も (私)知らない
 私と一緒に食事をしたこともなく
- クンネイワ カ トウナシノ ホプニ ワ イサム
 kunneywa ka tunasno hopuni wa isam
 朝 も 早くに 起き て いない
 朝早くに起きて出かけてしまい

3 チセ コトロ cise kotor とチセ パラカ cise parka はどちらも家の内側から見上げた天井付近のこと。

4 ヤイエサンニヨエアシカイ yay-e-sanniyo-easkay (自分・について・を配慮する・ができる)。

5 ニヒキリカラのように発音されている。ニイキリカラ ni-ikir-kar (木・集まり・作る)。冬に備えて家のまわりにまきの山を作り、いろりにまきをくべるときにあまり長い時間極寒の野外で作業しなくていいように効率的にまきを消費する積み方をしておく必要がある。本来女性がやるようなことも、働き者なので手際よくやったということだろう。

- オヌマン ネ ヤツカ
onuman ne yakka
夜 で も
- シリクンネ ヤツカ アフン カ ソモ キ ノ
sirkunne yakka ahun ka somo ki no
暗くなっ ても 家に入り も しない で
- ソイ ペカ ネプキ コロ アン
soy peka nepki kor an
外 で 働い て いる
- 55 ラポッケ ホシキ イペアン ワ
rapokke hoski ipe=an wa
そのうちに 先に 食事をする(私) して
- ホツケアン オカ タ アフン ランケ… ヒケ
hotke=an oka ta ahun ranke... hike
寝る(私) 後 で 家に入る (何度もする) したが
- オラノ エイタサ ヤイコアリキキ シリ
orano eytasa yaykoarikiki siri
こんど あまり 自分で頑張る 様子
- アヌカラ ヒ オラ エネ ヤイヌアニ。
a=nukar hi ora ene yaynu=an _hi.
(私)見る こと こんど こう 思う(私) こと
- “アマツネポ コン ルスイ ヘネ キ ワクス
“ a=matnepo kor_ rusuy hene ki wakusu
(私の)娘 を妻に持ち たい でも する から
- 60 エネ ヤイコアリキキ ヘネ キ シリ ネ ヤ”
ene yaykoarikiki hene ki siri ne ya”
こんな ひとりで頑張る でも する 様子 だ か
- セコロ ヤイヌアン コロ
sekor yaynu=an kor
と 思う(私) ながら
- トゥラノ アナン ルウェ ネ ア プ
turano an=an ruwe ne a p
一緒に 暮らす(私) こと だっ た が
- オラノ ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ クニネ
orano nep ka a=esirkirap ka somo ki kunine
それから 何 も (私)苦勞し も しない ように
- チクニ ヘネ アエプ ネ ヤツカ サツケ ネ ヤ
cikuni hene aep ne yakka satke ne ya
薪 でも 食べ物 で も 干す で も
- 65 ネン ネン イキ コロ オカアン ペ ネ ア プ
nen nen iki kor oka=an pe ne a p
いろ いろ し ながら 暮らす(私) もの だっ た が
- 夜であっても
- 暗くなっても家に入らずに
- 外で働いていました。
- 私が先に食事をして
- 寝ついた後でいつも家に帰って来るという
- あまりにも働く様子を
- 見てこう思いました。
- 「私の娘を妻にしたいから
- このように働いているのだろうか」
- と思いながら
- 一緒に暮らしていました。
- そして何も困ることがないように
- まきや食べ物であっても干して
- いろいろしながら暮らしていたのでした。

シネ クンネイワ ホプニアン アクス
sine kunneywa hopuni=an akusu
ある 朝 起きる(私) したところ

ある朝、

ホツケ ヒネ アン ヒネ
hotke hine an hine
寝 て い て

寝ていた

ホプニアン カ キ アクス
hopuni=an ka ki akusu
起きる(私) も し たところ

私が起きたところ

オラ イオシ ホプニ ヒネ
ora i=os hopuni hine
こんど (私の)後から 起き て

私の後から起きて来て

70 アマツネポ コイプニ ヒネ イペ カ キ…ア プ
a=matnepo koyupuni hine ipe ka ki... a p
(私の)娘 食事を出し て 食事 も し た が

娘が食事の用意をし、食事をしていました。

オラ イペ オカ アン アクス
ora ipe oka an akusu
こんど 食事 が終わっ たところ

そして食事が終わると

オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った

このように言いました。

"タン アコン ニシパ イタカン チキ
"tan a=kor_nispa itak=an ciki
これ (私の) 旦那さん 言う(私) したら

「旦那さん、私の言うことを

エイヌ カトウ エネ アニ。
e=inu katu ene an _hi.
(お前)聞く いきさつ こう いう こと

よく聞いてください。

75 アシヌマ アナクネ ネブ アイヌ カ ソモ ネ
asinuma anakne nep aynu ka somo ne
私 は 何 人間 でも ない

私は人間ではないのです。

ミントウチ トノ⁶ アネ ヒネ アナン ルウエ ネ ア プ
mintuci tono a=ne hine an=an ruwe ne a p
河童の 神 (私)であって いる(私) こと だった が

私は河童の神なのです。

カムイ オロ ウン インカラン コロ
kamuy or un inkar=an kor
神 の所 で 見る(私) と

神の国を見渡すと

アエヤイコトムカ メノコ カ イサム ノ
a=eyaykotomka menoko ka isam no
(私)ふさわしい 女性 も いない で

私にふさわしい女性がいなくて

6 ミントウチ mintuci は河童のことであるといわれ、上田トシ氏もそのように説明している。和ん文化の河童と共通するのは水に棲む妖怪であり、人間に対して悪さをする点がある点である。しかし中にはこの話のように神に近い存在として語られたものもある。この場合のトノ tono は神に対する尊称。

- アイヌ オルン インカラアン コロ
aynu or un inkar=an kor
人間 の所 で 見る(私) と
人間の世界を見ると
- 80 エマツネポ パク シレトク
e=matnepo pak siretok
(お前の)娘 ほど 美しい
あなたの娘さんの美しさ
- イサム シレトク ネ ヒ アエラマス ワクス
isam siretok ne hi a=erasasu wakusu
いない 美しい だ こと (私)好きになる ので
その美しさに心惹かれたので
- エカン ワ エチ…
ek=an wa eci…
来る(私) して (お前達)
やって来たのです。
- オンネ パクノ エチカシオイキアン⁷ ワ
onne pakno eci=kasioyki=an wa
老死する まで (お前達)養つ て
老死するまであなたたちを養って
- エチオンネ ワ イサム ヤク
eci=onne wa isam yak
(お前達)老死し て しまう すれば
老死したならば
- 85 オラ オカケ タ エマツネポ アトウラ ワ
ora okake ta e=matnepo a=tura wa
こんど その後 で (お前の)娘 (私)連れ て
その後あなたの娘を連れて
- カムイ オツ タ アラパアン ワ
kamuy or_ ta arpa=an wa
神 の所 に 行く(私) して
神の国に行って
- カムイ オツ タ ウコラム⁸ クナク
kamuy or_ ta ukoram kunak
神 の所 で 結婚する つもりだと
神の国で結婚しよう
- アラム コロ アナン ルウエ ネ ア プ
a=ramu kor an=an ruwe ne a p
(私)思っ て いる(私) こと だった が
思っていたのですが
- タン メノコ エチカシヌカラ⁹
tan menoko eci=kasnukar
この 娘 (お前達)を守る
この娘はあなたたちを守る
- 90 カムイ サシニ ネ アアン ヒネ
kamuy sasini ne aan hine
神 の子孫 だった して
神の子孫であったので
- ネ カムイ オナハ イコチャランケ
ne kamuy onaha i=kocaranke
その 神 の父 (私に)意見を
その神の父に意見をされました。

7 人称接辞が前後についているが、どうしてそうなっているのかは不明。

8 ウコラム ukoram で「結婚する」というのは辞書類には未見だが、ここでは文脈から判断した。あるいはウコロ ukor (結婚する)と言おうとしたものか。

9 chikashnukar 神に守護せられる [久 120] にエ e がついた形。この娘は河童の神が代々守護してきた家系の娘であったということ。

ケサンチカラ イコチャランケ ワ
 kes ancikar i=kocaranke wa
 毎 晩 (私に)意見をす して

毎晩意見をされて

エネ ネ ヒ カ タネ イサム。
 ene ne hi ka tane isam.
 どう する こと も 今 ない

今はもうどうしようもないのです。

アイヌ アナクネ
 'aynu anakne
 人間 は

『人間は

95 アイヌ オルン イオシッコテ プ ネ。
 aynu or un iosikkote p ne.
 人間 の所 で 人を好きになる もの だ

人間のところで恋をするものだ。

カムイ アナクネ カムイ オルン
 kamuy anakne kamuy or un
 神 は 神 の所 で

神は神のところで

イオシッコテ プ ネ ヒケ⁽¹⁰⁾
 iosikkote p ne hike
 人を好きになる もの な のに

恋をするものなのに

ヒンタ クス アイヌ オルン イオシッコテ ヒ クス
 hinta kusu aynu or un iosikkote hi kusu
 何の ために 人間 の所 で 人を好きになる のだ

一体どうして人間のところで恋愛をして

エネ エイキ コロ エアン
 ene e=iki kor e=an
 こう (お前)し て (お前)いる

このようなことをしているのだ。

100 ネイ パクノ エネ エイキ クニ エラム ヤク…
 ney pakno ene e=iki kuni e=ramu yak…
 いつ までも こう (お前)する と (お前)思う と

いつまでもそんなことをしていようと

クニ エラム ヤクン アナクネ
 kuni e=ramu yakun anakne
 と (お前)思う ならば

思うならば

アツテイネモシリ⁽¹¹⁾
 atteynemosir
 湿地の国

湿地の国に

オナ トウラノ アエシリコオテレケ クス ネ…
 ona turano a=esirkooterke kusu ne…
 父 と共に (人)踏み落とされ ようとしている

父と共に蹴落とされても

10 神と人間との間にはこのような倫理観があると考えられている。そこを踏み越えて恋愛をするのは道に外れているということで非難の対象になる。

11 地下にあるとされる魔物などが住むと湿地の国。死者の国とは別であり、道に外れることをした神や妖怪が罰として踏み落とされる場所。非常に居心地が悪いうえ、ここに落とされたものは二度とこの世に戻ることができないという最も重い罰を科されることになる。

- ネ ヤッカ ピリカ ヤクン
ne yakka pirka yakun
で も いい ならば
- 105 ネイ パクノ ネ ポン メノコ
ney pakno ne pon menoko
いつ までも その 若い 娘
- カトウ エカラ クス
katu e=kar kusu
(お前)好きになる ために
エネ エイキ クニ ネ ヤクン
ene e=iki kuni ne yakun
そう (お前)する つもり である ならば
- アシリコオテレケ クス ネ ナ
a=sirkooterke kusu ne na'
(私)ひどく踏み落とす つもり だ よ
- セコロ アン ペ ケサンチカラ
sekor an pe kes ancikar
と いう もの 毎 晩
- 110 アイコチャランケ アイネ
a=i=kocaranke ayne
(人が私に)意見をする うちに
- タネ エネ ネ ヒ カ イサム ワ
tane ene ne hi ka isam wa
もう どう する こと も なく て
- タネ シキルアン クス ネ コロカ
tane sikiru=an kusu ne korka
もう 向きを変える(私) つもり だ けれど
- シキルアン オカ タ
sikiru=an oka ta
向きを変える(私) の後 で
- ネプ カ タン コタン アナクネ
nep ka tan kotan anakne
何 も この 村 は
- 115 ネプ カ ウエン カ ソモ キ クス ネ コロカ
nep ka wen ka somo ki kusu ne korka
何 も 悪い も しない つもり だ けれど
- アラパアン エトコホ アナクネ
arpa=an etokoho anakne
行く(私) の先 は
- シピチャラ¹² ウン アラパアン クス ネ クス
sipicar un arpa=an kusu ne kusu
静内 に 行く(私) つもり だ から

いいと言うのか。

いつまでもその娘が

好きで

そのようなことをするつもりならば

湿地に蹴落としてやるぞ』

と毎晩私に

意見をきて来て

もうどうしようもないのです。

今はもうよそに向かうことにしましたが

私がよそに行った後で

この村には

何も悪いことは起きないけれど

私が行く先は

静内に行くつもりなので

12 静内の古名。「染退」と当て字される。

アラパアン エトコ タ ネ シピチャルン
 arpa=an etoko ta ne sipicar un
 行く(私) の先 に その 静内 の

行った先、静内での

ネプ カ パハウ アン ナンコン ナ”
 nep ka pahaw an nankor_ na”
 何 かの 噂 ある でしょう ね

何かの噂を聞くでしょう」

120 セコロ ハウエアン コロ アン ア プ
 sekor hawean kor an a p
 と 言っ て い た が
 オラ ヤイソユネレ ヒ
 ora yaysoyunere hi
 こんど 自分で外に出る こと

と言っていました。

そして自分から外に出て行きました。

オラ エネ アリキキ ワ トウラノ アナン フミ
 ora ene arikiki wa turano an=an humi
 こんど こう 頑張っ て 一緒に 暮らす(私) 感じ

あのように働き者と一緒に暮らしていて

ピリカ オツカヨ ネ ア プ
 pirka okkayo ne a p
 良い 男性 だっ た が

心地よい男性だったものを

セコロ アン ペ アナクネ
 sekor an pe anakne
 と いう もの は

と違って

125 ケウトウム オツ タ アケムヌ ネ ヤ キ コロカ
 kewtum or_ ta a=kemnu ne ya ki korka
 心 の中 で (私) 哀れむ で も する けれど

心の中ではかわいそうに思ったけれど

タネ エネ ネ ヒ カ イサム
 tane ene ne hi ka isam
 もう どう する ことも ない

もうどうしようもありませんでした。

ラポッケ ソイエネ ワ イサム ワ
 rapokke soyene wa isam wa
 そのうちに 外に出 て しまっ て

外に出て行って

ナニ アマツネポ ソイネ ア コロカ
 nani a=matnepo soyne a korka
 すぐ (私の) 娘 外に出 た けれど

すぐに娘が追いかけたのですが

… ネ ヤッカ ネ オロ オシマ ヘ カ
 ... ne yakka ne oro osma he ka
 で も どこに 行った か も

どこに行ったか

130 エランペウテク セコン ネ コロ
 erampewtek sekor_ ne kor
 をわからない と いう と

わからないといって

アフン ルウエ ネ ア コロカ
 ahun ruwe ne a korka
 家に入る こと だっ た けれど

帰って来ました。

アオカラモッテ

a=okaramotte

(私)名残惜しく思う

名残惜しく思って

エネ トウラノ アナン フミ ピリカ プ セコロ

ene turano an=an humi pirka p sekor

こう 一緒に 暮らす(私) 感じ 良い ものと

あのように一緒に暮らしていて心地がいい人と

ヤイヌアン ワ アオカラモッテ ア コロカ

yaynu=an wa a=okaramotte a korka

思う(私) して (私)名残惜しく思っ た けれど

思って名残惜しく思ったけれど

135 エネ ネ ヒ カ イサム。

ene ne hi ka isam.

どう する ことも ない

どうしようもありませんでした。

アイヌ ネ カ ソモ キ ノ

aynu ne ka somo ki no

人間 で も ない で

人間ではなく

ミントウチ ネ ヤク イエ プ

mintuci ne yak ye p

河童 だ と 言う もの

河童だというものを

エネ ネ ヒ カ イサン マ

ene ne hi ka isam _wa

どう する ことも なく て

どうしようもありません。

… コロ オカアン ラポッケ

... kor oka=an rapokke

して 暮らす(私) そのうちに

そうしているうちに

140 シピチャルン ネ ミントウチ アラパ ワ

sipicar un ne mintuci arpa wa

静内 に その 河童 行っ て

静内に河童が行って

コタン ウエンテ ヤク アイエ ヒ⁽¹³⁾ アヌ ワ

kotan wente yak a=ye hi a=nu wa

村 を荒らす と (人)言う こと (私)聞いて

村を荒らしたというのを聞いて

エアラキンネ ヤイケウエホムスアン ペ ネ ア クス

earkinne yaykewehomsu=an pe ne a kusu

本当に 自分の無事を喜ぶ(私) もの だっ た ので

本当に無事を喜んだので

アイエ セコロ

a=ye sekor

(私)言う と

お話ししますと

ヒナクン アイヌ イソイタク ハウエ ネ ヤ カ

hinak un aynu isoytak hawe ne ya ka

どこ の 人間 物語る 話 だ か も

どこかの男が物語りましたというのか

13 この話では主人公の家系を守護する神に近い存在として描かれている河童も、やはり本来は人間に災いをもたらす存在であるということらしい。この主人公の家でも両親の死後に娘の魂を取ろうとしていたというのだから悪事を働こうとしていたということだろう。

145 ケラミシカリ ルウエ ネ ワ。
k=eramiskari ruwe ne wa.
(私)わからない の です よ

私 (=話者) はわからないのですよ。

第7話 散文の物語

へび神のツノ

収録日：1996年9月28日

資料番号：35234B

添付CD：4-3（12分00秒）

第7話 散文の物語「ヘビ神のツノ」⁽¹⁾

(オサツナイの男が語る)

オサツナイ⁽²⁾ ウン アイヌ アネ ヒネ
 Osatnay un aynu a=ne hine
 長知内 の 人間 (私)であって

オサツナイに住む男が

アナン ペ ネ ヒケ
 an=an pe ne hike
 いる(私) もの だっ が

私でした。

インネ コタン アン ワ
 inne kotan an wa
 大勢の 村 ある して

大きな村があり

オロ タ イヨロタン ペ ネ コロカ
 oro ta iyorot=an pe ne korka
 そこ に 仲間入りする(私) もの だ けれど

その村で暮らしていたのですが

5 ウェンクル⁽³⁾ アネ ワ アイヌ…
 wenkur a=ne wa aynu…
 貧乏人 (私)であって 人間

私は貧乏人で

コタン オツ タ イヨロタン カ
 kotan or_ ta iyorot=an ka
 村 の所 に 仲間入りする(私) も

村の一員でいることは

ヤイシトマ ヒ クス
 yaysitoma hi kusu
 恥ずかしい ので

恥ずかしいので

オラ コタン カットウイマノ
 ora kotan kattuymano
 こんど 村 から離れている

村はずれに

ポン チセ アカラ ワ
 pon cise a=kar wa
 小さい 家 (私)作る して

小さい家を建てて

10 オロ タ アナン ワ
 oro ta an=an wa
 そこ で 暮らす(私) して

そこで暮らしていました。

エキムネアン ヤツカ
 ekimne=an yakka
 山猟に行く(私) しても

山猟に行っても

-
- 1 この話は1996年9月28日アイヌ民族博物館主催のアイヌ文化教室「口承文芸の夕べ」で採録されたもの。解説は本田優子氏。上田トシさんはこの話を沙流地方の伝承者西島てる氏から聞いたとコメントしている。
- 2 沙流川流域に実際にある地名「長知内」であると上田トシさんは説明している。意味はオサツナイ o-sat-nay (川尻が・乾いた・川)。
- 3 「悪い人」と訳せる場合もあるが、この場合は「貧乏人」である。

シネ ポン チェツポ ポカ シネ イセポ ポカ
sine pon ceppo poka sine isepo poka
1 小さい 小魚 さえ 1 ウサギ さえ

一尾の小魚も一羽のウサギも

アエオムケン ワ
a=eomuken wa
(私)とれない して

とることができなくて

エアラキンネ ヤイシトマアン。
earkinne yaysitoma=an.
本当に 恥ずかしい(私)

とても恥ずかしく思っていました。

15 コタン オツ タ イヨロタン カ
kotan or_ ta iyorot=an ka
村 の所 に 仲間入りする(私) も

村の一員であることも

ヤイシトマ ヒ クス
yaysitoma hi kusu
恥ずかしい ので

恥ずかしいので

オラ ヤイキレノ コタン カットウイマノ
ora yaykireno kotan kattuymano
こんど ひとりで 村 から離れて

ひとりで村はずれに

チセカラン ヒネ
cisekar=an hine
家をつくる(私) して

家をつくって

オロ タ アナン ワ
oro ta an=an wa
そこ で 暮らす(私) して

そこで暮らしていました。

20 オラノ エキムネアニケ カ
orano ekimne=an _hike ka
それから 山獵に行く(私) しても

山獵に行っても

ウエンクル アネ ワ
wenkur a=ne wa
貧乏人 (私)である して

私は貧乏人で

ネプ カ アエオムケン ワ
nep ka a=eomuken wa
何 も (私)とれない して

何もとることができず

エアラキンネ ヤイシトマアン コロ
earkinne yaysitoma=an kor
本当に 恥ずかしい(私) ながら

本当に恥ずかしく思って

アナン ヒケ カ
an=an hike ka
暮らす(私) しても

暮らしていたのですが

25 エネ ネ ヒ カ イサム ペ ネ クス
ene ne hi ka isam pe ne kusu
どう する 仕方 も ない ものだ から

どうしようもないので

ネノ アナン。
 neno an=an.
 同様に 暮らす(私)

そうして暮らしていました。

ネウン カ アラパアン ワ
 neun ka arpa=an wa
 どこに か 行く(私) して

どこかへ行って

ライアン ヤクン ライアン ヤッカ
 ray=an yakun ray=an yakka
 死ぬ(私) ならば 死ぬ(私) も

死んでしまっても

ピリカ セコロ アン
 pirka sekor an
 いい と いう

いいと思っていました。

30 ヤイケシテ ケウトウム パテク アコロ…
 yaykeste kewtum patek a=kor…
 家を出る 気持ち ばかり (私)持つ

家を出たいと思う気持ちばかりを持って

ウエンクル アネ プ ネ クス
 wenkur a=ne p ne kusu
 貧乏人 (私)だ もの だ から

私は貧乏人なので

アイヌ ヌカラ カ アイヌ オロツ カ
 aynu nukar ka aynu orot ka
 人間 を見る も 人間 の仲間入り も

他人を見ることも仲間入りすることも

アヤイシトマ プ ネ クス
 a=yaysitoma p ne kusu
 (私)恥ずかしく思う もの だ から

恥ずかしかったので

アイヌ ヌカラ カ ソモ アキ ノ
 aynu nukar ka somo a=ki no
 人間 を見る も しない (私)する で

人を見たこともなく

35 アナン ペ ネ ア コロカ
 an=an pe ne a korka
 暮らす(私) もの であった けれど

暮らしていたのでした。

シネ アン タ タネ モ… ヤイケシテアン ヒ クス
 sine an ta tane mo... yaykeste=an hi kusu
 ある時 もう 家を出る(私) ので ある時家を出て行き

オラ アトウイ サム タ サナン⁴ ヒネ
 ora atuy sam ta san=an hine
 こんど 海 のそば に 出る(私) して

海辺に出て

オラノ アトウイ トウラシ⁵ アラパアン
 orano atuy turasi arpa=an
 それから 海 に沿って上手へ 行く(私)

海沿いに歩いて行きました。

4 海辺に行く場合は単にアラパ arpa (行く) よりもサン san (出る) が使われる。

5 トウラシ turasi は主に川をさかのぼるときにみられる表現だが、ここでは海辺を移動するときにトウラシ turasi が使われている。具体的にどちらの方向に向いて行ったのかはわからない。

- ネウン カ ヤイケシテアン ペ ネ クス
neun ka yaykeste=an pe ne kusu
どこへ も 家を出る(私) もの だ から
家出をして来たので
- 40 ライアン ヤクン ライアン ヤッカ ピリカ
ray=an yakun ray=an yakka pirka
死ぬ(私)ならば死ぬ(私) しても いい
死んでもいい
- セコロ アン ケウトウム アコロ コロ
sekor an kewtum a=kor kor
と いう 気持ち (私)持ち ながら
という考えを抱いて
- アトウイ トウラシ アラパアナ アナ アイネ
atuy turasi arpa=an a an a ayne
海 に沿って上手へ ずっとずっと行く(私) うちに
海沿いにどんどん進んで行きました。
- シエトク ウン インカラン ルウェ ネ アクス
sietok un inkar=an ruwe ne akusu
自分の前方 を 見る(私) こと だっ たところ
私の前方を見ると
- イエカリ アトウイ ペシ⁶
i=ekari atuy pes
(私に)向かって 海 に沿って下手に
海辺に沿って
- 45 ネプ カ トム ランケ トム ランケ キ コロ
nep ka tom ranke tom ranke ki kor
何 か ピカピカと何度も光る し ながら
何かピカピカと光る
- ネプ カ サン コロ アン シリ
nep ka san kor an siri
何 か 来 て ある 様子
ものがやって来る様子を
- エカリ⁷ アヌカラ コロ アラパアン ヒネ
ekari a=nukar kor arpa=an hine
ちょうど (私)見る ながら 行く(私) して
見つつ進んで行きました。
- タネ カランケ イカランケ ノ
tane karanke i=karanke no
もう 近く (私に)の近く で
すぐ近くに
- ネ トム ランケ トム ランケ
ne tom ranke tom ranke
その ピカピカと何度も光る
そのピカピカ光るものが
- 50 イカランケ サン ヒネ
i=karanke san hine
(私に)の近く 来る して
来ました。
- インカラン ルウェ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ
見ると

6 自分のいる場所を下手と考えて pes と言っている。

7 エカリ ekari「ちょうど〜と同時に」[奥]

ポロ キナスツ カムイ キラウ セ⁸ カネ ヒネ
 poro kinasut kamuy kiraw se kane hine
 大きい ヘビ 神 角 を持ちも して

大きなヘビが、角の生えたヘビが

サン ヒネ アン。
 san hine an.
 来る して いる

やって来たのでした。

イエカリ サン ヒネ アン イネ
 i=ekari san hine an _hine
 (私に)向かって来 て い て

私のほうに来たので

55 エアラキンネ アオクンヌレ ネ ヤ キ ヒ クス
 earkinne a=okunnure ne ya ki hi kusu
 本当に (私)驚きあきれる で も する ので

本当に驚いて

ネ アミ ワ アン ペ イカワ アミプ
 ne a=mi wa an pe ikawa amip
 その (私)着 て いる もの 上 着

私は着ていた上着を

ウセ アヌ ヒネ
 use anu hine
 を脱ぐ して

脱いでたたみ

ソ アカラ アクス
 so a=kar akusu
 座 (私)作っ たところ

神が鎮座するところを作ると

オロ パクノ ネ キナスツカムイ エク イネ
 oro pakno ne kinasutkamuy ek _hine
 そこ まで その ヘビの神 来 て

そこまでヘビの神は来て

60 ネ キラウ アコロ アミプ カ タ ハチリ ヒネ
 ne kiraw a=kor amip ka ta hacir hine
 その 角 (私)の 着物 の上 に 落とし て

その角を私の着物の上に落とし

オラ スイ シオカ ウン ホシピ。
 ora suy sioka un hosipi.
 こんど また 後ろ に 戻る

そしてまた戻って行きました。

ヘトポ ホロカ ホシピ ヒ クス
 hetopo horka hosipi hi kusu
 逆もどりして 逆方向に 戻る だから

戻って行ったので

オラ オンカミアナ アナ コロ
 ora onkami=an a an a kor
 こんど 拝礼を何度もする(私) ながら

拝礼を何度もして

ネア キラウ アコロ アミプ アコカラカラ ヒネ
 nea kiraw a=kor amip a=kokarkar hine
 その 角 (私)の 着物 (私)巻きつける して

その角を私の着物で巻いて

8 セ se は「～を背負う」という意味以外にもただ「～を持つ」や、この場合のように「～が生える」という意味でも使われる。

- 65 オラ ヤイケシテアニ カ ソモ キ。
 ora yaykeste=an hi ka somo ki.
 こんど 家を出る(私) こと も しない
 家出をするのをやめました。
- ネプ カ カムイ エチカシヌカラ ヒ
 nep ka kamuy ecikasnukar hi
 何 か 神 授けてくれる こと
 何かの神が授け物をしてくれたように
 ネ クニ アラム ヒ クス
 ne kuni a=ramu hi kusu
 だ と (私)思う ので
 思ったので
- オラ ネ キラウ アセ ヒネ エカニネ
 ora ne kiraw a=se hine ek=an hine
 こんど その 角 (私)背負って 来る(私) して
 その角を持って
- アウニヒ タ エカニネ
 a=unihi ta ek=an hine
 (私の)家 に 来る(私) して
 私の家に帰って来て
- 70 オラ スウオプ アサム⁹ アオマレ ヒネ
 ora suwop asam a=omare hine
 こんど 箱の 底 (私)入れ て
 箱の底に入れて
- アナン ルウエ ネ ア プ
 an=an ruwe ne a p
 いる(私) こと だった が
 おいたのでした。
- オロワノ ネ ペコロ エキムネアン コロ
 orowano ne pekor ekimne=an kor
 それから その ように 山獵に行く(私) と
 それからは山獵に行くと
- イセポ ネ ヤ チロンヌプ ネ ヤ アロンヌ。
 isepo ne ya cironnup ne ya a=ronnu.
 ウサギ で も キツネ で も (私)とる
 ウサギやキツネがとれました。
- ペトツ タ アラパアン コロ
 pet or_ ta arpa=an kor
 川 の所 に 行く(私) と
 川に行くと
- 75 チェプ ネ ヤッカ アコイキ ワ
 cep ne yakka a=koyki wa
 魚 で も (私)とる して
 魚もとれて
- アエヤイコプンテク コロ
 a=eyaykopuntek kor
 (私)喜び ながら
 喜びました。
- アヤイパロオイキ コロ アナン ラポツケ
 a=yayparooyki kor an=an rapokke
 (私)自炊し ながら 暮らす(私) そのうちに
 自分で食べながら

9 神からの授かりものは、宝壇の箱の底にしまい込み誰にも見せずに内緒で保管するのが通例で、そうすることで神に守られて幸せに暮らすことができると考えられていた。

- オラノ エキムネアン コロ
orano ekimne=an kor
それから 山獵に行く(私) ながら
- 山獵に行き
- ユク カ カムイ カ アライケ ワ
yuk ka kamuy ka a=rayke wa
シカ も クマ も (私)とる して
- シカやクマをとり
- 80 エアラキンネ アエヤイコプンテク コロ アナン ヒネ
earkinne a=eyaykopuntek kor an=an hine
本当に (私)喜び ながら 暮らす(私)して
- 本当に喜んでいと
- オロワノ アナクネ ウエンクル アネ ヒ カ アオイラ。
orowano anakne wenkur a=ne hi ka a=oyra.
それから は 貧乏人 (私)だ ことも (私)忘れる
- それからは貧乏人であることも忘れました。
- ニシパ アネ ヒ パテク
nispā a=ne hi patek
長者 (私)なる こと ばかり
- 裕福な人間になったことばかり
- アエヤイコプンテク コロ アナン ラポツケ
a=eyaykopuntek kor an=an rapokke
(私)喜ぶ ながら いる(私) そのうちに
- 喜んでいと
- ネ コタン コン ニシパ
ne kotan kor_ nispā
その 村長
- 村長が
- 85 シネ アン タ イコシネウエ ヒネ
sine an ta i=kosinewe hine
ある時 (私を)訪問し て
- ある日私の家に遊びに来て
- オラ ナ ネン ネン イコウウエペケンヌ。
ora na nen nen i=kouwepekennu.
こんど まだ いろいろ (私に)尋ねる
- いろいろな話をしました。
- ネン カ アイヌ ヌカラ カ
nen ka aynu nukar ka
誰 も 人間 を見る も
- 人間を見たことも
- アエラミシカリ プ ネ ア プ
a=eramiskari p ne a p
(私)知らない ものだった が
- なかったのですが
- コタン コン ニシパ イコシネウエ ヒネ
kotan kor_ nispā i=kosinewe hine
村長 (私に)訪問する して
- 村長が遊びに来て
- 90 オラノ ナ ネン ネン ネ…
orano na nen nen ne…
それから まだ いろいろ
- いろいろ
- イコウウエペケンヌ ネ ヤ
i=kouwepekennu ne ya
(私に)尋ねる で も
- 尋ねられたり

- アコイソイタク ウウエネウサラ コロ
a=koysoytak uwenewsar kor
(私)話す よもやま話をし て
話をして
- オカアン アクス オラ
oka=an akusu ora
いる(私) したところ こんど
いると
- “ネプ カ アコロ オツカイポ
“nep ka a=kor okkaypo
何 か (私)の 若者
「何か、若者よ
- 95 ネプ カ チカシヌカラ ペ コン ナンコロ”
nep ka cikasnukar pe kor_ nankor”
何 か 授かり ものを持つ だろう
何か秘密の授かりものを持ったのだろう」
- セコロ イイエ ヒクス
sekor i=ye hi kusu
と (私に)言う ので
と言うので
- “ネプ カ アサク。
“nep ka a=sak.
何 も (私)がない
「何もあります。
- ヒナク ワ エク ワ
hinak wa ek wa
どこ から 来る して
どこから来て
- チコシンニヌプ⁽¹⁰⁾ アコロ ペ アン”
cikosinninup a=kor pe an”
秘密の宝物 (私)持つ もの ある
秘密の宝物を持つというのでしょうか」
- 100 セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) と
と言いました。
- “ハウエアン ヤツカ
“hawean yakka
言う しても
「そう言われても
- イ…オ…オタシヌカ⁽¹¹⁾ イケ カ イサム”
i=... o... otasnuka _hike ka isam”
(私を)問いつめ て も ない
問いつめられてもないのです」
- ヤク アイエ アクス オラ ホシピ ワ イサム
yak a=ye akusu ora hosipi wa isam
と (私)言っ たところ こんど 帰っ て しまう
と言ったところ帰って行きました。
- …ホシピ ア プ オラノ エキムネアン コロ
... hosipi a p orano ekimne=an kor
帰っ た が こんど 山獵に行く(私) と
帰ってから山獵に行くと

10 誰にも言わずに隠し持つ宝物。この話のように神から授かったものや、つかまえた動物の頭部などを木幣に包んで持つことにより憑き神になってもらうという考え方がある。

11 オタシヌカ otasnuka の意味は辞書類には未見だが、当館のデータでは上田トシ氏、川上まつ子氏の散文説話にいくつかの事例がある。「問いただす」「問いつめる」の意味と思われる。

- 105 ユク チコイキプ カムイ チコイキプ
 yuk cikoykip kamuy cikoykip シカやクマを
 シカの 獲物 クマの 獲物
- アエアウナルラ ワ
 a=eawnarura wa とって来て
 (私)とって来る
- アエヤイコプンテク コロ アナン ラポッケ
 a=eyaykopuntek kor an=an rapokke 喜んでいました。
 (私)喜ぶ ながら 暮らす(私) そのうちに
- スイ… ラポッケ スイ ネア コタン コン ニシパ
 suy... rapokke suy nea kotan kor_ nispa またあの村長が
 また そのうちに また あの 村長
- ウサ サケ ウサ オカイ ペ
 usa sake usa okay pe 酒やいろいろなもの
 色々な 酒 色々 ある もの
- 110 メノコ カ サク ノ
 menoko ka sak no 女手がなく
 女性 も がなくて
- プイ ネ アナン ペ ネ クス
 puy ne an=an pe ne kusu ひとりで暮らしているの
 ひとり で 暮らす(私) もの だ から
- メノコ カラ ペ ネ ヤ
 menoko kar pe ne ya 女性が作った食べ物や
 女性 作る もので も
- オッカヨ ク サケ ネ ヤ ウサ オカイ ペ
 okkayo ku sake ne ya usa okay pe 男の飲む酒やいろいろなものを
 男性の 飲む 酒 で も 色々 ある もの
- ポロンノ イカオセ ルウエ ネ ヤク イエ コロ
 poronno i=kaose ruwe ne yak ye kor たくさん背負って来たと言って
 たくさん (私に)持って来たの だ と 言っ て
- 115 サン ヒネ オラノ ウウエネウサラ コロ オカアン
 san hine orano uwenewsar kor oka=an やって来ていろいろな話をしました。
 来 て それから よもやま話をし て いる(私)
- ラポッケ ネ サケ サンケ ヒネ
 rapokke ne sake sanke hine そのうちにその酒を出して
 そのうちに その 酒 を出し て
- オラノ イイクレエコイキ イネ
 orano i=ikureekoyki _hine 私にひどく飲ませて
 それから (私に)ひどく飲ませ て
- イヨシキ カ アン アクス
 iyoski ka an akusu 酔わせ
 酔い も し たところ

- オラ スイ ネア チコシンニヌプ
 ora suy nea cikosinninup
 こんど また その 秘密の宝物
- また秘密の宝物を
- 120 アコロ ナンコロ
 a=kor nankor
 (人)持つ だろう
- 持っているだろう
- セコロ スイ ハウエアン クス
 sekor suy hawean kusu
 と また 言う ので
- と言ったので
- “ネプ カ アサケ ペ ネ”
 “nep ka a=sak pe ne”
 何 も (私)ない の です
- 「何もありません」
- セコロ ハウエアナン ヤツカ
 sekor hawean=an yakka
 と 言う(私) しても
- と言っても
- イコウウエペケンヌ アイネ… コロ オラノ
 i=kouwepekennu ayne... kor orano
 (私)に尋ねる したあげく ながら それから
- 私に尋ねて来て
- 125 イ… イクレエコイキアン アイネ
 i... ikureekoyki=an ayne
 ひどく飲ませる(私) したあげく
- 私にひどく飲ませました。
- オラ イヨシキアン ペ ネ クス
 ora iyoski=an pe ne kusu
 こんど 酔う(私) もの だ から
- 酔っぱらったので
- ネア チコシンニヌプ キラウ アサンケ ヒネ
 nea cikosinninup kiraw a=sanke hine
 その 秘密の宝物 角 (私)出し て
- あの秘密の角を出して
- アヌカレ ルウエ ネ アクス
 a=nukare ruwe ne akusu
 (私)見せる こと だっ たところ
- 見せたところ
- オラ ネ コタン コン ニシパ エネ ハウエアニ。
 ora ne kotan kor_nispa ene hawean_hi.
 こんど その 村長 このように言った
- その村長はこのように言いました。
- 130 “アヌカツ タクプ ネ ヤクン ウエン クス
 “a=nukar_takup ne yakun wen kusu
 (私)見る だけ であるならば 悪い ので
- 「私が見ただけならばだめなので
- アホク ワ アウニ ウン アコロ ワ
 a=hok wa a=uni un a=kor wa
 (私)買っ て (私)の家 に (私)持つ て
- 私が買って家に
- アラパアン ペ ネ”
 arpa=an pe ne”
 行く(私) もの だ
- 持って行く」

- セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言う ながら
 と言って
- コロ ワ ソイネ ワ イサム ア プ
 kor wa soyne wa isam a p
 持っ て 外に出 て しまっ た が
 135 オラノ イシムネ ネ ヒ オラノ
 orano isimne ne hi orano
 こんど 翌日 になる それから
 持って帰ってしまいました。
- ネ キラウ コタン コン ニシパ エウン
 ne kiraw kotan kor_ nispa eun
 あの 角 村長 へ
 そして翌日からは
- アコレ ア ヒ アヤヨカパシテ⁽¹²⁾ ワ
 a=kore a hi a=yayokapaste wa
 (私)与えた こと (私)後悔する して
 あげてしまったことを後悔して
- オラノ アコヘムイムイエ⁽¹³⁾ コロ アナン。
 orano a=kohemuymuye kor an=an.
 それから (私)で着物を頭からかぶる ながら 暮らす(私)
 頭から着物をかぶって寝ていました。
- エネ ウェンクル アネ ワ
 ene wenkur a=ne wa
 こんな 貧乏人 (私)であっ て
 このように私は貧乏人であり
- 140 カムイ オロ ワ アエチカシヌカラ ア プ
 kamuy oro wa a=ecikasnukar a p
 神 の所 から (私)授かっ た のに
 神から恵んでもらったのに
- セコロ ヤイヌアン ワ
 sekor yaynu=an wa
 と 思う(私) して
 と思って
- オラノ アコヘムイムイエ。
 orano a=kohemuymuye.
 それから (私)で着物を頭からかぶる
 着物をかぶって寝ていました。
- オラ エキムネアン アクス
 ora ekimne=an akusu
 こんど 山獵に行く(私) したところ
 そして山獵に行っても
- アツパケタ ネノ ネプ カ アエオムケン。
 atpaketa neno nep ka a=eomuken.
 最初 のように 何 も (私)とれない
 最初の頃のように何もとれなくなりました。
- 145 チェツポ ポカ イセポ ポカ ネプ カ
 ceppo poka isepo poka nep ka
 小魚 さえ ウサギ さえ 何 も
 魚もウサギも何も

12 ヤヨカパシテ「後悔する」[萱]

13 悲しいこと、後悔するようなことがあると着物をかぶってふて寝をしてしまうという描写が時にみられる。この場合の着物は掛け布団の役割をしている。

- アエオムケン ワ
a=eomuken wa
(私)とれない して
とれなくて
- ポヘネ ヤイルシカアン ワ
pohene yayruska=an wa
なおさら ひとりで怒る(私) して
ひとりで腹を立てて
- オラノ ヘムイムイエアン ワ
orano hemuymuye=an wa
それから 頭から着物を被る(私) して
それからは着物をかぶって
- ホッケアン ワ パテク アナン アイネ
hotke=an wa patek an=an ayne
寝る(私) してばかり いる(私) したあげく
寝てばかりいました。
- 150 タネ ライ ノイネ ヤイヌアン パクノ
tane ray noyne yaynu=an pakno
もう 死ぬ ように 思う(私) くらい
もう死んだと思うくらいに
- ケウオロ¹⁴ カ サク ノ
kewor ka sak no
力 も ない で
力もなく
- ホッケアン ワ アナン ルウェ ネ アクス
hotke=an wa an=an ruwe ne akusu
眠る(私) して いる(私) こと だっ たところ
寝ていたところ
- シネ アンチカラ ウェンタラパン ルウェ ネ アクス
sine ancikar wentarap=an ruwe ne akusu
ある 夜 夢を見る(私) こと でっ たところ
ある夜夢を見ました。
- ピリカ メノコ レタラ コソソテ¹⁵
pirka menoko retar kosonte
きれいな 女性 白い 上等の着物
きれいな女性が白い着物を
- 155 ウトムチウレ カネ アン メノコ アニネ
utomciwre kane an menoko an _hine
身につける ながら いる 女性 いる して
着ていて
- エネ ハウエアニ。
ene hawean _hi.
このように言った
このように言いました。
- イコパシロタ コロ
i=kopasrota kor
(私)叱り ながら
私を叱って
- “ ウェンクル エネ ヒ… コロカ
“ wenkur e=ne hi... korka
貧乏人 (お前)である こと けれど
「あなたは貧乏人だけれど

14 ケウオロサク「力がない」[萱]

15 口承文芸中で描かれる神の着物は、その神の特徴を思わせる色や模様の着物を着ているという描写がある一方で、位の高い神であることを示すときに黒または白という特定の着物を着ている場合がある。これもその例であろう。

- エタカスレ ケウトウム ピリカ プ エネ ワクス
 etakasure kewtum pirka p e=ne wakusu とても心がきれいなので
 あまりにも 心 美しい もの(お前)だ から
- 160 アエランポキウエン ワ アエチカシヌカラ ア プ
 a=erampokiwen wa a=ecikasnukar a p 私が同情してあなたに授け物をしたのですが
 (私)同情する して (私)授けものをし た のに
- ヘマンタ クス アコレ ア キラウ
 hemanta kusu a=kore a kiraw どうして私があげた角を
 何の ために (私)与え た 角
- コタン コン ニシパ エウン
 kotan kor_ nispa eun 村長にあげてしまったのですか。
 村長 へ
- エコレ ア… ヤツカ
 e=kore a... yakka あげてしまっても
 (お前)与えた しても
- コタン コン ニシパ
 kotan kor_ nispa 村長が
 村長
- 165 ネ キラウ コロ ワ アラパ ワ
 ne kiraw kor wa arpa wa あの角を持って行って
 あの 角 を持っ て 行っ て
- スウオプ アサム オマレ ワ アン ヤツカ
 suwop asam omare wa an yakka 箱の底に入れていても
 箱の 底 に入れ て い ても
- クス エニシパネ カ ソモ キ。… ペ
 kusu enispane ka somo ki. pe そのおかげで裕福になることはありません。
 それで 長者になる も しない
- エネ エコララ ヒ
 ene e=korar hi あなたにあげたものを
 こう (お前に)与える もの
- コタン コン ニシパ コロ ワ アラパ
 kotan kor_ nispa kor wa arpa 村長が持って行き
 村長 を持っ て 行く
- 170 エヤイコプンテク コロカ
 eyaykopuntek korka 喜んでいるけれど
 を喜ぶ けれど
- ネプ カ クス ニシパネ カ ソモ キ プ
 nep ka kusunispane ka somo ki p そのために長者にはなれないのです。
 何 も それで 長者になれ も しない のに
- エコララ ワ オラ エオカケ タ… オラ スイ
 e=korar wa ora e=okake ta... ora suy あなたに与えて、その後でまた
 (お前)与える こんど (お前の)後 で こんど また

- ヘトポ ホロカ…
hetopo horka…
逆戻りして 逆さ
元通り
- ウェンクル エネ ワ
wenkur e=ne wa
貧乏人 (お前)であつて
あなたは貧乏人で
- 175 エネ エホツケ ワ パテク アン シリ
ene e=hotke wa patek an siri
こう (お前)寝 て ばかり いる 様子
このように寝てばかりいる様子を
- アヌカラ ワ イルカ アン コロ ネ コロカ
a=nukar wa iruka an kor ne korka
(私)見 て しばらくする になる けれど
見てしばらく経つけれど
- テワノ ポカ スイ
tewano poka suy
これから だけでも また
これからはまた
- アエピリカレ クス ネノ ラム ヤク ピリカ。
a=epirkare kusu neno ramu yak pirka.
(私)守る ので そう 思う と いい
良くしてあげるからそう思いなさい。
- ニサッタ ネ コタン コン ニシパ
nisatta ne kotan kor_ nispa
明日 になる 村長
明日になったらあの村長が
- 180 アヤイヌレ⁽¹⁶⁾ アニ
a=yaynure ani
(私)思わせる で
私の意図で
- ニサッタ ネ キラウ コロ ワ
nisatta ne kiraw kor wa
明日 になる 角 を持つ して
角を持って
- サン⁽¹⁷⁾ ナンコロ クス
san nankor kusu
川を下る だろう から
来るでしょうから
- ネ キラウ
ne kiraw
その 角
その角で
- スイ ピリカノ エカラ ワ エアン ワ
suy pirkano e=kar wa e=an wa
また 良く (お前)する して (お前)いる して
またあなたの運気をあげて
- 185 オラ テワノ ポカ スイ ニシパネ…
ora tewano poka suy nispane…
こんど これから だけでもまた 長者になる
これからまた裕福に

16 神は時に人間を意のままにあやつることができる。

17 村長は村の真ん中に住んでおり、主人公は村はずれの下手に住んでいるのでサン san (川を下る) という表現になっている。

- エネ ヤク オラ… ピリカ。
e=ne yak ora... pirka.
(お前)である と こんど いい
- おなりなさい。
- アシヌマ アナクネ¹⁸ キナスツカムイ アネ ワ
asinuma anakne kinasutkamuy a=ne wa
私 は ヘビの神 (私)である して
- 私はヘビの神であって
- アエピリカレ ワ テ パクノ アナン ア プ
a=epirkare wa te pakno an=an a p
(私)良くし て ここ まで いる(私) だった が
- あなたに良くしてあげたのです。
- アツパケ ワノ スイ エウエンクル ネ ア コロカ
atpake wano suy e=wenkur ne a korka
最初 から また (お前)貧乏人 だっ た けれど
- 当初あなたは貧乏人でしたが
- 190 テワノ スイ アエプンキネ クス ネ ナ。
tewano suy a=epunkine kusu ne na.
これから また (私)守る つもり だ よ
- これからまたあなたを守ってあげましょう。
- ネ キラウ カ… エク カ キ
ne kiraw ka... ek ka ki
その 角 も 来る も する
- あの角が来て
- エニシパネ カ キ ヤク
e=nispane ka ki yak
(お前)長者にする も すると
- あなたが裕福になったならば
- オラ ピリカ サケ エカラ
ora pirka sake e=kar
こんど 良い 酒 (お前)作る
- 美味しい酒を作り
- オラ ピリカ イナウ エカラ ワ
ora pirka inaw e=kar wa
こんど 良い 木幣 (お前)作って
- 上等の木幣を作って
- 195 ネ イナウ アニ
ne inaw ani
その 木幣 で
- その木幣で
- キナスツカムイ ノカハ¹⁹ エカラ ワ
kinasutkamuy nokaha e=kar wa
ヘビの神 の形 (お前)作っ て
- ヘビ神の人形を作り
- オラ アトウイ オルン エコロ ワ
ora atuy or un e=kor wa
こんど 海 の所 に (お前)持っ て
- 海に持って行って
- エアラパ ワ ‘キナスツカムイ シパセカムイ
e=arpa wa ‘kinasutkamuy sipasekamuy
(お前)行っ て ヘビの神 尊い神
- 『ヘビの神、尊い神に

18 アシヌマ アナクネ asinuma anakne は「我こそは」のように自分を強調したいときにみられる表現である。

19 木幣の削りかけの部分でヘビがとぐろを巻いているような形に作るという事例が実際に報告されている。

- アノミ ナ' セコロ エハウエアン コロ
a=nomi na' sekor e=hawean kor
(私)祈る よ と (お前)言う ながら
祈りますと』言って
- 200 ネ イナウ アニ エカラ
ne inaw ani e=kar
その 木幣 で (お前)作る
木幣で作った
- キナスツカムイ ノカ
kinasutkamuy noka
ヘビの神 の形
ヘビの人形を
- アトウイ オルン エモムカ ヤク ピリカ ナ。
atuy or un e=momka yak pirka na.
海 の所 に (お前)流す と いい よ
海に流しなさい。
- セコル…
sekor…
と
と…
- ヤクン オラ テワノ スイ アエピリカレ
yakun ora tewano suy a=epirkare
ならば こんど これから また (私)良くする
そうしたらそれからまたあなたに良くして
- 205 クス ネ ナ"
kusu ne na"
つもりだ よ
あげますよ」
- セコロ アン ウェンタラプ アキ ワ
sekor an wentarap a=ki wa
と ある 夢 (私)して
という夢を見て
- オラ アエヤイコプンテク コロ
ora a=eyaykopuntek kor
こんど (私)喜ぶ ながら
喜んで
- オンカミアナ アナ コロ アナン アクス
onkami=an a an a kor an=an akusu
何度も拝礼をする(私) ながら いる(私) したところ
何度も拝礼をしました。
- ソンノ カ イシムネ ネ コタン コン ニシパ
sonno ka isimne ne kotan kor_ nispa
本当に も 翌日 になる 村長
翌朝、本当に村長が
- 210 ネ キラウ コロ ワ サン ヒネ
ne kiraw kor wa san hine
あの 角 を持っ て 川を下って
角を持って来て
- イコヤヤパプ ヒ イェ ア イェ ア コロ
i=koyayapapu hi ye a ye a kor
(私)に謝る こと 何度も言い ながら
私に謝罪の言葉を何度も言って
- コロ ワ サン ルウエ ネ ヒネ
kor wa san ruwe ne hine
持っ て 来る こと であって
持って来たので

- オラ スイ アコロ スウオプ アサム
 ora suy a=kor suwop asam
 こんど また (私)の 箱の 底
 また私の箱の底に
- アオマレ カ キ コロ アナン。
 a=omare ka ki kor an=an.
 (私)入れる も し て いる(私)
 入れました。
- 215 オラ カムイ イエ プ ネ クス
 ora kamuy ye p ne kusu
 こんど 神 言う ものだ から
 そして神が言っていた通り
- ナニ サケカラン ヒネ
 nani sakekar=an hine
 すぐ 酒を作る(私) して
 すぐに酒を作り
- イナウケアナ アナ ヒネ
 inawke=an a an a hine
 木幣を作る(私) 何度もする して
 木幣をたくさん作り
- ネ イナウ アニ キナスツカムイ ノカ アコロ ワ
 ne inaw ani kinasutkamuy noka a=kor wa
 その 木幣 で ヘビの神 の形 (私)持つ て
 その木幣でヘビの人形を作って
- キナスツカムイ シパセカムイ
 kinasutkamuy sipasekamuy
 ヘビの神 尊い神
 「ヘビの神、尊い神に
- 220 アノミ ナ セコロ ハウエアナン コロ
 a=nomi na sekor hawean=an kor
 (私)祈る よ と 言う(私) ながら
 お祈りします」と言いながら
- アトウイ オツ タ アコロ ワ アラパ ヒネ
 atuy or ta a=kor wa arpa hine
 海 の所 に (私)持つ して 行く して
 海に持って行って
- アモムカ カ キ アクス
 a=momka ka ki akusu
 (私)流す も し たところ
 流しました。
- オラノ スイ エキムネアン コロ
 orano suy ekimne=an kor
 それから また 山獵に行く(私) ながら
 それからまた山獵に行くと
- ユク ネ チキ カムイ ネ チキ
 yuk ne ciki kamuy ne ciki
 シカ で も クマ で も
 シカやクマを
- 225 アエアウナルラ ワ
 a=eawnarura wa
 (私)とって来る して
 とって来て
- オラ エアシリ スイ ニシパ ネ アナン ワ
 ora easir suy nispa ne an=an wa
 こんど 初めて また 長者 に なる(私) して
 そうして初めてまた裕福な人になりました。

ネプ カ アコン ルスイ カ
 nep ka a=kor_rusuy ka
 何 も (私)欲しい も

何を欲しいとも

アエ ルスイ カ ソモ キ ノ アナン
 a=e rusuy ka somoki no an=an
 (私)食べ たい も しない で 暮らす(私)
 ラポッケ ネイ ワ ネ ヤ
 rapokke ney wa ne ya
 そのうちに どこ から だ か

食べたいとも思わずに暮らしました。

230 ピリカ メノコ エケ イネ
 pirka menoko ek_hine
 美しい 女性 来る して

きれいな女性がやって来て

トゥラノ アナン ワ
 turano an=an wa
 一緒に 暮らす(私) して

一緒に暮らしました。

イパロオシケ コロ オカアン アイネ
 i=parooske kor oka=an ayne
 (私に)養い ながら 暮らす(私) うちに

私を養ってくれていると

アコポコロ カ キ。
 a=kopokor ka ki.
 (私)子を持ち も する

子どもができました。

ラポッケ オラ タネ オンネアン ワ
 rapokke ora tane onne=an wa
 そのうちに こんど もう 年を取る(私) して

私は年老いてから

235 エアシリ マツ カ アコロ ペ ネ クス
 easir mat ka a=kor pe ne kusu
 初めて 妻 も (私)持つもの だ から

初めて妻を持ったので

アコロ ソン ウタラ カ ルプネパ カ
 a=kor son utar ka rupnepa ka
 (私)の 息子 たち も 大きくなる も

子どもたちが大きくなるのを

ソモ キ ヒ カ アヌカラ カ ソモ キ ノ
 somo ki hi ka a=nukar ka somo ki no
 しない ときも (私)を見る も しない で

見ることもなく

オンネアン コロカ
 onne=an korka
 死ぬ(私) けれど

死んで行くのですが

アポ ウタリ キナスツカムイ ノミ ヒ
 a=po utari kinasutkamuy nomi hi
 (私)の子 たち ヘビの神 を祭る こと

子どもたちにへビの神に祈ることを

240 イテキ オイラパ ヤク ピリカ ナ
 iteki oyrapa yak pirka na
 決して 忘れない と いい よ

決して忘れないように

セコロ アコウパシクマ コロ
 sekor a=koupaskuma kor
 と (私)語り伝える ながら

と伝えて

イサマン ペ ネ アクス
 isam=an pe ne akusu
 死ぬ(私) もの だ から

死んで行くので

アイェ セコロ
 a=ye sekor
 (私)言う と

お話ししますと

オサツナイ ウン アイヌ イソイタク
 osatnay un aynu isoytak
 オサツナイ の 人間 物語る

オサツナイの人が物語りました

245 セコン ネ。
 sekor_ ne.
 と さ

とさ。

第8話 散文の物語

ヤナギとミズナラの会話

収録日：1997年8月29日

資料番号：35238A

添付CD：4-4（21分41秒）

第8話 散文の物語「ヤナギとミズナラの会話」¹⁾

(イシカリの娘が語る)

イシカツ タ
Iskar_ ta
石狩 に

石狩に

アウヌフ アン…
a=unuhu an…
(私の)母

母がいて…

アオナハ アン アウヌフ アン ヒネ
a=onaha an a=unuhu an hine
(私の)父 いる (私の)母 いる して

父がいて母がいて

オカアン ペ ネ ヒケ
oka=an pe ne hike
暮らす(私) もの である したが

私は暮らしていました。

- 5 タネ アオナハ カ ケマパセ²⁾ ヒ オラノ
tane a=onaha ka kemapase hi orano
もう (私の)父 も 足が重い とき からは

父の足が動かなくなってからは

トウイマ エキムネ³⁾ カ コヤイクス ペ ネ クス
tuyma ekimne ka koyaykusu pe ne kusu
遠く 山猟に行く も できない もの だ から

遠くに山猟に行くこともできないので

ハンケ エキムネ ワ
hanke ekimne wa
近く 山猟に行く して

近くの山へ行って

イセポ ネ ヤ チロンヌプ⁴⁾ ネ ヤ ライケ ワ
isepo ne ya cironnup ne ya rayke wa
ウサギ や キツネ や をとる して

ウサギやキタキツネをとって

コロ ワ エク コロ
kor wa ek kor
を持つ して 来る ながら

持って帰り

- 10 ネ ワ アン ペ パテク
ne wa an pe patek
そう して ある もの ばかり

そればかりを

1 調査年月日は1997年8月29日、調査場所はアイヌ民族博物館救護室。調査者は安田千夏、同席者は黒川セツ氏。

この話は大谷洋一氏が『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要第4号』「小川シゲノから上田トシへの伝承2」で報告している話と同一である。これによるとこの話は1950年代穂別町の古老から小川シゲノ氏が聞いた話であった。小川氏がほぼ日本語（一部アイヌ語）で語ったこの話を上田トシ氏が聞き、アイヌ語だけで語り直したものである。

2 年を取ってしまったことを表している。

3 女性の場合は山へ行くというと山菜取りやまき取りなどを意味するが、男性が山へ行くというのは猟をしに行くという意味になる。

4 ウサギやキツネをとるとするのは、シカやクマをとるのが普通である男性の猟の成果としては乏しく、猟運に恵まれた暮らしをしていないことを示している。

キナ アコポプテ ワ アエ コロ オカアン
 kina a=kopopte wa a=e kor oka=an
 山菜 (私)混ぜ て (私)食べ ながら いる(私)

山菜と混ぜて食べていました。

オラ タネ ポン マツカチ アネ ヒ オラノ
 ora tane pon matkaci a=ne hi orano
 こんど もう 小さい 娘 (私)なるとき それから

そして私が少し大きくなってからは

アウヌフ アトゥラ カネ ワ
 a=unuhu a=tura kane wa
 (私の)母 (私)連れる ながら して

母は私を連れて

キナカラアン キナ ラタシケプ アカラ コロ
 kinakar=an kina rataskep a=kar kor
 山菜とりする(私) 山菜 煮物料理 (私)作る ながら

山菜採りをして

15 オカアン ペ ネ ワ アイネ
 oka=an pe ne wa ayne
 暮らす(私) もの であって したあげく

いました。

ラポッケ アウヌフ カ
 rapokke a=unuhu ka
 そのうちに (私の)母 も

そのうちに母も

タネ エネ イキ ア イ ネノ
 tane ene iki a _hi neno
 もう そう し た とき のように

もう以前のように

ニナ カ コヤイクス ノイネ イキ プ ネ クス
 nina ka koyaykusu noyne iki p ne kusu
 薪とり も ができない ように する ものだ から

まき採りもできないようなので

オラノ ニナアン ネ ヤ キ ワ
 orano nina=an ne ya ki wa
 それから 薪とりする(私) で も し て

私がまき採りなどの仕事をしていました。

20 アウヌフ カ アオナハ カ
 a=unuhu ka a=onaha ka
 (私の)母 も (私の)父 も

母も父も

エイタサ アネプキレ… ネプキパ カ
 eytasa a=nepkire... nepkipa ka
 あまり (私)働かせる 働く も

働くのが

ヌクリ ヒ オラノ アナクネ
 nukuri hi orano anakne
 できない とき それから は

大変になってからは

ヤイカタ キナ ラタシケプ アカラ
 yaykata kina rataskep a=kar
 自分で 山菜 作物 (私)作る

自分で山菜取りをし作物を作りました。

マタ アン コロ チクニ ヘネ
 mata an kor cikuni hene
 冬になると 薪 でも

冬になるとまきでさえ

25 アエシリキラプ クニ アラム プ ネ クス
a=esirkirap kuni a=ramu p ne kusu
(私)で苦勞する と (私)思う ものだ から

困るように思ったので

ニナアン アナ アナ ワ
nina=an an a an a wa
薪を取る(私) 何度もし て

まきを取って取って

チセ オカリ ニヒキリ⁵ ネ ヤ
cise okari nihikir ne ya
家 のまわり 薪の列 で も

家のまわりにまきの山を

アカラ コロ アナン ワ
a=kar kor an=an wa
(私)作っ て いる(私) して

作っておきました。

オラノ… コロ ポ ヘネ
orano... kor po hene
それから ながら なおさら

それから

30 アオナハ アウヌフ
a=onaha a=unuhu
(私の)父 (私の)母

父と母は

イエランポキウエン コロ オカ。
i=erampokiwen kor oka.
(私に)同情する ながら いる

私に同情していました。

ヤイカタ アナクネ
yaykata anakne
自分 は

私は

ネプキアン ルスイ ペ ネ クス
nepki=an rusuy pe ne kusu
働く(私) したい ものだ から

働きたいので

ナ ネン ネン イキアン コロ
na nen nen iki=an kor
まだ いろいろと する(私) ながら

いろいろなことをして

35 アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
いる(私) ものだった が

いたけれど

スイ タネ ポン メノコ ネ アオシマ⁶ ヒ オラ
suy tane pon menoko ne a=osma hi ora
また もう 小さい 娘 になる (私)入る 時 こんど

もう一人前の娘になってからは

エキムネアン
ekimne=an
山に行く(私)

山に

5 ニイキリ ni-ikir (木の・列)。運んで来たまきは雑然と置くのではなく、きれいにそろえて積み上げておいた。

6 「もう娘に成長した」という場面で、メノコ シリポ アオシマレ menoko sirpo a=osmare という表現はよくあるが、この言い方は他に未見。

- ニナコエキムネアン ヒネ… パ… ネ
 ninakoekimne=an hine... pa... ne
 薪とりに山へ行く(私) して まきを
- ニナアン ヒネ ニシケ アカラ ヒネ
 nina=an hine nisike a=kar hine
 薪とりする(私) して 薪の荷 (私)作る して とりに行こう
- 40 タネ アセ クナク アラム ラポッケ
 tane a=se kunak a=ramu rapokke
 もう (私)背負う と (私)思う そのうちに
 と思っ
- … コロ アナン ラポッケ…
 ... kor an=an rapokke...
 ながら いる(私) そのうちに
 いるうちに
- アオナハ ウタラ エネ ハウエオカパ ヒ
 a=onaha utar ene haweokapa hi
 (私の)父 たち このように言った
 父たちがこう言いました。
- アオナハ ウタラ アラソケ タ⁷ アナン ワ
 a=onaha utar arsoke ta an=an wa
 (私の)父 たち 対座し て いる(私) して
 父たちはいろりをはさんで対座して
- アオナ ウタラ ウコイソイタクパ ハウエ
 a=ona utar ukoisoytakpa hawe
 (私の)父 たち 互いに話をする こと
 話し合っているのを
- 45 アヌ ヒ
 a=nu hi
 (私)聞く こと
 聞きました。
- “イシカラ プトウ ウン… タ シノ ニシパ オカ ワ
 “Iskar putu un... ta sino nispa oka wa
 石狩 の河口部 に に 真の 旦那さん い て
 「石狩の下流に長者がいて
- アスル アシ ニシパ アスル アシ ハウエ ネ
 asur as nispa asur as hawe ne
 噂 立つ 長者 噂 立つ こと である
 その噂を
- アヌ コロ オカアン ペ ネ ア プ
 a=nu kor oka=an pe ne a p
 (私)聞くながら 暮らす(私) もの だっ た が
 聞いていたのだけれど
- マツ カネ ヒネ エアラキンネ
 mak kane hine earkinne
 どう して して 本当に
 どうしたのか
- 50 ネ イポネクル カ ニシパ ネ ワ
 ne iponekur ka nispa ne wa
 その 息子である人 も 長者 であっ て
 その息子も長者であるという

7 アラソケタ ar-so-ke ta (反対側の・座・のところ に)。父母とこの娘の間にはいろりがあり、それをはさんで対座していることを現している。

アスル アシ ペ ネ ア プ asur as pe ne a p 噂 立つ もの だった が	噂を聞いていたのだけれど
ヘントマニ ワノ チロンヌプ ポカ hentomani wano cironnup poka このごろ キツネ さえ	いつのまにかキツネも
イセポ ポカ エオムケンパ ワ isepo poka eomukenpa wa ウサギ さえ とれなく て	ウサギも獲れなくなって
エアラキンネ コタン オツ タ earkinne kotan or_ ta 本当に 村 の所 で	村でも
55 アウコエシリキラプ コロ a=ukoeskirap kor (人)が皆困る ながら	みんな困って
オカイ ペ ネ ヤク アイエ” okay pe ne yak a=ye” いる の だ と (私)言う	いるというのだ」
セコロ アオナハ アウヌ ウタラ sekor a=onaha a=unu utar と (私の)父 (私の)母 たち	と父も母も
エウコイソイタクパ コロ eukoisoytakpa kor について話をする ながら	話をしていました。
ハラキソ ⁸ ワ…アアン ペ ネ クス アヌ コロ harkiso wa…a=an pe ne kusu a=nu kor 客座 から 座る(私) もの だ から (私)聞くながら	私は客座に座って聞いて
60 アナン ヒケ カ an=an hike ka いる(私) しても	いたけれど
ネウン アラム カ ソモ キ ノ neun a=ramu ka somo ki no どう (私)思う も しない で	何とも思わずに
アナン ペ ネ ア プ an=an pe ne a p いる(私) もの だった が	いたのです。
シネ アン タ エキムネアン イネ sine an ta ekimne=an _hine あるとき 山に行く(私) して	ある日山に行って

8 ハラキソ harki-so (左・座)。入り口とは反対側の上座側から見て左ということ。本来はお客さんが座る席であるが、家族だけで過ごすときはこの座を使う場合もあるのだろう。

- コエキムネアン⁹ イネ ニシケカラン
 koekimne=an _hine nisikekar=an まきを取って
 山に行く(私) して 薪を取る(私)
- 65 ルウェ ネ アクス
 ruwe ne akusu いると
 こと だっ たところ
- イサム タ ピリカ スス チクニ アシ ワ アン
 i=sam ta pirka susu cikuni as wa an 私のそばにきれいなヤナギの木 立つ して いる
 (私の)そばに きれいな ヤナギの木 立つ して いる
- サマ タ スイ ペロ チクニ アシ ワ アン ヒネ
 sama ta suy pero cikuni as wa an hine 近くにまたミズナラが立っていました。
 の近く に また ミズナラの 木 立っ て いる して
- ニシケカラン ヒネ
 nisikekar=an hine まきを取って
 薪とりをする(私) して
- ネ ニシケ カ タ アアン ヒネ アナナクス
 ne nisike ka ta a=an hine an=an akusu そのまきを取っていると
 その 薪 の上 に 座る(私) して いる(私) したところ
- 70 ネ ニタイ キタイケ
 ne nitay kitayke 林の上の
 その 林 のてっぺん
- ニテク ウトモシマ フム¹⁰ ネ ヤ
 nitek utomosma hum ne ya 枝がぶつかる音が
 枝 互いにぶつかる 音 である か
- エネ ネ ペコロ アヌ ヒ
 ene ne pekor a=nu hi このように聞こえました。
 こん な ように (私)聞くこと
- “イシカラ プトウ ウン ニシパ¹¹ ポホ
 “Iskar putu un nispa poho 「石狩川の下流の村長の息子が
 石狩 の河口 の 旦那さん の息子
- イソ エオムケン パテク ネ ア コロカ
 iso eomuken patek ne a korka 猟で何もとれなくなっただけでなく
 獲物 がとれない ばかり であった けれど
- 75 ネ ワ アン ペ アッカリ
 ne wa an pe akkari そのうえに
 そう して ある もの 以上に
- ネ イシカラ プトウ ウン ニシパ ポホ
 ne Iskar putu un nispa poho その村長の息子が
 その 石狩 の河口 の 旦那さん の息子

9 コエキムネ koekimne と 2 項動詞にして言い直している理由はよくわからない。

10 木の神が話をして人間に重要なことを伝えるという話は他にも採録例されている。当館のデータでは川上まつ子氏の C184_34739AB「村長の家に嫁いだ貧しい娘とヤナギの神」という散文説話がある。

11 この場合の「旦那さん」は「村長」という意味になる。

シイエイエ ヒネ
siyeye hine
病気になる して

病気になって

エアラキンネ タネ ライ ノイネ アン ワ
earkinne tane ray noyne an wa
本当に もう 死ぬ ように いる して

もう死にそうになっているのだ。

オヤコヤクン ニシパ ウタラ
oyakoyak un nispa utar
あちこち の 旦那さん たち

あちこちの旦那さんたちが

80 ウウエカラパ ワ アエポタラ ネ ヤ
uwekarpa wa a=epotara ne ya
集まる して (人)心配する や

集まってまじないや

ナ ネン ネン キパ ヤッカ アニウケシ ワ
na nen nen kipa yakka a=niwkes wa
まだ いろいろ して も (人)できない で

いろいろなことをしても治らず

タネ アナクネ
tane anakne
今 は

今はもう

ライ クニ パテク アテレ コロ
ray kuni patek a=tere kor
死ぬ だろうこと ばかり (人)待ち ながら

死ぬのを待って

アン ペ ネ ヤク アイェ プ
an pe ne yak a=ye p
いる もの だ と (人)言う もの

いるというのだよ。

85 タン パハウ マク ネ ワ ネ ヤ
tan pahaw mak ne wa ne ya
この 噂 どう して だ か

この噂はどういうことか

エエラムアン”
e=eramuan”
(お前)知っている

わかるかい？」

セコロ ネ ペロ スス
sekor ne pero susu
と その ミズナラ ヤナギ

とそのミズナラがヤナギに

コウウエペケンヌ アクス
kouwepekennu akusu
に尋ねる したところ

尋ねると

ネ スス エネ ハウエアニ。
ne susu ene hawean _hi.
その ヤナギ このように言った

ヤナギはこのように言いました。

90 “アエランペウテク ヒネ
“a=erampewtek hine
(私)わからない して

「わからないけれど

エアニ エエラムアン”

eani e=eramuan”

お前 (お前)わかる

おまえにはわかるのかい」

セコロ スス ネ ペロ

sekor susu ne pero

と ヤナギ その ミズナラ

とヤナギがそのミズナラに

コウウエペケンヌ アクス

kouwepekennu akusu

に尋ねる したところ

尋ねると

オラ ペロ エネ ハウエアニ。

ora pero ene hawean _hi.

こんど ミズナラ このように言った

ミズナラはこのように言いました。

95 “ネ… イシカラ プトウ ウン ニシパ

“ne... Iskar putu un nispa

その 石狩 の河口 の 旦那さん

「石狩川の下流の旦那さんは

アスル アシ ニシパ ネ ワ オカイパ プ ネ ア プ

asur as nispa ne wa okaypa p ne a p

噂 立つ 旦那さん である して いるもの だったが

名立たる旦那さんであるのだが

マク ネ ワ ネ ヤ

mak ne wa ne ya

どう して だ か

一体どうしたのか

シリホントム⁽¹²⁾ ワノ

sirhontom wano

途中 から

途中から

ネプ カ チロンヌプ ポカ

nep ka cironnup poka

何 も キツネ さえ

何もキツネも

100 ネプ カ エオムケン カ タ

nep ka eomuken ka ta

何 も とれない 上 に

何もとれなくなった上に

オラ シイエイエ ワ タネ ライ ノイネ

ora siyeye wa tane ray noyne

こんど 病気になる して もう 死ぬ ようで

病気になってもう死んでしまうようだ。

アン ヒ オモトホ アナクネ

an hi omotoho anakne

ある ことの原因 は

その原因は

イコシマツ ネ メノコ

ikosmat ne menoko

嫁 である 女性

嫁である女性が

12 「行く途中」のように空間的に使われることが多いが、ここでは時間的な「途中」として使われている。

- エイタサ ネ ニシパ ウタラ
eytasa ne nispa utar
あまりにも その 旦那さん たち
- 105 イソンパ プ ネ クス
isonpa p ne kusu
猟運がある もの だ から
- ネイ タ ネ ヤツカ マラットコロパ
ney ta ne yakka marattokorpa
いつ に で も 酒宴を開く
- パテク キ プ ネ クス
patek ki p ne kusu
ばかり する もの だ から
- ネ イコシマツ ネ メノコ
ne ikosmat ne menoko
その 嫁 である 女性
- マラットコロ ヒ シンキ ヒネ
marattokor hi sinki hine
酒宴を開く こと 疲れる して
- 110 ネウン カ アカラ ワ イソ ラマツ アウク ワ
neun ka a=kar wa iso ramat a=uk wa
どのように も (私)し て 狩り 魂 (私)取る して
- カムイ ライケ ソモ キ ヤクン
kamuy rayke somo ki yakun
クマ をとる しない ならば
- シニアン ペ セコロ ヤイヌ ワ
sini=an pe sekor yaynu wa
休む(私) もの と 思う して
- オラ ネ ホクフ コロ イタンキ
ora ne hokuhu kor itanki
こんど その 夫 の お椀
- メノコル アサム オマレ ワ
menokoru asam omare wa
女便所 の底 に入れる して
- 115 カシ ウン オクイマ オソマ コロ アン ワクス
kasi un okuyima osoma kor an wakusu
その上 に 小便し 大便し ながら いる ので
- ネ ニシパ イソエニウケシ オラ
ne nispa isoeniwkes ora
その 旦那さん 猟運がなくなる こんど
- シイエイエ ワ タネ ライ ノイネ ネ ヒ アナクネ
siyeye watane ray noyne ne hi anakne
病気をし て もう 死に そう になる ことは
- あまりにも旦那さんたちが
狩りの名手で
いつも酒宴
ばかりをするので
その嫁は
酒宴をすることに疲れてしまったのだ。
何とかして狩りの魂を奪って
クマをとらなくなったならば
休めると思って
その旦那さんのお椀を
女便所に入れてしまったのだ。
その上から小便や大便をしていたので
その旦那さんは猟運がなくなり
病気になってもう死んだようになっているのは

ネ メノコ ウエン ワ ネ”
ne menoko wen wa ne”
その 女性 悪い して だよ

その女性が悪いのだ」

ネ ペロ ハウエアン ヒケ
ne pero hawean hike
その ミズナラ 言う したが

とミズナラが言いました。

120 “タン ハワシ マク アカラ チキ ピリカ”
“tan hawas mak a=kar ciki pirka”
この 話 どう (私)する したら いい

「この話をどうしたらいい」

セコロ スイ スス ハウエアン ルウェ ネ アクス
sekor suy susu hawean ruwe ne akusu
と また ヤナギ 言う こと だっ たところ

とまたヤナギが言ったところ

“タン ニ チヨロポク タ アン
“tan ni corpok ta an
この 木 の下 に いる

「この木の下にいる

ポン メノコ パクノ ケウトウム ピリカ
pon menoko pakno kewtum pirka
若い 娘 ほど 心 美しい

若い娘ほど心の美しい

ポン メノコ ネ ワ アン ペ ネ クス
pon menoko ne wa an pe ne kusu
若い 女性 であって ある の だ から

娘はないので

125 タン ポン メノコ ヘネ
tan pon menoko hene
この 若い 女性 にでも

この娘に

カムイ イタクテ アキレ ワ アスルコロ ヘネ キ
kamuy itakte a=kire wa asurkor hene ki
神 に話させる (私)させる して 噂をする でも をする

話をさせる。

ソモ キ ヤクン アナクネ
somo ki yakun anakne
しない ならば は

そうすれば

ネ イシカラ プトウ ウン ニシパ
ne Iskar putu un nispa
その 石狩 の河口 の 旦那さん

その石狩川の下流の村長は

アシクヌレ エアシカイ ナンコロ”
a=siknure easkay nankor”
(私)生かす できる だろう

生きることができるだろう」

130 セコロ ウコイタクパ ハウエ アヌ ワ
sekor ukoitakpa hawe a=nu wa
と 互いに話す こと (私)聞いて

と話し合っているのを聞いて

エアラキンネ イヨクヌレアン コロ アン
earkinne iyokunnure=an kor an
本当に 驚きあきれる(私) ながら いる

本当に驚きました。

オラ

ora

こんど

そして

“ホクレ アスルコロ ワ ホタヌ エサン。”¹³

“hokure asurkor wa hotanu e=san.

早く 噂を持つ して 訪ねる (お前)川を下る

「早くこの話を知らせに川を下って行きなさい。」

エオナハ オロ タ カ イテキ… エヘノイエ

e=onaha oro ta ka iteki... e=henoye

(お前の)父 の所 に も 決して (お前)立ち寄る

父のところにも立ち寄らずに

135 ソモ キ ノ ナニ エサン クス ネ ナ”

somo ki no nani e=san kusu ne na”

しない で すぐ (お前)川を下る である よ

すぐに行きなさい」

セコロ ヘメム ネ ニテク ハウエアン ハウエ

sekor hemem ne nitek hawean hawe

と それも その 枝 言う こと

とその枝が言ったのを

アヌ テク

a=nu tek

(私)聞く さっと

聞いてすぐに

オラ ナニ ネ アコン ニシケ

ora nani ne a=kor_ nisike

こんど すぐ その(私)の 薪

私のまきを

アセ テク イネ エカン イネ

a=se tek _hine ek=an _hine

(私)背負う して 来る(私) して

背負って家に帰り

140 アウニ タ シレパアン コロカ

a=uni ta sirepa=an korka

(私)の家 に 着く(私) けれど

私の家に着いたけれど

タップ ネ ネ ワ イシカラ プトウ ウン

tap ne ne wa Iskar putu un

こうであって 石狩 の河口 に

このようなわけで石狩川の下流に

アラパアン セコロ

arpa=an sekor

行く(私) と

行くとは

アオナ エウン カ

a=ona eun ka

(私)の父 に も

父にも

アイェ カ ソモ キ ノ

a=ye ka somo ki no

(私)言う も しない で

言わずに

13 この女性が住んでいるのが石狩のどこなのかはここまで明らかにされていないが、後段で「石狩の上流の村」と語られている。河口部の村を訪ねるのでサン san (川を下る) という表現になっている。

- 145 ナニ パシ カネ テレケ カネ
nani pas kane terke kane
すぐに 走る して 跳ぶ して
すぐ走って跳んで
- サナニネ
san=an _hine
川を下る(私) して
川を下って行きました。
- ネ イシカラ プトウ ウン コタン タ
ne Iskar putu un kotan ta
その 石狩 の河口 の 村 に
石狩川の下流の村には
- アラパアン カ エラミシカリ プ ネ コロカ
arpa=an ka eramiskari p ne korka
行く(私) も 経験がない もの だ けれど
行ったこともなかったけれど
- コタン ノシキ¹⁴ タ ネ クニ
kotan noski ta ne kuni
村 の真ん中 に だ と
村の真ん中だと
- 150 アラム ヒ クス
a=ramu hi kusu
(私)思う だから
思ったので
- ネ コタン ノシキ ウン チセ ソイ タ アラパアン
ne kotan noski un cise soy ta arpa=an
その 村 の真ん中 の 家 の外 に 行く(私)
その村の真ん中の家の外に行きました。
- ルウエ ネ アクス ネ イコシマツ ネ
ruwe ne akusu ne ikosmat ne
こと だっ たところ その 嫁 である
その嫁である
- メノコ ネ ノイネ アン ペ ソイエネ ヒネ
menoko ne noyne an pe soyene hine
女性 であるように ある もの 外に出る して
女性であろう人が外に出て来て
- イヌカラ ヒネ オラ イコパシロタ¹⁵。
i=nukar hine ora i=kopasrota.
(私に)見る して こんど (私に)ののしる
私を見るとののしりました。
- 155 “ヒナク ワ エク ウェン ポン メノコ
“hinak wa ek wen pon menoko
どこ から 来た 貧乏な 若い 娘
「どこから来た貧乏人の娘だ。
- イミ ルウエ カ ウェン
imi ruwe ka wen
着る もの も 悪い
着物もみすばらしい
- ウェンクル サニ ネ ノイネ アン ペ
wenkur sani ne noyne an pe
貧乏人 の子孫 である らしく ある もの
貧乏人の子孫のようなものが

14 行ったことがない村でも、村長の家は村の中央にある大きな家と決まっているので迷わず行けたということ。

15 この事件の原因を作ったお嫁さんなので性格が良くないらしい。どのような相手でも会ってすぐに悪口を言うのは人の道に反する行為である。

- ソイ タ アン”
soy ta an”
外 に いる
外にいる」
- セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言う ながら
と言いました。
- 160 アフン ハウエ アサクス
ahun hawe as akusu
入れ 声 立っ たところ
入りなさいという声がして
- オラ ネ チセ オンナイ ウン
ora ne cise onnay un
こんど その家 の中 で
家の中から
- “ネン カトウフ アン ヤッカ
“nen katuhu an yakka
どんな 姿 ある しても
「どんな姿であっても
- アフン ルスイ クス エク ペ アナクネ
ahun rusuy kusu ek pe anakne
入る したい ので 来る もの は
入りたいから来た人は
- アアフンケ プ ネ ワ”
a=ahunke p ne wa”
(人)入れる もの だ よ
入れるものだ」
- 165 セコロ ハワシ アクス
sekor hawas akusu
と 声がする したところ
と言って
- オラ スイ イアフンケ クス イェ クス
ora suy i=ahunke kusu ye kusu
こんど また (私を)入れる と 言う ので
また私に入りなさいと言うので
- アフナン イオカ オリパカン コロ
ahun=an ioka oripak=an kor
入る(私) 人の後に 遠慮する(私) ながら
遠慮をしながら
- アフナン ヒネ
ahun=an hine
入る(私) して
家に入りました。
- アペケシウトウツ¹⁶ タ アナン ルウエ ネ アクス
apekesutur_ ta an=an ruwe ne akusu
下座 に いる(私) こと だっ たところ
下座に座っていると
- 170 チセコロクル ネ ノイネ アン クル
cisekorkur ne noyne an kur
家の主人 である ようで ある 男性
家の主人のような男性が

16 入り口から家の中に入ったとき一番奥が上座であり、入ってすぐの場所がアペケシウトウル apekes-utur (下座)。木尻座とも。

- “ホクレ ホクレ アペサム⁽¹⁷⁾ ウン
 “hokure hokure apesam un
 さあ早く いろいろのそば に
 「さあさあ。火のそばに
- …イエクテ ワ アアン ヤク ピリカ”
 …i=ekte wa a=an yak pirka”
 (私を)来させ て 座る(人) と いい
 私の方に来たらいい」
- セコロ イエ ヒ クス
 sekor ye hi kusu
 と 言う だから
 と言ったので
- オINETEKKO⁽¹⁸⁾ アPEKESITOURASHIAN⁽¹⁹⁾ ヒネ
 oinetekkor apekesturasi=an hine
 に四つん這いになる 下座から上手に行く(私) して
 四つん這いになって上座に向かって進み
- 175 アペ… ハラキシ ワ⁽²⁰⁾ アアン コロ
 ape... harkiso wa a=an kor
 火 客座 に 座る(私) ながら
 客座に座りました。
- インカラン アクス
 inkar=an akusu
 見る(私) したところ
 見ると
- ネ ヤク アイエ シイエイエ オツカヨ
 ne yak a=ye siyeye okkayo
 である と (私)言う 病気の 男性
 話に聞いた病気の男性
- ネ ノイネ アン クル オシソ⁽²¹⁾ ワ
 ne noyne an kur osiso wa
 である らしく ある 人 右座 に
 のような人が右座に
- アホツケレ ワ アン ワ
 a=hotkere wa an wa
 (人)寝かせる して いる して
 寝かせられていました。
- 180 オラノ サマ タ ニシパ ウタラ
 orano sama ta nispa utar
 それかた の近く に 旦那さん たち
 そして傍らで年配の男性たちが
- カムイオロイタク ネ ヤ
 kamuy'or'itak ne ya
 神に祈る で も
 祈りの儀式を
- チセ オンナイ タ ネ ヤ ソイ タ ネ ヤ
 cise onnay ta ne ya soy ta ne ya
 家 の中 で で も 外 で で も
 家の中や外で

17 大きな家だと炉も大きいので、下座から火の燃えている場所まではかなりの距離があり、あまり暖かくない。そこで家の主人は来客に対し火のそばへ来るように促したということ。この主人は身なりで相手を判断しない良い人物であるらしい。

18 オINETEKKO o-ine tek-kor (に・4つの・手・を持つ) で「に四つん這いになる」と解釈した。辞書類には未見。

19 アPEKESITOURASHIAN apekesは「火の燃え尻」。まきは炉の形に合わせて置かれるので、燃えているまきに沿って家の上手に向かって移動したという意味か。

20 ワ waは「～から」という動作の基点を現すが、このように「～に」と訳せる場合もある。

21 上座から入り口側を見ての右側の座。家族の席である。

- カムイオロイタクパ コロ オカ ハウエ
kamuy'or'itakpa kor oka hawe
神に祈る ながら いつ こと
神に祈っているのを
- アヌカラ コロ
a=nukar kor
(私)見る ながら
見ながら
- 185 アペサム タ アアン ヒ オラ…
apesam ta a=an hi ora…
いろいろのそば に 座る(私) こと こんど
いろいろのそばに座りました。
- アペサムン フチアペ ヘコテ
apesam un huciape hekote
火のそば で 火の神 の方へ
そこで火の神様に
- “ タプ ネ カネ スス カムイ ペロ カムイ
“ tap ne kane susu kamuy pero kamuy
このようなわけで ヤナギの 神 ミズナラの 神
「このようなわけでヤナギとミズナラの神様が
- ウコイタクパ ハウエ アヌ ワ
ukoitakpa hawe a=nu wa
互いに話す 声 (私)聞くして
話をしていたのを聞いたのです。
- アエピリマ ワクス
a=epirma wakusu
(私)そっと警告する ので
そっと警告してくれたので
- 190 ホタヌエサンアン ルウエ ネ クス
hotanuesan=an ruwe ne kusu
訪ねに来る(私) こと だ から
訪ねて来たのです。
- フチアペ イエプンキネ ワ イコレ ヤク ピリカ”
huciape i=epunkine wa i=kore yak pirka” 火の神様、私を守ってください”
火の神 (私を)守っ て (私に)くれる と いい
- セコロ ハウエアナン コロ アナン アクス
sekor hawean=an kor an=an akusu
と 言う(私) ながら いる(私) したところ
と言いました。
- テ パクノ アイェ カ アエラミシカリ ア
te pakno a=ye ka a=eramiskari a
今 まで (私)言う も (私)の経験がなかった
今まで歌ったこともなかった
- シノツチャ アキ
sinotca a=ki
歌 (私)する
歌を私は歌いました。
- 195 トウスシノツチャ²² アイェ ワ
tususinotca a=ye wa
巫術の歌 (私)言う して
巫術の歌を歌って

22 自分の意志ではなく、神の力を借りて普通はわからないことを言い当てる歌を歌うこと。

エアラキンネ ヤイカタ ネ ヤッカ アオクンヌレ コロ
 earkinne yaykata ne yakka a=okunnure kor 本当に自分でも驚きました。
 本当に 自分 で も (私)驚く ながら

トウスシノツチャ アイェ コロ
 tususinotca a=ye kor 巫術の歌を歌う
 巫術の歌 (私)言う ながら

シノツチャ トウイカ アオマレ ヒ エネ アニ。
 sinotca tuyka a=omare hi ene an _hi. 歌詞はこのようなものでした。
 歌 の上 (私)入れる ことこのようだった

“チセ コロ イポネクル²³ テ パクノ
 “cise kor iponekur te pakno 「この家の息子がこれまで
 家 の 息子である人 今 まで

200 エイワンケ コロ アナ イタンキ アン ヤ。
 eywanke kor an a itanki an ya. 使っていた杖はあるのか。
 使っ て い た 杖 ある か

フナラパ ワ インカラパ ヤン”
 hunarpa wa inkarpa yan” 探してごらん”
 を探す して みる しなさい

セコロ アイェ ルウエ ネ アクス
 sekor a=ye ruwe ne akusu と私が言ったところ
 と (私)言う こと だっ たところ

“ネア チセコロ イタン…クル イポネクル コロ イタンキ
 “nea cisekor itan... kur iponekur kor itanki 「この家の息子の杖が
 あの 家の 人 息子である人 の 杖

メノコ アシンル アサム アオマレ ワクス
 menoko asinru asam a=omare wakusu 女便所の底に入っているために
 女性 便所の 底 (人)入れる なので

205 イソ ラマツ アウク オラ カシ タ
 iso ramat a=uk ora kas ta 狩りの魂を取られて
 狩り 魂 (私)取る こんど その上 に

タネ ライ ノイネ アン ヒ ネ ヤッカ
 tane ray noyne an hi ne yakka もう死にそうになっている。
 もう 死ぬ ように ある こと で も

メノコ ウェン カツチャム クス ネ クス
 menoko wen katcam kusu ne kusu 女性の悪いふるまいのためなのだ。
 女性の 悪い ふるまい のため だ から

ネ イタンキ ネ ヤッカ
 ne itanki ne yakka その杖を
 その 杖 で も

23 イポネクル i-po-ne-kur (その・子供・である・人)。

- フナラパ ワ インカラ ヤン。
hunarpa wa inkar yan.
 を探す して みる しなさい
- 210 スンケ イタク アイエ ヒ ネ ヤ
sunke itak a=ye hi ne ya
 嘘 言葉 (私)言う ことか
- アンプ イタク アイエ ヒ ネ ヤ
anpe itak a=ye hi ne ya
 本当 言葉 (私)言う ことか
- ネ イタンキ フナラパ ワ ヌカラ ヤン”
ne itanki hunarpa wa nukar yan”
 その 腕 を探す して みる しなさい
- セコロ アン ペ シノツチャ トウイカ アオマレ ヒネ
sekor an pe sinotca tuyka a=omare hine
 と ある もの 歌 の上 (私)入れる して
- トウスアン ルウェ ネ アクス
tusu=an ruwe ne akusu
 巫術をする(私) こと だっ たところ
- 215 ナニ ニシパ ウタラ
nani nispa utar
 すぐに 旦那さん たち
- ネ イタンキ フナラパ アクス
ne itanki hunarpa akusu
 その 腕 を探す したところ
- “ネ チセ コロ イポネクル コロ
 “**ne cise kor iponekur kor**
 その 家 の 息子である人 の
- イタンキ イサム”
itanki isam”
 腕 ない
- セコン ネ ヒネ
sekor_ ne hine
 と いて
- 220 オラ ナニ メノコル オツ タ
ora nani menokoru or_ ta
 こんど すぐに 女便所 の所 で
- イフナラパ ルウェ ネ アクス
ihunarpa ruwe ne akusu
 もの探しをする こと だっ たところ
- ソンノ カ ネ イタンキ アウプシレ ヒネ アン ヒネ
sonno ka ne itanki a=upsire hine an hine
 本当に も その 腕 (人)伏せる して ある して
- 探してごらんないさい。
- 私が嘘を言っているのか
- 本当のことを言っているのか
- その腕を探してごらんないさい」
- ということを歌にのせて
- 巫術をしたところ
- すぐに旦那さんたちは
- その腕を探して
- 「息子の
- 腕がない」
- と言いました。
- そしてすぐ女便所を
- 探したところ
- 本当に腕が伏せてあったのを

- オラ ソンノ ネ イタンキ アプス ヒ
 ora sonno ne itanki a=pusu hi
 こんど 本当に その 椀 (人)掘り出す こと
 掘り出しました。
- オラ ナニ ネ イタンキ
 ora nani ne itanki
 こんど すぐ その 椀
 すぐその椀を
- 225 フライエパ ロク フライエパ ロク ヒネ
 hurayepa rok hurayepa rok hine
 何度も洗う して
 洗って洗って
- オラ イナウケパ ヒネ ネ イタンキ
 ora inawkepa hine ne itanki
 こんど 木幣を作る して その 椀
 木幣を作ってその椀に
- イナウ アコタクタク ルウエ ネ ヒネ
 inaw a=kotaktak ruwe ne hine
 木幣 (人)つける こと である して
 つけました。
- オラ ナニ パン サヨ カラパ ヒネ
 ora nani pan sayo karpa hine
 こんど すぐに 薄い かゆ を作る して
 すぐに薄いかゆを作って
- ネ イタンキ イナウ トウラノ パン サヨ
 ne itanki inaw turano pan sayo
 その 椀 木幣 と一緒に 薄い かゆ
 その椀に木幣と薄いかゆを
- 230 アオマレ ヒネ
 a=omare hine
 (人)入れる して
 入れて
- ネ シイエイクル パロ アオツテ ルウエ ネ アクス
 ne siyeyekur paro a=otte ruwe ne akusu
 その 病気の人の 口の (人)入れる こと だっ たところ
 その病気の人の口につけると
- テ パクノ ネプ カ パロ アオツテ… ヤツカ
 te pakno nep ka paro a=otte... yakka
 今 まで 何 も の口 (人)入れる しても
 今まで何を口につけても
- ク カ ソモ キ ノ
 ku ka somo ki no
 飲む も しない で
 飲みもせず
- パキサラ オロワ チョククセ²⁴ ア プ
 pakisar orowa cokokse a p
 口の端 から 注ぐ だったが
 口の端から注いでいたのに
- 235 ネア イタンキ アニ アコイプニ アクス
 nea itanki ani a=koypuni akusu
 その 椀 で (人)飲ませる したところ
 その椀で飲ませると

24 チョククセ cokokse の意味は辞書類には未見。

ネ パン サヨ ルキ セコロ ネ ヒネ
 ne pan sayo ruki sekor ne hine
 その 薄い かゆ を飲み込む と であっ て

その薄いかゆを飲み込みました。

オラノ ネ ニシパ ウタラ ネ ヤツカ
 orano ne nispa utar ne yakka
 それから その旦那さん たち で も

その旦那さんたちも

メノコ ウタラ ネ ヤツカ
 menoko utar ne yakka
 女性 たち で も

女性たちも

エウコヤイコブンテク コロ アナン
 eukoyaykopuntek kor an=an
 について皆喜ぶ ながら いる(私)

みんな喜んでいました。

240 ラポツケ シクマカカ セコロ ネ
 rapokke sikmakaka sekor ne
 そのうちに 目を開けると である
 ハワシ アヌ ヒ アナクネ
 hawas a=nu hi anakne
 声 (私)聞くときは

そして目を開けたと

いうのを聞いて

タネ シクヌ ヒ アエパレ ヒ ネ クニ
 tane siknu hi a=epare hi ne kuni
 もう 生きる こと(私)至る ことだ と

もう生き返ったと思いました。

アラム ワ オラ メノコ ウタラ
 a=ramu wa ora menoko utar
 (私)思う して こんど 女性 たち

すると女性たちが

ピヌピヌ コロ イエオヤイタク²⁵。
 pinupinu kor i=eoyaitak.
 こそこそ言う ながら (私に)陰口を言う

こそこそと話していました。

245 “ヒナク コエク ウェン メノコ
 “ hinak koek wen menoko
 どこ から来た 貧乏人の 娘

「どこから来た貧乏人の娘だい。

イミ ルウェ カ ウェン ペ オラ
 imi ruwe ka wen pe ora
 着る こと も 悪い もの こんど

着物もみずぼらしい。

ヤイシトマ カ ソモ キ”
 yaysitoma ka somo ki”
 自分で遠慮をする も しない

遠慮もせずに」

セコン ネ ヤ イエ コロ… イエミナウシパ コロ
 sekor_ ne ya ye kor... i=eminauspa kor
 と など を言う ながら (私に)笑う ながら

と私のことを笑っていると

オカ ロク ペ セコロ ヤイヌアン ペ ネ クス
 oka rok pe sekor yaynu=an pe ne kusu
 いる いた もの と 思う(私) もの だ から

思ったので

25 オヤクイタク oya-itak (ほかの・言葉)「陰口」という意味か。辞書類には未見。

- 250 オラ タプ ネ ネ ヒ
ora tap ne ne hi
こんど こうである よ と
このように
- アイェ テク ヒ オラ ナニ
a=ye tek hi ora nani
(私)言う さっとする こと こんど すぐ
言うとすぐに
- ヤイソヨマレアン ヒネ エカン イネ
yaysoyomare=an hine ek=an _hine
ひとりで外に出る(私) して 来る(私) して
外に出て家に帰りました。
- アウニ タ エカン イネ
a=uni ta ek=an _hine
(私)の家 に 来る(私) して
私の家に帰って
- オラ アオナハ エウン カ タプネ ネ
ora a=onaha eun ka tapne ne
こんど (私)の父 に も こうである よ
父にもこのようなことがあったと
- 255 セコロ カ アイェ カ ソモ キ ノ
sekor ka a=ye ka somo ki no
と も (私)言う も しない で
言いもせずに
- アナン ルウエ ネ ア プ
an=an ruwe ne a p
いる(私) こと だった が
暮らしていました。
- ニサッタ ネ アン アクス…
nisatta ne an akusu…
翌日 に なっ たところ
翌日になると
- コタン コン ニシパ ウタラ
kotan kor_ nispa utar
村 の 旦那さん たち
村長の旦那さんたちが
- ポロ シケ キパ ヒネ
poro sike kipa hine
大きい 荷物 をする して
大きな荷物を持って
- 260 アラキパ ルウエ ネ アクス
arkipa ruwe ne akusu
来る こと だっ たところ
やって来ました。
- アオナハ エライキマテク。
a=onaha eraykimatek.
(私)の父 をひどく驚く
父は驚いて
- “マク ネ ヒネ エネ ニシパ ウタラ
“mak ne hine ene nispa utar
どう して こう 旦那さん たち
「一体どうして旦那さんたちは
- イコウウエカラパ シリ ネ ヤ
i=kouwekarpa siri ne ya
(私)に)集まる 様子 だ か
私のところに来られたのでしょうか。

ウェンクル アネ ワ
wenkur a=ne wa
貧乏人 (私)である して

私は貧乏人で

265 ニシパオロツ²⁶ カ ヤイエパタライエ プ アネ ワ
nispaorot ka yayepataraye p a=ne wa 長者の仲間に入るのも気おくれする
長者の仲間入りする も 気おくれする 者 (私)なので

アナン ペ ネ プ
an=an pe ne p
いる(私) もの だ が

というのに

ニシパ ウタラ イコウウエカリ”
nispa utar i=kouwekari”
旦那さん たち (私)に集まる

旦那さんたちはいらしたのですね」

セコロ ハウエアン。
sekor hawean.
と 言う

と言いました。

アオナハ キ アクス
a=onaha ki akusu
(私の)父 し たところ

父が言うと

270 タネ イシカラ プトウ ウン ニシパ エク イネ
tane Iskar putu un nispa ek _hine
もう 石狩 の河口 の 旦那さん 来る して
もう石狩川の下流の旦那さんが来て

“ タプネ カネ
“ tapne kane
このようなわけで

「このようなわけで

イシカラ エトコ ウン ニシパ マツネポホ
Iskar etoko un nispa matnepoho
石狩 の上流 の 旦那さん の娘

石狩川の上流の旦那さんの娘さんが

アン クシケライポ
an kuskeraypo
いた おかげで

いたおかげで

アポホ アシクヌレ ヒ ア エ…ワ… クス
a=poho a=siknure hi a e... wa... kusu
(私の)息子 (私)生かす こと なので

息子が生き返ったので

275 ヤヤツタサアン クス アラキアン シリ ネ”
yayattasa=an kusu arki=an siri ne”
返礼をする(私) ために 来る(私) 様子 である
お礼に来たのです」

セコン ネ アクス オラ エアシリ アオナ エウン
sekor_ ne akusu ora easir a=ona eun
と だったところ こんど 初めて (私の)父 に

と言って初めて父に

“ タプネ ネ ワ エカン ヒ カ
“ tapne ne wa ek=an hi ka
このよう であっ て 来る(私) ことも

「このようなわけで

26 ニシパオロツ nispa-or-ot (長者・のところ・にいる)で「長者の仲間入りする」「長者の一員になる」。

アオナ エウン カ アイェ カ ソモ キ プ ネ クス
 a=ona eun ka a=ye ka somo ki p ne kusu
 (私の)父 に も (私)言い も しない ものだ から

父さんにも言わなかったのです。

アオナハ エラムコエシカリ²⁷ コロ
 a=onaha eramkoeskari kor
 (私の)父 に言う と

父さんに言うと

280 アウエン²⁸ マツネポ エネ アン イキ ヒ カ
 a=wen matnepo ene an iki hi ka
 (私の)悪い 娘 このように する こと も

私の至らない娘がそのようにしたとは

アエラミシカリ コロ アナン ア プ
 a=eramiskari kor an=an a p
 (私)知らない ながら いる(私) だったが

知らなかったと

セコン ネ コロカ
 sekor_ ne korka
 と いう けれど

言うだろうけど

アオナハ イコイキ クニ アラム ヒ クス
 a=onaha i=koyki kuni a=ramu hi kusu
 (私の)父 (私に)叱る と (私)思う だから

父さんに叱られると思ったから

タプネ ヒ カ アイェ カ
 tapne hi ka a=ye ka
 こうである こと も (私)言う も

このようなことだと言わないで

285 ソモ キ ノ アナン ルウエ ネ。”
 somo ki no an=an ruwe ne.”
 しない で いる(私) こと である

いたのよ」

セコロ ハウエアナン アクス
 sekor hawean=an akusu
 と 言う(私) したところ

と言ったところ

オラノ ネ イシカラ プトウ ウン ニシパ ウタラ
 orano ne Iskar putu un nispa utar
 こんど その 石狩 の河口 の 旦那さん たち

その石狩川の下流の旦那さんたちは

ポロ シケ キ ワ アラキパ ア コロカ
 poro sike ki wa arkipa a korka
 大きい 荷物 をする して 来た けれど

大きな荷物をもって来ていて

アオナハ あの ヤヤッタサ イペ ネ セコロ
 a=onaha yayattasa ipe ne sekor
 (私の)父 返礼をする 食べ物 だ と

父にお礼の食べ物ですと

290 コロ ワ アラキパ ヤッカ
 kor wa arkipa yakka
 を持つ して 来る しても

言って持って来たのに

27 eramkoeshikari いふ [久 204]。

28 謙遜の意味でわざと「悪い」「みずぼらしい」と言っている。

アオナ ウク カ ソモ キ。
a=ona uk ka somo ki.
(私の)父 を受け取る も し ない

父は受け取りませんでした。

“ ウェンクル アネ ワ アナン ワ
“ wenkur a=ne wa an=an wa
貧乏人 (私)であって いる(私) して

「貧乏人ですので

アマツネポ クス ウサ オカイ ペ アウンケライ
a=matnepo kusu usa okay pe a=unkeray
(私の)娘 のため 色々 ある もの (私)いただく

娘のおかげでこのようなものをいただいて

セコロ アイエミナ ヒ カ アエトランネ クス
sekor a=i=emina hi ka a=etoranne kusu
と (人が私を)笑う ことも (私)嫌がる ので

笑われることも嫌なので

295 ピリカ ルウエ ネ”
pirka ruwe ne”
いい こと である

結構です」

ヤク イエ コロ
yak ye kor
と 言う ながら

と言って

ネプ カ ウク カ アオナハ キ カ ソモ キ ワ
nep ka uk ka a=onaha ki ka somo ki wa
何 も 取る も (私の)父 し も し ない で

何も受け取りませんでした。

オラ ナニ オピッタ
ora nani opitta
こんど すぐ みんな

そしてすぐに全部

イシカラ プトウ ウン ニシパ ウタラ セ ワ
Iskar putu un nispa utar se wa
石狩 の河口 の 旦那さん たち を背負って

石狩川の下流の旦那さんは背負って

300 ホシツパ ワ イサム オカ タ アナン ワ
hosippa wa isam oka ta an=an wa
帰る してしまう の後 で いる(私) して

帰ってしまった後で暮らしていると

オラ アオナハ オラ エアシリ
ora a=onaha ora easir
こんど (私の)父 こんど 初めて

父はそうしてから初めて

イコプンテク カ キ コロ オカアン
ikopuntek ka ki kor oka=an
喜ぶ も し ながら いる(私)

喜んでいました。

ルウエ ネ アクス オラ スイ トウツコ レレコ
ruwe ne akusu ora suy tutko rerko
こと だっ たところ こんど また 2日 3日

そしてまた2、3日すると

ネ アクス インネ ウタラ アラキパ ヒネ
ne akusu inne utar arkipa hine
たっ たところ 大勢の 人たち 来る して

たくさんの人が

- 305 オラ ウサ オカイ ペ
 ora usa okay pe
 こんど 色々 ある もの
 いろいろなものを
- ポロ シケ キ ワ アラキパ ルウエ ネ アクス
 poro sike ki wa arkipa ruwe ne akusu
 大きい 荷物 し て 来る こと だっ たところ
 大きな荷物にして持って来ました。
- オラ アオナハ
 ora a=onaha
 こんど (私の)父
 父は
- “ ウェンクル アネ ワ アナン ペ ネ
 “wenkur a=ne wa an=an pe ne
 貧乏人 (私)なので いる(私) の である
 「私は貧乏人なのに
- ニシパ ウタラ イコウウエカリ イコシネウエ”
 nispa utar i=kouwekari i=kosinewe”
 旦那さん たち (私に)集まる (私に)訪ねる
 旦那さんたちが私のところに来てくれた」
- 310 セコン ネ アクス
 sekor_ ne akusu
 と 言っ たところ
 と
- オラ ネア シイエイエ ワ アン ア イポネクル カ
 ora nea siyeye wa an a iponekur ka
 こんど あの 病気になる して いた 息子である人 も
 その病気だったあの息子も
- イトウラ カネ ヒネ アラキパ ヒネ
 itura kane hine arkipa hine
 連れ立つ なんと して 来る して
 連れて来ていて
- オラ ネ イポネクル エネ ハウエアニ。
 ora ne iponekur ene hawean _hi.
 こんど その 息子である人 このように言った
 その息子がこのように言いました。
- “ ニシパ マツネポホ アン クシケライポ
 “nispa matnepoho an kuskeraypo
 旦那さん の娘 いる おかげで
 「旦那さんの娘がいたおかげで
- 315 シクヌアン ルウエ ネ クス
 siknu=an ruwe ne kusu
 生きる(私) こと だ から
 私は生きることができたのです。
- テワノ イパロオスケ クニ ネ
 tewano i=paroosuke kuni ne
 これから (私を)養う するつもりだ
 これからは私の嫁になってもらいます。
- ニシパ ラム ワ イコレ”
 nispa ramu wa i=kore”
 旦那さん を思う して (私に)ください
 旦那さんは承知してください」
- セコロ ハウエアアン ルウエ ネ アクス
 sekor hawean ruwe ne akusu
 と 言う こと だっ たところ
 と言いました。

- オラノ アオナハ ポヘネ エライキマテク。
 orano a=onaha pohene eraykimatek.
 それから (私の)父 なおさら に驚く
 父はなおさら驚いて
- 320 “ ウェンクル アネ ヒネ アナン ワ
 “wenkur a=ne hine an=an wa
 貧乏人 (私)である して いる(私) して
 「貧乏人の私ですから
- ウェンクル サニ ニシパ オルン
 wenkur sani nispa or un
 貧乏人 の子孫 旦那さん の所 に
 貧乏人の子孫が旦那さんのところに
- アコララ セコン ネ ヤ… コロ
 a=korar sekor_ ne ya... kor
 (私)嫁にやると で も と
 嫁に行くと
- ウェンクル サニ セコロ アイェ ヒ カ
 wenkur sani sekor a=ye hi ka
 貧乏人 の息子 と (私)言う ことも
 貧乏人の子孫だと言われて
- アマツネポ アトウヤシカラブ クス
 a=matnepo a=tuyaskarap kusu
 (私の)娘 (私)同情する ので
 娘がふびんなので
- 325 ソモ アン ペ ネ ”
 somo an pe ne ”
 しない もの である
 お断りします」
- セコロ アオナハ ハウエアン カ タ オラ
 sekor a=onaha hawean ka ta ora
 と (私の)父 言う 上 に こんど
 と言い、重ねて
- “ シネ マツネポ タクブ
 “sine matnepo takup
 ひとり 娘 だけ
 「たったひとりだけの娘
- アコロ ペ ネ クス
 a=kor pe ne kusu
 (私)持つ もの だ から
 なので
- シソイタアン ワ アシカオイキレ クナク
 sisoyta=an wa a=sikaoykire kunak
 自分の外に住む(私) して (私)養わせる と
 近くに置いて私を養わせよう
- 330 アラム コロ アナン ペ
 a=ramu kor an=an pe
 (私)思う ながら いる(私) もの
 と思っている
- アネ ルウェ ネ クス
 a=ne ruwe ne kusu
 (私)である こと だ から
 ので
- ソモ アン ペ ネ ”
 somo an pe ne ”
 しない もの である
 お断りします」

セコロ アオナハ ハウエアン コロ コパン ヤツカ
 sekor a=onaha hawean kor kopan yakka
 と (私の)父 言う ながら を拒む しても
 と言って拒んでも

ネ イポネ ニシパ
 ne ipone nispa
 その 息子の 旦那さん

村長の息子は

335 “ネウン ネ ヤツカ ネ メノコ…
 “neun ne yakka ne menoko…
 どう で も その 女性

「どうしてもその娘…

ニシパ マツネポ アン クシケライポ
 nispa matnepo an kuskeraypo
 旦那さん の娘 いた おかげで

旦那さんの娘さんがいたおかげで

シクヌアン ペ ネ クス
 siknu=an pe ne kusu
 生きる(私) もの だ から

生きられたので

アコン ルスイ
 a=kor_ rusuy
 (私)持つ したい

嫁に欲しいのです。

オラ タ オンネ ウタラ カ
 ora ta onne utar ka
 こんど このの 老人 たち も

そしてここのお年寄りたちも

340 アトウラ ワ イシカラ プトウフ タ
 a=tura wa Iskar putuhu ta
 (私)連れる して 石狩 の河口 で

一緒に石狩川の下流で

カシ アオイキ パロ アオイキ…
 kasi a=oyki paro a=oyki…
 (私)養う (私)食事の世話

養って

オスケ²⁹ クス ネ クス
 osuke kusu ne kusu
 をする ので

さしあげますので

ネウン ネ ヤツカ
 neun ne yakka
 どう で も

どうか

ニシパ マツネポホ イパロオスケ
 nispa matnepoho i=paroosuke
 旦那さん の娘 (私に)養う

旦那さんの娘を嫁に

345 クニ ラム ワ イコレ”
 kuni ramu wa i=kore”
 ように を思う して (私に)ください

ください」

29 パロ アオスケ paro a=osuke (食事の世話をする) と言い直そうとしたか。

セコロ アオナハ カシ アオシケ アイネ
 sekor a=onaha kasi a=oske ayne
 と (私の)父 (私)ものを与える したあげく

と父に返礼の品を渡したところ

オラ アオナハ エセ³⁰ ルウエ ネ ヒネ
 ora a=onaha ese ruwe ne hine
 こんど (私の)父 承諾する こと であつて

父も承諾しました。

オラ エアシリ ヘム オカイ ペ アコロ ペ
 ora easir hem okay pe a=kor pe
 こんど 初めて それらの もの (私の)持つもの

それからいろいろなもの

ヤイカタ カ アウウオマレ
 yaykata ka a=uwomare
 自分 も (私)集める

持ち物を自分でも集めて

350 オラ アオナハ カ
 ora a=onaha ka
 こんど (私の)父 も

父も

コロ ワ オカイ ペ トウプ レプ
 kor wa okay pe tup rep
 持つ している もの 2つ 3つ

持ち物を2つ3つ

ピリカノ オカイ ペ アナクネ
 pirikano okay pe anakne
 よく ある ものは

いいものを

アオナ ウタラ カ ウウオマレ
 a=ona utar ka uwomare
 (私の)父 たち も を集める

集めて

オラ オカケ タ オカイ ペ アナクネ
 ora okake ta okay pe anakne
 こんど その後 に ある ものは

その後のものは

355 コタン コロ ウタラ
 kotan kor utar
 村人たち

村の人たちで

ウウオマラパレ ワ イコレ
 uwomarpare wa i=kore
 を集める して (私に)くれる

分け合ってくれれば

ヤク ピリカ ナ セコロ
 yak pirka na sekor
 と いい よ と

いいと言いました。

アオナハ ハウエアン コロ
 a=onaha hawean kor
 (私の)父 言う ながら

父はそう言って

30 エセ e-se (はい・と言う) で、承諾する際の返事。

オラ アオナ カ アウヌ カ トウラノ
 ora a=ona ka a=unu ka turano
 こんど (私の)父 も (私の)母 も

父も母も一緒に

360 イシカラ プトウフ タ サナン ルウエ ネ アクス
 Iskar putuhu ta san=an ruwe ne akusu
 石狩 の河口 に 下る(私) こと だっ たところ

石狩川の下流に下って行きました。

エアラキンネ
 earkinne
 本当に

本当に

ネ イポネクル カ エヤイコブンテク
 ne iponekur ka eyaykopuntek
 その 息子である人 も を喜ぶ

その息子も喜んで

イオネクル³¹ カ エヤイコブンテク ヒ
 ionekur ka eyaykopuntek hi
 父である人 も を喜ぶ こと

その父である人も喜びました。

オラ ナニ ネ スス ネ ヤ ペロ
 ora nani ne susu ne ya pero
 こんど すぐ その ヤナギ で も ミズナラ

そしてすぐにヤナギやミズナラに

365 アコヤイライケ クス
 a=koyayrayke kusu
 (私)感謝する ために

感謝をしに

エウン ウサ サケ ウサ イナウ アニ
 eun usa sake usa inaw ani
 そこへ 色々な 酒 色々な 木幣 で

酒や木幣で

ヤヤッタサ ワ イコレ セコロ
 yayattasa wa i=kore sekor
 返礼をし て (私に)くれる と

お礼をしてくださいと

ハウエアナン ペ ネ クス
 hawean=an pe ne kusu
 言う(私) もの だ から

言いました。

オラ ナニ ウサ サケ ウサ イナウ アニ
 ora nani usa sake usa inaw ani
 こんど すぐ 色々な 酒 色々な 木幣 で

そしてすぐに酒や木幣で

370 ネ スス ネ ヤツカ ペロ ネ ヤツカ
 ne susu ne yakka pero ne yakka
 その ヤナギ で も ミズナラ で も

そのヤナギやミズナラ

オロ タ パイエパ ワ
 oro ta payepa wa
 の所 に 行く して

のところに行って

イナウ アコタクタク
 inaw a=kotaktak
 木幣 (私)つける

木幣をつけて

31 イオナネクル i-ona-ne-kur (その・父・である・人) と言おうとしたのだろう。

- ウサ アエフ ウサ サケ アニ ネ ペロ ネ ヤツカ
usa aep usa sake ani ne pero ne yakka 食べ物や酒でそのミズナラにも
色々な 食べ物 色々な 酒 で その ミズナラで も
- アコヤヤッタサ ルウエ ネ ワ
a=koyayattasa ruwe ne wa お礼をしますと
(私)返礼をする こと であつて
- 375 オラノ ネ ワ ネ ヤ カムイイタクテ
orano ne wa ne ya kamuyitakte 神に祈ることを
それから そうしてで も 神に祈る
- アキ プ ネ クス
a=ki p ne kusu しました。
(私)するものだから
- オヤコヤク ワ
oyakoyak wa あちこちから
あちこち から
- ナ ネン ネン アン ペ アイコピシ コロ…クス
na nen nen an pe a=i=kopisi kor... kusu いろいろな人が来て、私に尋ねるために
まだ いろいろ ある もの (人が私に)尋ねる ながら ので
- オヤ コタン オロ ワ カ アラキ コロ
oya kotan oro wa ka arki kor よその村からも人が来ました。
よその 村 の所 から も 来る ながら
- 380 トウスアン ワ ネ ワ アン ペ クス
tusu=an wa ne wa an pe kusu 私が巫術をしたので
巫術をする(私) して そうして ある もの なので
- ポヘネ アスル アシ カツケマツ
pohene asur as katkemat なおさら噂の奥方に
なおさら 噂 立つ 淑女
- アネ ヒネ アナン ラポッケ
a=ne hine an=an rapokke 私はなりました。そして
(私)なるして いる(私) そのうちに
- アオナ ウタラ カ シソイ タ アヌ プ ネ クス
a=ona utar ka sisoy ta anu p ne kusu 父たちは隣に住んでいるので
(私の)父 たち も 自分の外 に 置く ものだから
- アピリカヌヌケ イネ トウラノ アナン。
a=pirkanunuke _hine turano an=an. 大切にしていっしょに暮らしました。
(私)とても大切に して と一緒に 暮らす(私)
- 385 アコン ニシパ カ
a=kor_ nispa ka 私の旦那さんも
(私)の 旦那さん も
- アオナハ アウヌフ ヌヌケ コロ オカ。
a=onaha a=unuhu nunuke kor oka. 父や母を大切にしてくれました。
(私の)母 (私の)父 を大切に しながら 暮らす

ヤイカタ カ アシウト³² ウタラ
 yaykata ka a=siwto utar
 自分 も (私の)しゅうと たち

私も義父母を

アヌヌケ コロ オカアン
 a=nunuke kor oka=an
 (私)大切にする ながら 暮らす(私)

大事にして暮らしました。

ラポッケ ポコロ カ アン シリ カ
 rapokke pokor ka an siri ka
 そのうちに 子供ができ も ある 様子 も

そのうちに子供ができたのを

390 アオナハ アウヌフ ヌカラ コロ オラ
 a=onaha a=unuhu nukar kor ora
 (私の)父 (私の)母 を見る ながら こんど

父も母も見てから

アオナハ カ アウヌフ カ オンネ。
 a=onaha ka a=unuhu ka onne.
 (私の)父 も (私の)母 も 老死する

老衰で死んでしまいました。

アシウト ニシパ ウタラ ポヘネ
 a=siwto nispa utar pohene
 (私の)しゅうと旦那さん たち なおさら

義父母も

シネ イタク カ アラカ イタク³³
 sine itak ka arka itak
 ひと こと も 痛い 言葉

一言の嫌なことも

アニ… イコスイパ カ ソモ キ ノ
 ani... i=kosuypa ka somo ki no
 で (私に)振る もしない で

私に言わずに

395 オカアン ロク アイネ
 oka=an rok ayne
 暮らす(私) した あげく

暮らしました。

アシウト ウタラ カ オンネ ワ イサム オカ タ
 a=siwto utar ka onne wa isam oka ta
 (私の)しゅうとたち も 老死する してしまう の後 で

親たちが死んでしまった後で

ポシレシクテアン³⁴ ヒ クス
 posiresikte=an hi kusu
 子供がたくさん生まれる(私) だから

子供がたくさんできたので

イサマン オカ タ
 isam=an oka ta
 いなくなる(人)の後 で

死んでしまった後も

タプネ カネ
 tapne kane
 こうである して

このようなわけで

32 日本語「しゅうと」からの移入語。嫁ぎ先の親族に対して使う。義母のことはシウト ハポ siwto hapo (しゅうとの母)、義父のことはシウト エカシ siwto ekasi (しゅうとの祖父) などのように使う。

33 arka itak「痛い言葉」は辞書類には未見。「嫌味」「嫌な言葉」のことで解釈した。

34 ポシレシクテ po-sir-esik te (子供・あたり・に満ちる・させる)で「子供がたくさん生まれる」。

- 400 アツパケ タ イシカラ エトコ タ
 atpake ta Iskar etoko ta
 最初に は 石狩 の上流 で
 最初は石狩川の上流で
- オカアン ペ
 oka=an pe
 暮らす(私) もの
 暮らしていましたが
- オラ イシカラ プトウ ウン
 ora Iskar putu un
 こんど 石狩 の河口 で
 石狩川の下流の
- ニシパ オロ タ ヘントマニ ワノ
 nispa oro ta hentomani wano
 旦那さん の所 に このごろ
 旦那さんのところに
- イヨロタン ペ アネ プ ネ クス
 iyorot=an pe a=ne p ne kusu
 仲間に入る(私) もの (私)である もの だ から
 身を寄せているのですよ。
- 405 ピリカノ ヤヨペカレパ³⁵ ヤク ピリカ ナ
 pirikano yayopekarepa yak pirka na
 よく 受け入れてもらう と いい よ
 受け入れてもらって暮らしたらいい
- セコロ アコロ ソン ウタラ
 sekor a=kor son utar
 と (私)の 息子 たち
 と息子たちに
- アコイタクムイエ コロ
 a=koitakmuye kor
 (私)言い残す ながら
 言い置いて
- オンネアン ペ ネ アクス アイエ セコロ
 onne=an pe ne akusu a=ye sekor
 老死する(私) もの だっ たところ (私)言う と
 死んで行くのでお話ししますと
- シネ カツケマツ
 sine katkemat
 ある 淑女
 ひとりの女性が
- 410 イソイタク セコン ネ。
 isoytak sekor_ ne.
 物語る と さ
 物語りましたとさ。

35 ヤヨペカレ yay-o-peka-re (自分・を・を受け止める・させる)。辞書類には未見。ヤイペカレ yaypekare は「～を目指して行く」[田] [久 1015]。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。

